

**令和3年度若年層に対する性暴力の予防啓発相談事業**

**若年層の性暴力被害の実態に関する  
オンラインアンケート結果**

**報告書**

**<データ編>**

**令和4年3月**

**株式会社 リベルタス・コンサルティング**

－ 目 次 －

第1章 オンラインアンケートの実施要領 .....	3
1-1. 定義.....	3
1-2. 実施要領.....	3
第2章 オンラインアンケートの結果.....	6

## 第1章 オンラインアンケートの実施要領

性暴力により、被害を受けた若年層の方の状況を把握し、施策を検討することを目的に、若年層の性暴力の被害実態に関するオンラインアンケートを実施した。

### 1-1. 定義

本オンラインアンケート及びヒアリングでは、「若年層」及び「性暴力」を下記のように定義した。

- ◆ 若年層：16～24歳の方
- ◆ 性暴力：望まない性的な言動（下記の分類を設けた）

図表 1 性暴力被害の分類と例示

性暴力被害の分類	例示
言葉による性暴力	言葉で性的な嫌がらせを受けた、体の特徴についてからかわれた、いやらしいことを言われた 等
視覚による性暴力	相手の裸や性器を見せられた 等
身体接触を伴う性暴力	体を触られた、抱きつかれた、キスをされた、相手の体を触らせられた、服を脱がされた・脱がせられた、性器を押し付けられた、体液をかけられた 等
性交を伴う性暴力	相手の身体の一部や異物を無理やり膣や口、肛門に挿入された、避妊なしに性交させられた 等
情報ツールを用いた性暴力	インターネット・携帯電話・スマホなどで性的に嫌な経験をした、見たくない画像や動画を見させられた、下着や裸を撮影された、下着姿や裸の写真を送るよう強要された、なりすました相手から性的な嫌がらせを受けた 等

### 1-2. 実施要領

- 目的：若年層の性暴力被害の実態を把握し、施策検討に結び付けること
- 実施方法：オンラインアンケート
- 対象：全国の16～24歳の(株)クロスマーケティング社「ネットリサーチ」の登録モニター
- 配信方法：①1次配信：性別・年齢別の人口分布を考慮して配信  
(被害遭遇率の算出を目的とする)  
②2次配信：回収数を高めることを目的に追加配信

- 手 順：①スクリーニング調査

	配信件数	有効回答数	回収率
全体	328,463 件	8,941 人	2.72%
1 次配信	221,022 件	6,224 人	2.82%
2 次配信	107,441 件	2,717 人	2.53%

- ②本調査：スクリーニング調査において、遭遇した性暴力被害のうち最も深刻な被害に絞っての回答

	有効回答数
全体	2,040 人
言葉による性暴力被害	791 人
視覚による性暴力被害	173 人
身体接触を伴う性暴力被害	576 人
性交を伴う性暴力被害	167 人
情報ツールを用いた性暴力被害	333 人

※「最も深刻」の基準は回答者により異なるため、回答者が経験した性暴力被害及び主観的に深刻と捉えた性暴力被害の分類である。

- 実施期間：2022 年 1 月 7～17 日  
○ 質問項目：下表のとおり

図表 2 質問項目

調査手順	質問項目
スクリーニング調査	<p><b>○性暴力被害経験を有する回答者の抽出（本調査対象者の抽出）、性暴力被害遭遇率の推計を目的に実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>性自認</li> <li>年齢層</li> <li>所属・職業</li> <li>性暴力被害の遭遇の有無（言葉による性暴力被害、視覚による性暴力被害、身体接触を伴う性暴力被害、性交を伴う性暴力被害、情報ツールを用いた性暴力被害）</li> <li>最も深刻な／深刻だった性暴力被害</li> <li>7つの手口への遭遇の有無（AV 出演強要、JK ビジネス、レイプドラッグ、酔わせて性的行為を強要、SNS を利用した性被害、セクシュアルハラスメント、痴漢）</li> </ul>
本調査	<p><b>○性暴力被害の実態把握を目的に実施</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>加害者との関係</li> <li>加害者の性別</li> <li>加害者の社会的・職務上の地位等</li> <li>性暴力被害にあったときの状況</li> <li>被害にあった場所</li> <li>被害の継続期間</li> <li>性暴力被害の相談状況</li> <li>相談までに要した期間</li> <li>最初に相談した相手 گرفتった言動</li> <li>相談しなかった理由</li> </ul>

調査手順	質問項目
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 性暴力被害による生活の変化</li> <li>・ 必要な手助け・支援</li> <li>・ 性暴力のない社会になるために必要な取組</li> <li>・ 性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組</li> <li>・ 自由回答</li> </ul>

## 第2章 オンラインアンケートの結果

### 1) スクリーニング調査

#### (1) 単純集計

##### ① 性自認

図表 3 性自認 (n=8,941)

	全体	1次配信分	2次配信分
女性	6,601 (73.8%)	4,177 (67.1%)	2,424 (89.2%)
男性	2,075 (23.2%)	1,857 (29.8%)	218 (8.0%)
Xジェンダー・ノンバイナリー	129 (1.4%)	90 (1.4%)	39 (1.4%)
その他	36 (0.4%)	28 (0.4%)	8 (0.3%)
答えたくない	100 (1.1%)	72 (1.2%)	28 (1.0%)
計	8,941 (100.0%)	6,224 (100.0%)	2,717 (100.0%)

##### ② 年齢層

図表 4 年齢層 (n=8,941)

	全体	1次配信分	2次配信分
16～19歳	2,725 (30.5%)	2,052 (33.0%)	673 (24.8%)
20～24歳	6,216 (69.5%)	4,172 (67.0%)	2,044 (75.2%)
計	8,941 (100.0%)	6,224 (100.0%)	2,717 (100.0%)

##### ③ 性自認×年齢層

図表 5 性自認×年齢層 (n=8,941)

	全体	1次配信分	2次配信分
女性 16歳～19歳	2,014 (22.5%)	1,422 (22.8%)	592 (21.8%)
女性 20歳～24歳	4,587 (51.3%)	2,755 (44.3%)	1,832 (67.4%)
男性 16歳～19歳	602 (6.7%)	547 (8.8%)	55 (2.0%)
男性 20歳～24歳	1,473 (16.5%)	1,310 (21.0%)	163 (6.0%)
Xジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	51 (0.6%)	40 (0.6%)	11 (0.4%)
Xジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	78 (0.9%)	50 (0.8%)	28 (1.0%)
その他・答えたくない 16歳～19歳	58 (0.6%)	43 (0.7%)	15 (0.6%)
その他・答えたくない 20歳～24歳	78 (0.9%)	57 (0.9%)	21 (0.8%)
計	8,941 (100.0%)	6,224 (100.0%)	2,717 (100.0%)

#### ④所属・職業

図表 6 所属・職業 (n=8,941)

	全体		1次配信分		2次配信分	
	人数	(%)	人数	(%)	人数	(%)
高校生	1,651	(18.5%)	1,230	(19.8%)	421	(15.5%)
短大生・専門学校生	448	(5.0%)	325	(5.2%)	123	(4.5%)
大学生	2,818	(31.5%)	1,975	(31.7%)	843	(31.0%)
大学院生	148	(1.7%)	111	(1.8%)	37	(1.4%)
勤め人(常勤)	1,956	(21.9%)	1,274	(20.5%)	682	(25.1%)
勤め人(非常勤・パートタイム・アルバイトなど)	971	(10.9%)	660	(10.6%)	311	(11.4%)
自営業(事業の経営者・家業の手伝い・内職など)	74	(0.8%)	59	(0.9%)	15	(0.6%)
その他の仕事	92	(1.0%)	66	(1.1%)	26	(1.0%)
専業主婦・主夫	274	(3.1%)	158	(2.5%)	116	(4.3%)
無職	509	(5.7%)	366	(5.9%)	143	(5.3%)
計	8,941	(100.0%)	6,224	(100.0%)	2,717	(100.0%)

## (2) 重複被害状況

### ① 性暴力被害 5 分類

図表 7 性暴力被害分類別、重複被害状況 (1 次配信分)

#### 性暴力被害 5 分類 複数回答分布

遭遇した被害分類	件数
1種類	795
2種類	421
3種類	236
4種類	109
5種類	83
合計	1,644

#### 重複数 2

n=421

	言葉による性暴力	視覚による性暴力	身体接触を伴う性暴力	性交を伴う性暴力	情報ツールを用いた性暴力
言葉による性暴力		46	148	10	94
視覚による性暴力	46		25	7	25
身体接触を伴う性暴力	148	25		26	33
性交を伴う性暴力	10	7	26		7
情報ツールを用いた性暴力	94	25	33	7	

#### 重複数 3

n=236

言葉による性暴力	視覚による性暴力	身体接触を伴う性暴力	性交を伴う性暴力	情報ツールを用いた性暴力	件数
○	○	○			52
○	○		○		1
○	○			○	31
○		○	○		25
○		○		○	74
○			○	○	12
	○	○	○		7
	○	○		○	22
	○		○	○	6
		○	○	○	6

#### 重複数 4

n=109

言葉による性暴力	視覚による性暴力	身体接触を伴う性暴力	性交を伴う性暴力	情報ツールを用いた性暴力	件数
○	○	○	○		20
○	○	○		○	56
○	○		○	○	8
○		○	○	○	17
	○	○	○	○	8

②手口7分類

図表 8 性暴力手口分類別、重複被害状況（1次配信分）

7つの手口 複数回答分布

遭遇した手口	件数
1種類	574
2種類	205
3種類	73
4種類	26
5種類	15
6種類	6
7種類	21
合計	920

重複数 2

n=205

	AV出演強要	JKビジネス	レイプドラッグ	酔わせて性的行為を強要	SNSを利用した性被害	セクシュアルハラスメント	痴漢
AV出演強要	1	1	3	2	4	1	1
JKビジネス	1	1	1	3	2	1	3
レイプドラッグ	3	1	2	2	3	1	2
酔わせて性的行為を強要	2	3	2	9	9	7	6
SNSを利用した性被害	2	2	3	9	34	34	46
セクシュアルハラスメント	1	1	1	7	34	73	73
痴漢	1	3	2	6	46	73	73

重複数 3

(回答が存在する組合せのみ表示)

n=73

AV出演強要	JKビジネス	レイプドラッグ	酔わせて性的行為を強要	SNSを利用した性被害	セクシュアルハラスメント	痴漢	件数
○	○		○				1
○	○			○			1
○			○	○			2
○			○		○		1
○				○	○		2
○					○	○	3
	○	○	○				1
	○	○			○		2
	○	○				○	2
	○		○	○			1
	○		○		○		2
	○			○		○	3
	○				○	○	1
		○	○			○	1
		○		○	○	○	1
			○	○	○		9
			○	○		○	6
			○		○	○	6
				○	○	○	27

重複数 4

(回答が存在する組合せのみ表示)

n=26

AV出演強要	JKビジネス	レイプドラッグ	酔わせて性的行為を強要	SNSを利用した性被害	セクシュアルハラスメント	痴漢	件数
○		○	○			○	1
○		○		○	○		1
○		○		○		○	4
○			○	○	○		4
	○	○		○		○	2
	○	○			○		1
	○		○	○		○	2
	○		○		○	○	1
	○			○	○	○	5
		○		○	○	○	1
			○	○	○	○	4

重複数 5

(回答が存在する組合せのみ表示)

n=15

AV出演強要	JKビジネス	レイプドラッグ	酔わせて性的行為を強要	SNSを利用した性被害	セクシュアルハラスメント	痴漢	件数
○	○	○	○	○			1
○	○	○	○			○	1
○	○	○			○		3
○	○		○		○	○	1
○	○			○	○	○	1
○		○	○	○	○		2
○		○		○	○	○	1
○		○		○	○	○	1
○			○	○	○	○	1
	○	○		○	○	○	1
	○		○	○	○	○	2

重複数 6

(回答が存在する組合せのみ表示)

n=6

AV出演強要	JKビジネス	レイプドラッグ	酔わせて性的行為を強要	SNSを利用した性被害	セクシュアルハラスメント	痴漢	件数
○	○	○	○	○		○	2
○	○	○		○	○	○	2
○		○	○	○	○	○	2

## 2) 本調査-その他の分析

### (1) その他の分析-性暴力被害分類別の状況

#### ①【性暴力被害分類別の状況】回答者属性

##### A. 性自認×年齢層

##### ○女性の性暴力被害者

言葉による性暴力被害、身体接触を伴う性暴力被害、情報ツールを用いた性暴力被害が多い。全体の回答状況と比較して、16～19歳では情報ツールを用いた性暴力被害がやや多くなっている（図表9）。

##### ○男性の性暴力被害者

言葉による性暴力被害が顕著に多く、半数を超える。身体接触を伴う性暴力がこれに続く（図表9）。

##### ○Xジェンダー・ノンバイナリーの性暴力被害者

言葉による性暴力被害、身体接触を伴う性暴力被害、情報ツールを用いた性暴力被害が多い。全体の回答状況と比較して、16～19歳では身体接触を伴う性暴力被害が、20～24歳では情報ツールを用いた性暴力被害が多くみられる（図表9）。

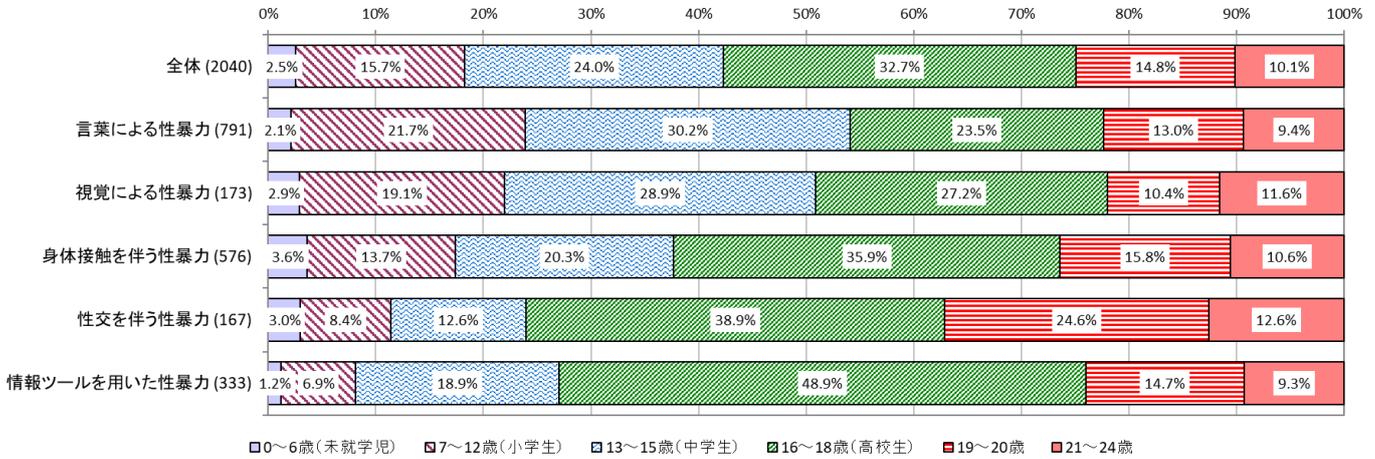
図表9 性暴力被害の分類別、性自認×年齢層

	全体	女性 16歳～ 19歳	女性 20歳～ 24歳	男性 16歳～ 19歳	男性 20歳～ 24歳	Xジェンダー・ ノンバイナリー 16歳～19歳	Xジェンダー・ ノンバイナリー 20歳～24歳
全体	2003 ( 100.0%)	468 ( 23.4%)	1218 ( 60.8%)	59 ( 2.9%)	195 ( 9.7%)	20 ( 1.0%)	43 ( 2.1%)
言葉による性暴力	776 ( 100.0%)	171 ( 22.0%)	440 ( 56.7%)	31 ( 4.0%)	111 ( 14.3%)	8 ( 1.0%)	15 ( 1.9%)
視覚による性暴力	168 ( 100.0%)	36 ( 21.4%)	107 ( 63.7%)	5 ( 3.0%)	17 ( 10.1%)	0 ( 0.0%)	3 ( 1.8%)
身体接触を伴う性暴力	567 ( 100.0%)	130 ( 22.9%)	375 ( 66.1%)	10 ( 1.8%)	34 ( 6.0%)	8 ( 1.4%)	10 ( 1.8%)
性交を伴う性暴力	163 ( 100.0%)	25 ( 15.3%)	118 ( 72.4%)	1 ( 0.6%)	12 ( 7.4%)	2 ( 1.2%)	5 ( 3.1%)
情報ツールを用いた性暴力	329 ( 100.0%)	106 ( 32.2%)	178 ( 54.1%)	12 ( 3.6%)	21 ( 6.4%)	2 ( 0.6%)	10 ( 3.0%)

※「その他・答えたくない」は回答者数が少ないため、分析に含めていない。以降も同様。

## B.性暴力被害にあったときの年齢

図表 10 性暴力被害の分類別、性暴力被害にあったときの年齢



## ②【性暴力被害分類別の状況】加害者について

### A.加害者との関係

図表 11 性暴力被害の分類別、加害者との関係

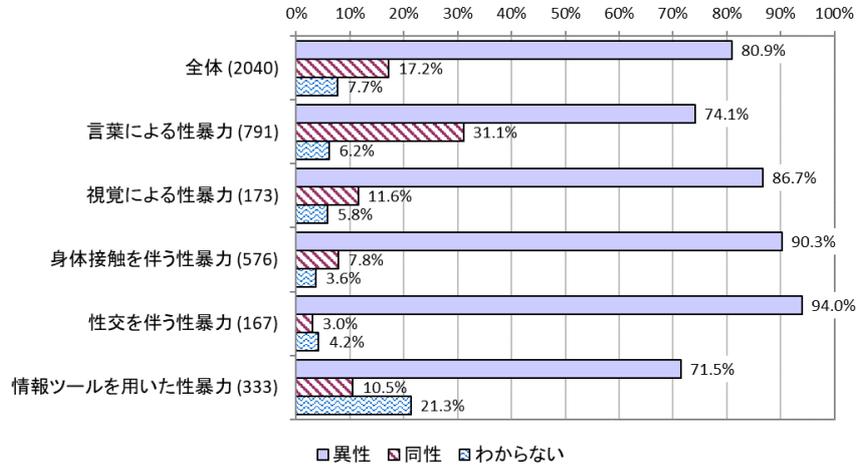
	全体	通っていた(いる)学校・大学の関係者(教職員、先輩、同級生、クラブ活動の指導者など)	地域活動や習いごとの関係者(指導者、先輩、仲間など)	職場、アルバイト先の関係者(上司、同僚、部下、取引先の相手など)	職場・アルバイト先の客	交際相手・元交際相手	配偶者、元配偶者、パートナー、元パートナー	親(育ての親、義理の親を除く)
全体	2040 ( 125)	735 ( 36.0%)	98 ( 4.8%)	224 ( 11.0%)	107 ( 5.2%)	169 ( 8.3%)	35 ( 1.7%)	51 ( 2.5%)
言葉による性暴力	791 ( 131)	441 ( 55.8%)	47 ( 5.9%)	129 ( 16.3%)	52 ( 6.6%)	54 ( 6.8%)	16 ( 2.0%)	31 ( 3.9%)
視覚による性暴力	173 ( 113)	40 ( 23.1%)	12 ( 6.9%)	5 ( 2.9%)	7 ( 4.0%)	3 ( 1.7%)	2 ( 1.2%)	3 ( 1.7%)
身体接触を伴う性暴力	576 ( 122)	141 ( 24.5%)	22 ( 3.8%)	62 ( 10.8%)	28 ( 4.9%)	25 ( 4.3%)	5 ( 0.9%)	8 ( 1.4%)
性交を伴う性暴力	167 ( 134)	49 ( 29.3%)	5 ( 3.0%)	17 ( 10.2%)	8 ( 4.8%)	46 ( 27.5%)	7 ( 4.2%)	6 ( 3.6%)
情報ツールを用いた性暴力	333 ( 121)	64 ( 19.2%)	12 ( 3.6%)	11 ( 3.3%)	12 ( 3.6%)	41 ( 12.3%)	5 ( 1.5%)	3 ( 0.9%)

	育ての親、義理の親、親の交際相手	兄弟姉妹	上記以外の親族	生活していた(いる)施設の関係者(職員、先輩、仲間、里親など)	SNSなどインターネット上で知り合った人	芸能プロダクションへのスカウトや高収入バイトの勧誘などを名乗る人	その他	まったく知らない人
全体	45 ( 2.2%)	27 ( 1.3%)	33 ( 1.6%)	22 ( 1.1%)	285 ( 14.0%)	16 ( 0.8%)	47 ( 2.3%)	662 ( 32.5%)
言葉による性暴力	25 ( 3.2%)	10 ( 1.3%)	9 ( 1.1%)	12 ( 1.5%)	65 ( 8.2%)	8 ( 1.0%)	10 ( 1.3%)	127 ( 16.1%)
視覚による性暴力	0 ( 0.0%)	1 ( 0.6%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	18 ( 10.4%)	1 ( 0.6%)	0 ( 0.0%)	103 ( 59.5%)
身体接触を伴う性暴力	13 ( 2.3%)	9 ( 1.6%)	17 ( 3.0%)	8 ( 1.4%)	45 ( 7.8%)	3 ( 0.5%)	25 ( 4.3%)	289 ( 50.2%)
性交を伴う性暴力	4 ( 2.4%)	6 ( 3.6%)	4 ( 2.4%)	0 ( 0.0%)	32 ( 19.2%)	3 ( 1.8%)	6 ( 3.6%)	30 ( 18.0%)
情報ツールを用いた性暴力	3 ( 0.9%)	1 ( 0.3%)	3 ( 0.9%)	2 ( 0.6%)	125 ( 37.5%)	1 ( 0.3%)	6 ( 1.8%)	113 ( 33.9%)

※「全体」の( )内の数値は平均の回答個数。以降も同様。

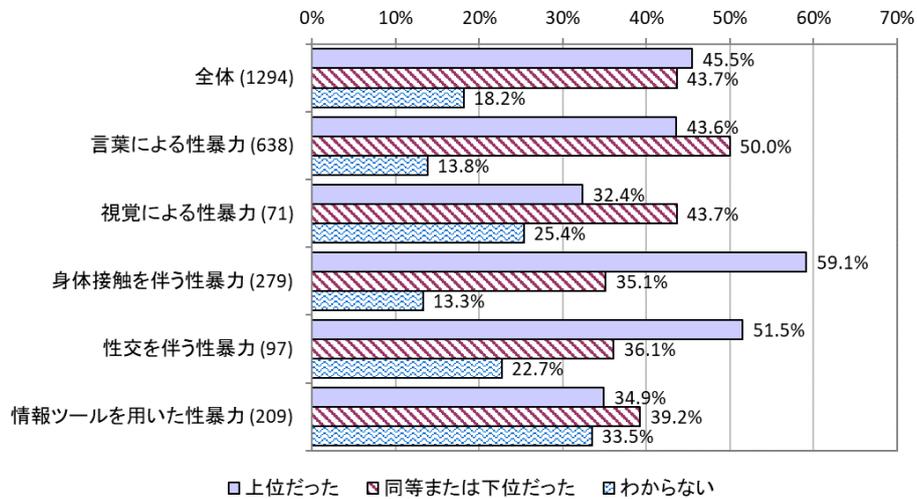
## B.加害者の性別

図表 1 2 性暴力被害の分類別、加害者の性別



## C.加害者の社会的・職務上の地位等

図表 1 3 性暴力被害の分類別、加害者の社会的・職務上の地位等



③【性暴力被害分類別の状況】性暴力被害の状況について

A.性暴力被害にあったときの状況

図表 14 性暴力被害の分類別、性暴力被害にあったときの状況

	全体	相手から、身体的な暴力をふるわれた	相手から、おどされた	インターネットやSNSで相手から、おどされた(暴言、周りに言いふらす、画像のぼろまきなど)	相手から、「何もしない」「変なことほしな」「乱暴しな」などとだまされた	相手から、不意をつかれ、突然に襲いかかれた	相手が、複数人であった	飲酒により意識がなかった・もうろうとしていた	薬物などにより意識がなかった・もうろうとしていた(レイプドラッグ)	相手との関係性(相手との関係が壊れる、仕事への影響など)から拒否できなかった(セクシュアルハラスメント)
全体	2040 ( 1.7%)	220 ( 10.8%)	268 ( 13.1%)	223 ( 10.9%)	246 ( 12.1%)	375 ( 18.4%)	153 ( 7.5%)	81 ( 4.0%)	19 ( 0.9%)	233 ( 11.4%)
言葉による性暴力	791 ( 1.5%)	105 ( 13.3%)	128 ( 16.2%)	68 ( 8.6%)	63 ( 8.0%)	59 ( 7.5%)	105 ( 13.3%)	23 ( 2.9%)	8 ( 1.0%)	97 ( 12.3%)
視覚による性暴力	173 ( 1.4%)	11 ( 6.4%)	10 ( 5.9%)	17 ( 9.8%)	9 ( 5.2%)	28 ( 16.2%)	4 ( 2.3%)	2 ( 1.2%)	0 ( 0.0%)	6 ( 3.5%)
身体接触を伴う性暴力	576 ( 2.0%)	55 ( 9.5%)	47 ( 8.2%)	29 ( 5.0%)	78 ( 13.5%)	200 ( 34.7%)	21 ( 3.6%)	21 ( 3.6%)	3 ( 0.5%)	68 ( 11.8%)
性交を伴う性暴力	167 ( 2.7%)	32 ( 19.2%)	34 ( 20.4%)	14 ( 8.4%)	57 ( 34.1%)	64 ( 38.3%)	13 ( 7.8%)	23 ( 13.8%)	4 ( 2.4%)	39 ( 23.4%)
情報ツールを用いた性暴力	333 ( 1.5%)	17 ( 5.1%)	49 ( 14.7%)	95 ( 28.5%)	39 ( 11.7%)	24 ( 7.2%)	10 ( 3.0%)	12 ( 3.6%)	4 ( 1.2%)	23 ( 6.9%)

	驚きや混乱、恐怖などで体が動かなかった	相手をたたく、ひっかくなどによる身体的な抵抗をした	泣く、叫ぶ、相手に抗議する、説得するなどの言葉による抵抗をした	相手が、親切に相談に乗ってくれるなど、優しくしてくれた	電車で逃げられなかった(痴漢)	「モデル・アイドルになりませんか」と声をかけられ、その後、聞いてほしい性的な行為や、行為中の写真・動画の撮影を要求され、拒否できなかった(AV出演強要)	アルバイトへの応募をしたところ、約束していない性的な行為を要求され、拒否できなかった(JKビジネス)	お金・お小遣いを援助してあげると言われた(りり活・援助交際)	自分に行われていたことがよくわからなかった状態だった	その他
全体	342 ( 16.8%)	80 ( 3.9%)	133 ( 6.5%)	107 ( 5.2%)	289 ( 14.2%)	12 ( 0.6%)	16 ( 0.8%)	71 ( 3.5%)	539 ( 26.4%)	219 ( 10.7%)
言葉による性暴力	79 ( 10.0%)	22 ( 2.8%)	56 ( 7.1%)	34 ( 4.3%)	76 ( 9.6%)	4 ( 0.5%)	4 ( 0.5%)	20 ( 2.5%)	189 ( 23.9%)	102 ( 12.9%)
視覚による性暴力	31 ( 17.9%)	1 ( 0.6%)	6 ( 3.5%)	4 ( 2.3%)	20 ( 11.6%)	2 ( 1.2%)	3 ( 1.7%)	6 ( 3.5%)	68 ( 39.3%)	19 ( 11.0%)
身体接触を伴う性暴力	164 ( 28.5%)	35 ( 6.1%)	36 ( 6.3%)	36 ( 6.3%)	147 ( 25.5%)	3 ( 0.5%)	5 ( 0.9%)	16 ( 2.8%)	166 ( 28.8%)	40 ( 6.9%)
性交を伴う性暴力	42 ( 25.1%)	17 ( 10.2%)	22 ( 13.2%)	18 ( 10.8%)	14 ( 8.4%)	2 ( 1.2%)	3 ( 1.8%)	12 ( 7.2%)	42 ( 25.1%)	5 ( 3.0%)
情報ツールを用いた性暴力	26 ( 7.8%)	5 ( 1.5%)	13 ( 3.9%)	15 ( 4.5%)	32 ( 9.6%)	1 ( 0.3%)	1 ( 0.3%)	17 ( 5.1%)	74 ( 22.2%)	53 ( 15.9%)

B.被害にあった場所

図表 15 性暴力被害の分類別、被害にあった場所

	全体	自宅	加害者の家	保育園・幼稚園	学校	塾	施設	会社	公園	トイレ
全体	2040 ( 1.2%)	210 ( 10.3%)	178 ( 8.7%)	20 ( 1.0%)	458 ( 22.5%)	39 ( 1.9%)	100 ( 4.9%)	121 ( 5.9%)	68 ( 3.3%)	46 ( 2.3%)
言葉による性暴力	791 ( 1.2%)	74 ( 9.4%)	45 ( 5.7%)	9 ( 1.1%)	317 ( 40.1%)	20 ( 2.5%)	38 ( 4.8%)	80 ( 10.1%)	13 ( 1.6%)	10 ( 1.3%)
視覚による性暴力	173 ( 1.1%)	8 ( 4.6%)	6 ( 3.5%)	3 ( 1.7%)	24 ( 13.9%)	1 ( 0.6%)	10 ( 5.8%)	2 ( 1.2%)	18 ( 10.4%)	3 ( 1.7%)
身体接触を伴う性暴力	576 ( 1.2%)	55 ( 9.5%)	45 ( 7.8%)	6 ( 1.0%)	76 ( 13.0%)	9 ( 1.6%)	33 ( 5.7%)	30 ( 5.2%)	20 ( 3.5%)	9 ( 1.6%)
性交を伴う性暴力	167 ( 1.5%)	41 ( 24.6%)	55 ( 32.9%)	1 ( 0.6%)	14 ( 8.4%)	3 ( 1.8%)	7 ( 4.2%)	5 ( 3.0%)	12 ( 7.2%)	14 ( 8.4%)
情報ツールを用いた性暴力	333 ( 1.2%)	32 ( 9.6%)	27 ( 8.1%)	1 ( 0.3%)	28 ( 8.4%)	6 ( 1.8%)	12 ( 3.6%)	4 ( 1.2%)	5 ( 1.5%)	10 ( 3.0%)

	駐車場	カラオケルーム	ホテル	公共交通機関	加害者の車	インターネット・SNSアプリ上	その他	わからない	答えたくない
全体	25 ( 1.2%)	58 ( 2.8%)	79 ( 3.9%)	342 ( 16.8%)	55 ( 2.7%)	243 ( 11.9%)	236 ( 11.6%)	86 ( 4.2%)	202 ( 9.9%)
言葉による性暴力	5 ( 0.6%)	16 ( 2.0%)	13 ( 1.6%)	84 ( 10.6%)	8 ( 1.0%)	58 ( 7.3%)	52 ( 6.6%)	46 ( 5.8%)	100 ( 12.6%)
視覚による性暴力	2 ( 1.2%)	0 ( 0.0%)	2 ( 1.2%)	34 ( 19.7%)	1 ( 0.6%)	16 ( 9.2%)	42 ( 24.3%)	7 ( 4.0%)	18 ( 10.4%)
身体接触を伴う性暴力	8 ( 1.4%)	22 ( 3.8%)	17 ( 3.0%)	165 ( 28.6%)	27 ( 4.7%)	17 ( 3.0%)	120 ( 20.8%)	15 ( 2.6%)	33 ( 5.7%)
性交を伴う性暴力	9 ( 5.4%)	11 ( 6.6%)	35 ( 21.0%)	13 ( 7.8%)	16 ( 9.6%)	2 ( 1.2%)	10 ( 6.0%)	2 ( 1.2%)	15 ( 9.0%)
情報ツールを用いた性暴力	1 ( 0.3%)	9 ( 2.7%)	12 ( 3.6%)	46 ( 13.8%)	3 ( 0.9%)	150 ( 45.0%)	12 ( 3.6%)	16 ( 4.8%)	36 ( 10.8%)

### C.被害の継続期間

図表 16 性暴力被害の分類別、被害の継続期間

	全体	1回限り	1週間未満	1週間以上1か月未満	1か月以上半年未満	半年以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上	現在も継続中	その他
全体	2040 ( 100.0%)	1241 ( 60.8%)	151 ( 7.4%)	108 ( 5.3%)	122 ( 6.0%)	120 ( 5.9%)	99 ( 4.9%)	61 ( 3.0%)	109 ( 5.3%)	29 ( 1.4%)
言葉による性暴力	791 ( 100.0%)	445 ( 56.3%)	62 ( 7.8%)	43 ( 5.4%)	51 ( 6.4%)	49 ( 6.2%)	50 ( 6.3%)	32 ( 4.0%)	42 ( 5.3%)	17 ( 2.1%)
視覚による性暴力	173 ( 100.0%)	122 ( 70.5%)	9 ( 5.2%)	11 ( 6.4%)	6 ( 3.5%)	5 ( 2.9%)	3 ( 1.7%)	4 ( 2.3%)	12 ( 6.9%)	1 ( 0.6%)
身体接触を伴う性暴力	576 ( 100.0%)	390 ( 67.7%)	51 ( 8.9%)	22 ( 3.8%)	33 ( 5.7%)	31 ( 5.4%)	16 ( 2.8%)	9 ( 1.6%)	20 ( 3.5%)	4 ( 0.7%)
性交を伴う性暴力	167 ( 100.0%)	72 ( 43.1%)	9 ( 5.4%)	8 ( 4.8%)	14 ( 8.4%)	19 ( 11.4%)	18 ( 10.8%)	8 ( 4.8%)	14 ( 8.4%)	5 ( 3.0%)
情報ツールを用いた性暴力	333 ( 100.0%)	212 ( 63.7%)	20 ( 6.0%)	24 ( 7.2%)	18 ( 5.4%)	16 ( 4.8%)	12 ( 3.6%)	8 ( 2.4%)	21 ( 6.3%)	2 ( 0.6%)

### ④【性暴力被害分類別の状況】性暴力被害の相談状況について

#### A.性暴力被害の相談状況

図表 17 性暴力被害の分類別、相談した人・機関

	全体	家族や親戚	友人・知人	学校関係者 (教員、義 教諭、ス クールカ ウンセ ラーなど)	職場・アル バイトの 関係者 (上司、同 僚、部下、 取引先など)	民間の専門 家や専門機 関(弁護士・ 弁護士会、カ ウンセラー・ カウンセリング 機関、民間 シェルター など)	医療関係者 (医師、看護 師など)	性犯罪・性暴 力被害者支 援の専門相 談窓口(いわ ゆるワン ストップ支援セ ンター)
全体	2040 ( 1.39)	559 ( 27.4%)	637 ( 31.2%)	231 ( 11.3%)	115 ( 5.6%)	46 ( 2.3%)	34 ( 1.7%)	24 ( 1.2%)
言葉による性暴力	791 ( 1.35)	226 ( 28.6%)	203 ( 25.7%)	91 ( 11.5%)	52 ( 6.6%)	18 ( 2.3%)	14 ( 1.8%)	8 ( 1.0%)
視覚による性暴力	173 ( 1.61)	66 ( 38.2%)	58 ( 33.5%)	33 ( 19.1%)	8 ( 4.6%)	5 ( 2.9%)	4 ( 2.3%)	3 ( 1.7%)
身体接触を伴う性暴力	576 ( 1.47)	189 ( 32.8%)	231 ( 40.1%)	70 ( 12.2%)	41 ( 7.1%)	8 ( 1.4%)	11 ( 1.9%)	4 ( 0.7%)
性交を伴う性暴力	167 ( 1.37)	24 ( 14.4%)	51 ( 30.5%)	11 ( 6.6%)	8 ( 4.8%)	6 ( 3.6%)	3 ( 1.8%)	7 ( 4.2%)
情報ツールを用いた性暴力	333 ( 1.22)	54 ( 16.2%)	94 ( 28.2%)	26 ( 7.8%)	6 ( 1.8%)	9 ( 2.7%)	2 ( 0.6%)	2 ( 0.6%)

	性暴力に関するSNS相談 (Cure time)	被害者支援 センター	配偶者暴力 相談支援セ ンター(婦人 相談所など)、 男女共同参 画センター	法務局・地方 法務局、人権 擁護委員	警察	上記以外の 公的な機関 (市役所など)	その他	どこ(だれ)に も相談しな かった
全体	19 ( 0.9%)	14 ( 0.7%)	10 ( 0.5%)	11 ( 0.5%)	115 ( 5.6%)	15 ( 0.7%)	34 ( 1.7%)	964 ( 47.3%)
言葉による性暴力	7 ( 0.9%)	2 ( 0.3%)	2 ( 0.3%)	3 ( 0.4%)	19 ( 2.4%)	2 ( 0.3%)	5 ( 0.6%)	413 ( 52.2%)
視覚による性暴力	3 ( 1.7%)	2 ( 1.2%)	2 ( 1.2%)	2 ( 1.2%)	22 ( 12.7%)	3 ( 1.7%)	0 ( 0.0%)	67 ( 38.7%)
身体接触を伴う性暴力	2 ( 0.3%)	4 ( 0.7%)	2 ( 0.3%)	3 ( 0.5%)	52 ( 9.0%)	6 ( 1.0%)	15 ( 2.6%)	211 ( 36.6%)
性交を伴う性暴力	2 ( 1.2%)	4 ( 2.4%)	2 ( 1.2%)	2 ( 1.2%)	13 ( 7.8%)	3 ( 1.8%)	6 ( 3.6%)	87 ( 52.1%)
情報ツールを用いた性暴力	5 ( 1.5%)	2 ( 0.6%)	2 ( 0.6%)	1 ( 0.3%)	9 ( 2.7%)	1 ( 0.3%)	8 ( 2.4%)	186 ( 55.9%)

図表 18 性暴力被害の分類別、最初に相談した人・機関

	全体	家族や親戚	友人・知人	学校関係者 (教員、養護 教諭、スクー ルカウンセ ラーなど)	職場・アルバ イトの関係者 (上司、同 僚、部下、取 引先など)	民間の専門 家や専門機 関(弁護士・ 弁護士会、カ ウンセラー・ カウンセリ ング機関、民 間シェルター など)	医療関係者 (医師、看護 師など)	性犯罪・性暴 力被害者支 援の専門相 談窓口(いわ ゆるワンス トップ支援セ ンター)
全体	2040 ( 100.0%)	386 ( 18.9%)	469 ( 23.0%)	75 ( 3.7%)	57 ( 2.8%)	11 ( 0.5%)	6 ( 0.3%)	4 ( 0.2%)
言葉による性暴力	791 ( 100.0%)	163 ( 20.6%)	142 ( 18.0%)	29 ( 3.7%)	24 ( 3.0%)	5 ( 0.6%)	3 ( 0.4%)	1 ( 0.1%)
視覚による性暴力	173 ( 100.0%)	45 ( 26.0%)	34 ( 19.7%)	11 ( 6.4%)	5 ( 2.9%)	1 ( 0.6%)	1 ( 0.6%)	0 ( 0.0%)
身体接触を伴う性暴力	576 ( 100.0%)	127 ( 22.0%)	173 ( 30.0%)	18 ( 3.1%)	20 ( 3.5%)	3 ( 0.5%)	0 ( 0.0%)	1 ( 0.2%)
性交を伴う性暴力	167 ( 100.0%)	16 ( 9.6%)	45 ( 26.9%)	2 ( 1.2%)	3 ( 1.8%)	1 ( 0.6%)	1 ( 0.6%)	1 ( 0.6%)
情報ツールを用いた性暴力	333 ( 100.0%)	35 ( 10.5%)	75 ( 22.5%)	15 ( 4.5%)	5 ( 1.5%)	1 ( 0.3%)	1 ( 0.3%)	1 ( 0.3%)

	性暴力に関 するSNS相談 (Cure time)	被害者支援 センター	配偶者暴力 相談支援セ ンター(婦人 相談所など)、 男女共同参 画センター	法務局・地方 法務局、人権 擁護委員	警察	上記以外の 公的な機関 (市役所など)	その他	どこ(だれ)に も相談しな かった
全体	4 ( 0.2%)	3 ( 0.1%)	2 ( 0.1%)	0 ( 0.0%)	29 ( 1.4%)	5 ( 0.2%)	25 ( 1.2%)	964 ( 47.3%)
言葉による性暴力	1 ( 0.1%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	6 ( 0.8%)	1 ( 0.1%)	3 ( 0.4%)	413 ( 52.2%)
視覚による性暴力	1 ( 0.6%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	7 ( 4.0%)	1 ( 0.6%)	0 ( 0.0%)	67 ( 38.7%)
身体接触を伴う性暴力	0 ( 0.0%)	1 ( 0.2%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	9 ( 1.6%)	2 ( 0.3%)	11 ( 1.9%)	211 ( 36.6%)
性交を伴う性暴力	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 0.6%)	0 ( 0.0%)	4 ( 2.4%)	0 ( 0.0%)	6 ( 3.6%)	87 ( 52.1%)
情報ツールを用いた性暴力	2 ( 0.6%)	2 ( 0.6%)	1 ( 0.3%)	0 ( 0.0%)	3 ( 0.9%)	1 ( 0.3%)	5 ( 1.5%)	186 ( 55.9%)

## B.相談までに要した期間

図表 19 性暴力被害の分類別、相談までに要した期間

	全体	その日のうち	翌日～3日	4日～1カ月未満	1カ月～1年未満	1年～5年未満	5年～10年未満	10年以上
全体	1076 ( 100.0%)	460 ( 42.8%)	250 ( 23.2%)	149 ( 13.8%)	127 ( 11.8%)	62 ( 5.8%)	15 ( 1.4%)	13 ( 1.2%)
言葉による性暴力	378 ( 100.0%)	134 ( 35.4%)	104 ( 27.5%)	62 ( 16.4%)	53 ( 14.0%)	16 ( 4.2%)	4 ( 1.1%)	5 ( 1.3%)
視覚による性暴力	106 ( 100.0%)	66 ( 62.3%)	16 ( 15.1%)	11 ( 10.4%)	9 ( 8.5%)	2 ( 1.9%)	2 ( 1.9%)	0 ( 0.0%)
身体接触を伴う性暴力	365 ( 100.0%)	191 ( 52.3%)	74 ( 20.3%)	35 ( 9.6%)	33 ( 9.0%)	22 ( 6.0%)	6 ( 1.6%)	4 ( 1.1%)
性交を伴う性暴力	80 ( 100.0%)	12 ( 15.0%)	20 ( 25.0%)	16 ( 20.0%)	16 ( 20.0%)	10 ( 12.5%)	3 ( 3.8%)	3 ( 3.8%)
情報ツールを用いた性暴力	147 ( 100.0%)	57 ( 38.8%)	36 ( 24.5%)	25 ( 17.0%)	16 ( 10.9%)	12 ( 8.2%)	0 ( 0.0%)	1 ( 0.7%)

## C.最初に相談した相手がとった言動

図表 20 性暴力被害の分類別、最初に相談した相手がとった言動

	全体	相手に働きかけたかった	避難先や居場所を提供してくれた	一緒にいて、守ってくれた	取るべき行動を助言してくれた	あなたを慰めたり、励ましたくれた	話を聞いてくれた	わかってくれなかった	的外れな助言をされた	あなたを非難した	何もしてくれなかった	その他
全体	1076 ( 1.93)	187 ( 17.4%)	72 ( 6.7%)	277 ( 25.7%)	273 ( 25.4%)	420 ( 39.0%)	645 ( 59.9%)	41 ( 3.8%)	41 ( 3.8%)	32 ( 3.0%)	61 ( 5.7%)	33 ( 3.1%)
言葉による性暴力	378 ( 1.98)	83 ( 22.0%)	28 ( 7.4%)	107 ( 28.3%)	106 ( 28.0%)	146 ( 38.6%)	220 ( 58.2%)	14 ( 3.7%)	13 ( 3.4%)	8 ( 2.1%)	17 ( 4.5%)	5 ( 1.3%)
視覚による性暴力	106 ( 1.67)	12 ( 11.3%)	10 ( 9.4%)	22 ( 20.8%)	20 ( 18.9%)	34 ( 32.1%)	55 ( 51.9%)	4 ( 3.8%)	1 ( 0.9%)	3 ( 2.8%)	8 ( 7.5%)	8 ( 7.5%)
身体接触を伴う性暴力	365 ( 2.03)	53 ( 14.5%)	22 ( 6.0%)	95 ( 26.0%)	90 ( 24.7%)	154 ( 42.2%)	243 ( 66.6%)	15 ( 4.1%)	18 ( 4.9%)	19 ( 5.2%)	20 ( 5.5%)	13 ( 3.6%)
性交を伴う性暴力	80 ( 2.00)	13 ( 16.3%)	5 ( 6.3%)	16 ( 20.0%)	22 ( 27.5%)	33 ( 41.3%)	51 ( 63.8%)	3 ( 3.8%)	5 ( 6.3%)	1 ( 1.3%)	6 ( 7.5%)	5 ( 6.3%)
情報ツールを用いた性暴力	147 ( 1.74)	26 ( 17.7%)	7 ( 4.8%)	37 ( 25.2%)	35 ( 23.8%)	53 ( 36.1%)	76 ( 51.7%)	5 ( 3.4%)	4 ( 2.7%)	1 ( 0.7%)	10 ( 6.8%)	2 ( 1.4%)

## D.相談しなかった理由

図表 21 性暴力被害の分類別、相談しなかった理由

	全体	どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	相談してもむだだと思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	相談相手の言動によって不快(ふかい)な思いをさせられると思ったから	自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	自分にも悪いところがあると思ったから	そのことについて思い出しにくかったから	仕返しが怖かったから(もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど)
全体	964 ( 2.38)	248 ( 25.7%)	347 ( 36.0%)	275 ( 28.5%)	310 ( 32.2%)	28 ( 2.9%)	122 ( 12.7%)	97 ( 10.1%)	133 ( 13.8%)	42 ( 4.4%)
言葉による性暴力	413 ( 2.01)	106 ( 25.7%)	117 ( 28.3%)	121 ( 29.3%)	147 ( 35.6%)	13 ( 3.1%)	38 ( 9.2%)	18 ( 4.4%)	39 ( 9.4%)	13 ( 3.1%)
視覚による性暴力	67 ( 2.45)	19 ( 28.4%)	32 ( 47.8%)	15 ( 22.4%)	19 ( 28.4%)	1 ( 1.5%)	8 ( 11.9%)	3 ( 4.5%)	8 ( 11.9%)	2 ( 3.0%)
身体接触を伴う性暴力	211 ( 2.82)	60 ( 28.4%)	82 ( 38.9%)	77 ( 36.5%)	69 ( 32.7%)	5 ( 2.4%)	37 ( 17.5%)	21 ( 10.0%)	45 ( 21.3%)	12 ( 5.7%)
性交を伴う性暴力	87 ( 2.98)	23 ( 26.4%)	41 ( 47.1%)	24 ( 27.6%)	9 ( 10.3%)	5 ( 5.7%)	19 ( 21.8%)	16 ( 18.4%)	19 ( 21.8%)	7 ( 8.0%)
情報ツールを用いた性暴力	186 ( 2.38)	40 ( 21.5%)	75 ( 40.3%)	38 ( 20.4%)	66 ( 35.5%)	4 ( 2.2%)	20 ( 10.8%)	39 ( 21.0%)	22 ( 11.8%)	8 ( 4.3%)

	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	世間体(せけんたい)が悪いと思ったから	他人を巻き込みたくなかったから	他人に知られると、これまで通りの付き合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから	相手の行為は愛情表現だと思ったから	相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかったから	誰にも知られなかったから、心配させたくないから	被害かどうかわからなかったから	低年齢であつたため、相談するといふことが思いつかなかったから	その他
全体	12 (1.2%)	53 (5.5%)	65 (6.7%)	59 (6.1%)	19 (2.0%)	24 (2.5%)	145 (15.0%)	169 (17.5%)	122 (12.7%)	21 (2.2%)
言葉による性暴力	2 (0.5%)	9 (2.2%)	21 (5.1%)	13 (3.1%)	3 (0.7%)	4 (1.0%)	34 (8.2%)	73 (17.7%)	50 (12.1%)	10 (2.4%)
視覚による性暴力	0 (0.0%)	2 (3.0%)	5 (7.5%)	6 (9.0%)	1 (1.5%)	2 (3.0%)	15 (22.4%)	14 (20.9%)	11 (16.4%)	1 (1.5%)
身体接触を伴う性暴力	3 (1.4%)	17 (8.1%)	19 (9.0%)	17 (8.1%)	4 (1.9%)	10 (4.7%)	47 (22.3%)	36 (17.1%)	28 (13.3%)	5 (2.4%)
性交を伴う性暴力	4 (4.6%)	12 (13.8%)	6 (6.9%)	14 (16.1%)	5 (5.7%)	5 (5.7%)	25 (28.7%)	14 (16.1%)	11 (12.6%)	0 (0.0%)
情報ツールを用いた性暴力	3 (1.6%)	13 (7.0%)	14 (7.5%)	9 (4.8%)	6 (3.2%)	3 (1.6%)	24 (12.9%)	32 (17.2%)	22 (11.8%)	5 (2.7%)

## ⑤【性暴力被害分類別の状況】性暴力被害を受けた直後から現在までの生活の変化について

### A.性暴力被害による生活の変化

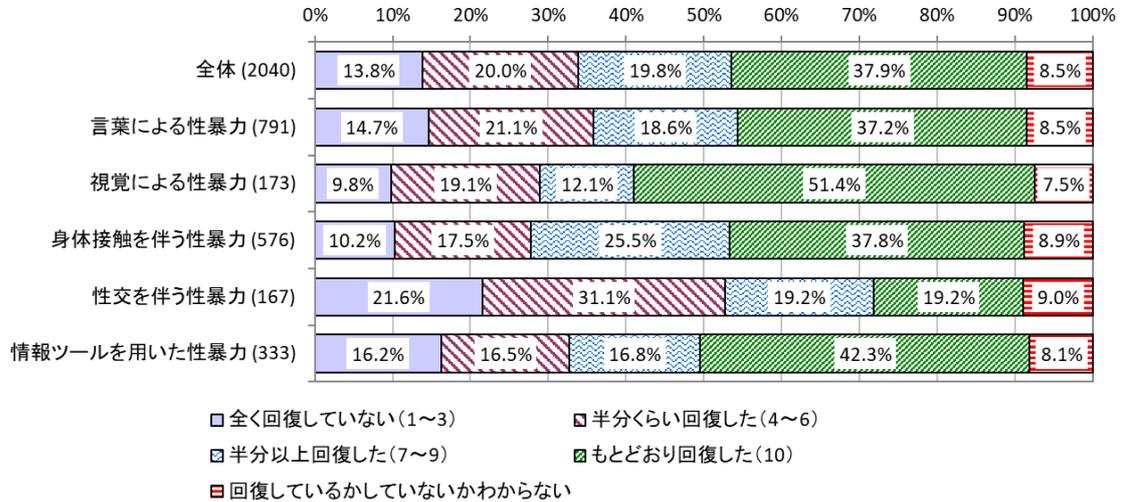
図表 2 2 性暴力被害の分類別、性暴力被害による生活の変化

	全体	夜、眠れなくなった	心身に不調をきたした	医療機関を受診し、精神疾患と診断された	自分に自信がなくなった	誰のことも信じられなくなった	外出するのが怖くなった	異性と会うのが怖くなった	人づきあいがうまくいかなかった	転居(引越し)、別居した	携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた
全体	2040 (2.06)	385 (18.9%)	117 (5.7%)	74 (3.6%)	436 (21.4%)	343 (16.8%)	291 (14.3%)	364 (17.8%)	227 (11.1%)	38 (1.9%)	131 (6.4%)
言葉による性暴力	791 (2.12)	155 (19.6%)	47 (5.9%)	29 (3.7%)	269 (34.0%)	158 (20.0%)	103 (13.0%)	111 (14.0%)	116 (14.7%)	16 (2.0%)	29 (3.7%)
視覚による性暴力	173 (1.54)	30 (17.3%)	5 (2.9%)	3 (1.7%)	12 (6.9%)	17 (9.8%)	23 (13.3%)	24 (13.9%)	8 (4.6%)	1 (0.6%)	9 (5.2%)
身体接触を伴う性暴力	576 (1.99)	89 (15.5%)	34 (5.9%)	22 (3.8%)	69 (12.0%)	70 (12.2%)	99 (17.2%)	131 (22.7%)	47 (8.2%)	9 (1.6%)	23 (4.0%)
性交を伴う性暴力	167 (3.19)	50 (29.9%)	20 (12.0%)	14 (8.4%)	44 (26.3%)	54 (32.3%)	35 (21.0%)	55 (32.9%)	28 (16.8%)	8 (4.8%)	15 (9.0%)
情報ツールを用いた性暴力	333 (1.74)	61 (18.3%)	11 (3.3%)	6 (1.8%)	42 (12.6%)	44 (13.2%)	31 (9.3%)	43 (12.9%)	28 (8.4%)	4 (1.2%)	55 (16.5%)

	仕事(アルバイト)をしばらく休んだ・やめた・変えた	学校・大学をしばらく休んだ・やめた・変えた	生きているのが嫌になった・死にたくなった	加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる	生活全般にわたって活動的でなくなった、趣味、学業や仕事への関心が低くなった	神経過敏になり、少しの刺激に過敏に反応してしまったり、イライラ・そわそわしやすくなった	飲酒量・薬物量が増えた	性行動が活発になった	その他	特になし
全体	95 (4.7%)	106 (5.2%)	230 (11.3%)	209 (10.2%)	85 (4.2%)	193 (9.5%)	36 (1.8%)	78 (3.8%)	81 (4.0%)	680 (33.3%)
言葉による性暴力	37 (4.7%)	49 (6.2%)	103 (13.0%)	53 (6.7%)	33 (4.2%)	78 (9.9%)	12 (1.5%)	14 (1.8%)	20 (2.5%)	244 (30.8%)
視覚による性暴力	3 (1.7%)	9 (5.2%)	7 (4.0%)	7 (4.0%)	5 (2.9%)	12 (6.9%)	1 (0.6%)	3 (1.7%)	6 (3.5%)	82 (47.4%)
身体接触を伴う性暴力	29 (5.0%)	26 (4.5%)	48 (8.3%)	96 (16.7%)	25 (4.3%)	60 (10.4%)	11 (1.9%)	23 (4.0%)	41 (7.1%)	192 (33.3%)
性交を伴う性暴力	18 (10.8%)	10 (6.0%)	42 (25.1%)	36 (21.6%)	15 (9.0%)	29 (17.4%)	7 (4.2%)	24 (14.4%)	4 (2.4%)	25 (15.0%)
情報ツールを用いた性暴力	8 (2.4%)	12 (3.6%)	30 (9.0%)	17 (5.1%)	7 (2.1%)	14 (4.2%)	5 (1.5%)	14 (4.2%)	10 (3.0%)	137 (41.1%)

## B.性暴力被害からの回復状況

図表 23 性暴力被害の分類別、性暴力被害からの回復状況



## ⑥【性暴力被害分類別の状況】性暴力被害後に必要な支援等について

### A.必要な手助け・支援

図表 24 性暴力被害の分類別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続きの手助け、付き添い
全体	2040 (1.82)	741 (36.3%)	328 (16.1%)	148 (7.3%)	155 (7.6%)	175 (8.6%)	49 (2.4%)	42 (2.1%)	25 (1.2%)
言葉による性暴力	791 (1.72)	290 (36.7%)	113 (14.3%)	38 (4.8%)	40 (5.1%)	40 (5.1%)	15 (1.9%)	18 (2.3%)	10 (1.3%)
視覚による性暴力	173 (1.73)	73 (42.2%)	30 (17.3%)	11 (6.4%)	12 (6.9%)	21 (12.1%)	3 (1.7%)	2 (1.2%)	4 (2.3%)
身体接触を伴う性暴力	576 (2.05)	240 (41.7%)	127 (22.0%)	43 (7.5%)	66 (11.5%)	77 (13.4%)	15 (2.6%)	16 (2.8%)	9 (1.6%)
性交を伴う性暴力	167 (1.86)	40 (24.0%)	23 (13.8%)	25 (15.0%)	13 (7.8%)	11 (6.6%)	7 (4.2%)	4 (2.4%)	1 (0.6%)
情報ツールを用いた性暴力	333 (1.68)	98 (29.4%)	35 (10.5%)	31 (9.3%)	24 (7.2%)	26 (7.8%)	9 (2.7%)	2 (0.6%)	1 (0.3%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	42 (2.1%)	75 (3.7%)	527 (25.8%)	285 (14.0%)	347 (17.0%)	10 (0.5%)	379 (18.6%)	388 (19.0%)
言葉による性暴力	17 (2.1%)	24 (3.0%)	209 (26.4%)	109 (13.8%)	128 (16.2%)	2 (0.3%)	161 (20.4%)	150 (19.0%)
視覚による性暴力	3 (1.7%)	3 (1.7%)	32 (18.5%)	20 (11.6%)	21 (12.1%)	0 (0.0%)	30 (17.3%)	34 (19.7%)
身体接触を伴う性暴力	15 (2.6%)	10 (1.7%)	173 (30.0%)	91 (15.8%)	109 (18.9%)	6 (1.0%)	86 (14.9%)	99 (17.2%)
性交を伴う性暴力	5 (3.0%)	4 (2.4%)	49 (29.3%)	25 (15.0%)	36 (21.6%)	0 (0.0%)	29 (17.4%)	39 (23.4%)
情報ツールを用いた性暴力	2 (0.6%)	34 (10.2%)	64 (19.2%)	40 (12.0%)	53 (15.9%)	2 (0.6%)	73 (21.9%)	66 (19.8%)

図表 25 性暴力被害の分類別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士への紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 (1.45)	415 (20.3%)	183 (9.0%)	92 (4.5%)	98 (4.8%)	89 (4.4%)	36 (1.8%)	40 (2.0%)	27 (1.3%)
言葉による性暴力	791 (1.42)	173 (21.9%)	79 (10.0%)	26 (3.3%)	33 (4.2%)	27 (3.4%)	11 (1.4%)	16 (2.0%)	15 (1.9%)
視覚による性暴力	173 (1.34)	36 (20.8%)	12 (6.9%)	11 (6.4%)	7 (4.0%)	7 (4.0%)	5 (2.9%)	4 (2.3%)	0 (0.0%)
身体接触を伴う性暴力	576 (1.57)	117 (20.3%)	64 (11.1%)	23 (4.0%)	38 (6.6%)	31 (5.4%)	13 (2.3%)	12 (2.1%)	8 (1.4%)
性交を伴う性暴力	167 (1.40)	32 (19.2%)	8 (4.8%)	8 (4.8%)	4 (2.4%)	8 (4.8%)	2 (1.2%)	4 (2.4%)	1 (0.6%)
情報ツールを用いた性暴力	333 (1.38)	57 (17.1%)	20 (6.0%)	24 (7.2%)	16 (4.8%)	16 (4.8%)	5 (1.5%)	4 (1.2%)	3 (0.9%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支援	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	35 (1.7%)	56 (2.7%)	371 (18.2%)	197 (9.7%)	283 (13.9%)	7 (0.3%)	617 (30.2%)	409 (20.0%)
言葉による性暴力	17 (2.1%)	19 (2.4%)	138 (17.4%)	66 (8.3%)	99 (12.5%)	1 (0.1%)	235 (29.7%)	169 (21.4%)
視覚による性暴力	2 (1.2%)	2 (1.2%)	19 (11.0%)	13 (7.5%)	17 (9.8%)	0 (0.0%)	64 (37.0%)	32 (18.5%)
身体接触を伴う性暴力	8 (1.4%)	13 (2.3%)	133 (23.1%)	73 (12.7%)	99 (17.2%)	3 (0.5%)	170 (29.5%)	102 (17.7%)
性交を伴う性暴力	4 (2.4%)	3 (1.8%)	33 (19.8%)	17 (10.2%)	30 (18.0%)	0 (0.0%)	40 (24.0%)	40 (24.0%)
情報ツールを用いた性暴力	4 (1.2%)	19 (5.7%)	48 (14.4%)	28 (8.4%)	38 (11.4%)	3 (0.9%)	108 (32.4%)	66 (19.8%)

B.性暴力のない社会にするために必要な取組

図表 26 性暴力被害の分類別、性暴力のない社会にするために必要な取組

	全体	性犯罪・性暴力に関する刑法を改正して、加害者を罪に問えるようにしたり、罪を重くする	パトロールを行うなどの防犯体制の強化	警察の取り締まりの強化	加害者の行動を追跡できるようにGPSをつけるなど、再犯防止対策を強化すること	社会全体に性犯罪・性暴力について広く知ってもらうこと	性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないための教育・人権教育の推進	加害者に再犯防止プログラムを奨励させること	その他
全体	2040 (2.75)	1208 (59.2%)	580 (28.4%)	630 (30.9%)	608 (29.8%)	963 (47.2%)	885 (43.4%)	669 (32.8%)	74 (3.6%)
言葉による性暴力	791 (2.68)	452 (57.1%)	207 (26.2%)	236 (29.8%)	223 (28.2%)	377 (47.7%)	344 (43.5%)	266 (33.6%)	16 (2.0%)
視覚による性暴力	173 (2.57)	85 (49.1%)	63 (36.4%)	49 (28.3%)	52 (30.1%)	58 (33.5%)	65 (37.6%)	65 (37.6%)	8 (4.6%)
身体接触を伴う性暴力	576 (3.13)	377 (65.5%)	200 (34.7%)	214 (37.2%)	204 (35.4%)	310 (53.8%)	280 (48.6%)	197 (34.2%)	23 (4.0%)
性交を伴う性暴力	167 (2.31)	100 (59.9%)	31 (18.6%)	41 (24.6%)	35 (21.0%)	73 (43.7%)	63 (37.7%)	31 (18.6%)	12 (7.2%)
情報ツールを用いた性暴力	333 (2.58)	194 (58.3%)	79 (23.7%)	90 (27.0%)	94 (28.2%)	145 (43.5%)	133 (39.9%)	110 (33.0%)	15 (4.5%)

### C.性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組

図表 27 性暴力被害の分類別、性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組

	相談先で被害者を責めたりしないよう徹底すること	支援が無料で受けられるようにすること	児童・生徒に関わる教育関係者の性暴力防止に関する研修を充実すること	学校や職場などで相談を受ける体制を強化すること	早期から性の安全に関する教育(性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないための教育)を行うこと	その他	特になし
全体	592 ( 29.0%)	860 ( 42.2%)	410 ( 20.1%)	578 ( 28.3%)	678 ( 33.2%)	19 ( 0.9%)	191 ( 9.4%)
言葉による性暴力	227 ( 28.7%)	312 ( 39.4%)	167 ( 21.1%)	242 ( 30.6%)	245 ( 31.0%)	8 ( 1.0%)	90 ( 11.4%)
視覚による性暴力	40 ( 23.1%)	68 ( 39.3%)	30 ( 17.3%)	45 ( 26.0%)	44 ( 25.4%)	0 ( 0.0%)	11 ( 6.4%)
身体接触を伴う性暴力	198 ( 34.4%)	287 ( 49.8%)	143 ( 24.8%)	185 ( 32.1%)	229 ( 39.8%)	7 ( 1.2%)	40 ( 6.9%)
性交を伴う性暴力	41 ( 24.6%)	64 ( 38.3%)	22 ( 13.2%)	29 ( 17.4%)	51 ( 30.5%)	3 ( 1.8%)	18 ( 10.8%)
情報ツールを用いた性暴力	86 ( 25.8%)	129 ( 38.7%)	48 ( 14.4%)	77 ( 23.1%)	109 ( 32.7%)	1 ( 0.3%)	32 ( 9.6%)

	全体	相談窓口を周知すること	24時間・365日相談できるようにすること	性犯罪・性暴力被害者のためのワンストップ支援センターの数を増やすこと	電話以外にもSNSで相談できるなど多様な相談方法があること	性犯罪・性暴力の支援を出来る支援員を増やすこと	相談者が希望する性別の相談員に相談できること	カウンセラーや性暴力に関わる医療従事者の数を増やすこと
全体	2040 ( 3.86)	796 ( 39.0%)	945 ( 46.3%)	416 ( 20.4%)	924 ( 45.3%)	415 ( 20.3%)	599 ( 29.4%)	446 ( 21.9%)
言葉による性暴力	791 ( 3.80)	321 ( 40.6%)	346 ( 43.7%)	164 ( 20.7%)	318 ( 40.2%)	158 ( 20.0%)	230 ( 29.1%)	177 ( 22.4%)
視覚による性暴力	173 ( 3.60)	74 ( 42.8%)	81 ( 46.8%)	35 ( 20.2%)	79 ( 45.7%)	31 ( 17.9%)	49 ( 28.3%)	35 ( 20.2%)
身体接触を伴う性暴力	576 ( 4.32)	233 ( 40.5%)	283 ( 49.1%)	124 ( 21.5%)	298 ( 51.7%)	136 ( 23.6%)	192 ( 33.3%)	135 ( 23.4%)
性交を伴う性暴力	167 ( 3.49)	61 ( 36.5%)	90 ( 53.9%)	33 ( 19.8%)	66 ( 39.5%)	30 ( 18.0%)	40 ( 24.0%)	34 ( 20.4%)
情報ツールを用いた性暴力	333 ( 3.51)	107 ( 32.1%)	145 ( 43.5%)	60 ( 18.0%)	163 ( 48.9%)	60 ( 18.0%)	88 ( 26.4%)	65 ( 19.5%)

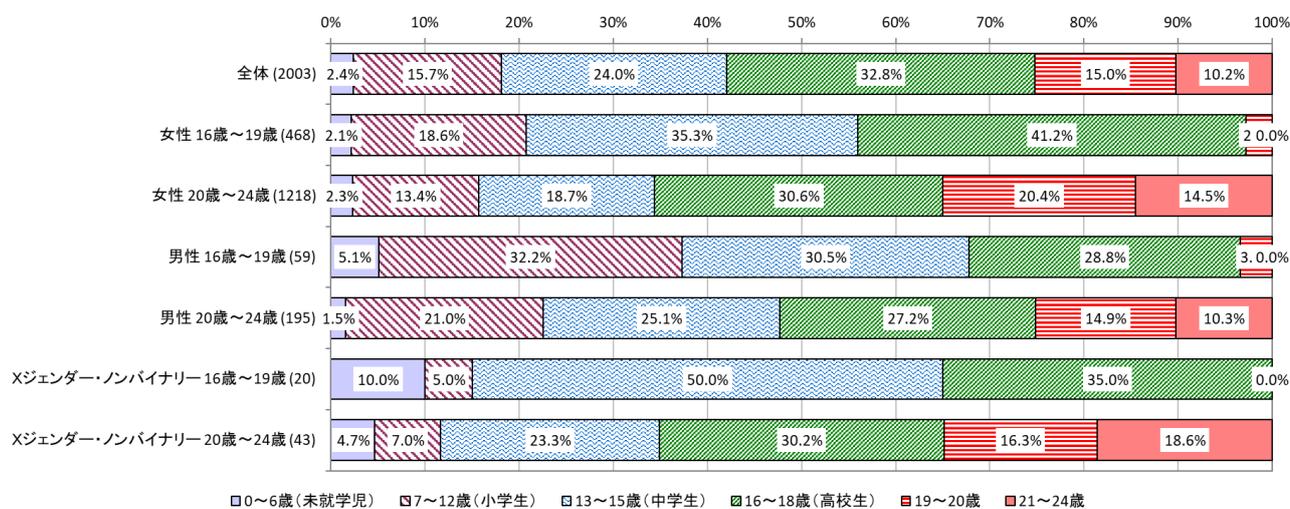
## (2) その他の分析-性自認・年齢層別の状況

本項において、性自認を「女性（16～19歳 468人、20～24歳 1,218人、計 1,686人）」、「男性（16～19歳 59人、20～24歳 195人、計 254人）」、「Xジェンダー・ノンバイナリー（16～19歳 20人、20～24歳 43人、計 63人）」とした回答者を集計対象とする。

### ①【性自認・年齢層別の状況】回答者属性

#### A. 性暴力被害にあったときの年齢

図表 28 性自認×年齢層別、性暴力被害にあったときの年齢



## ②【性自認・年齢層別の状況】加害者について

### ○女性の性暴力被害者

知らない人や学校の関係者が加害者であることが多く、これにネット上で知り合った人や、20～24歳においては職場・アルバイト先の関係者等が続く。異性からの加害が9割弱となっている。加害者の社会的地位等については、16～19歳では同等または下位が、20～24歳では上位がやや多くなっている（図表29、図表30、図表31）。

### ○男性の性暴力被害者

加害者は、学校の関係者が5割超（特に16～19歳では約6割）と顕著に多く、次いで知らない人となっている。同性からの加害が多く、16～19歳では6割強に及ぶ。一方で、異性からの加害も4割弱となっており、同性・異性の双方から加害を受けている状況がうかがえる。加害者の社会的地位等については同等または下位が多く、16～19歳では約7割となっている（図表29、図表30、図表31）。

### ○Xジェンダー・ノンバイナリーの性暴力被害者

加害者は、学校の関係者が多く（特に、16～19歳に多い）、次いで知らない人、アルバイト先の関係者（特に、20～24歳に多い）、ネット上で知り合った人となっている。加害者は異性が多いが、20～24歳では同性も増える（Xジェンダー・ノンバイナリーの方にとっての異性・同性は、身体的性別を指していると解釈できる点に留意が必要）（図表29、図表30）。

## A.加害者との関係

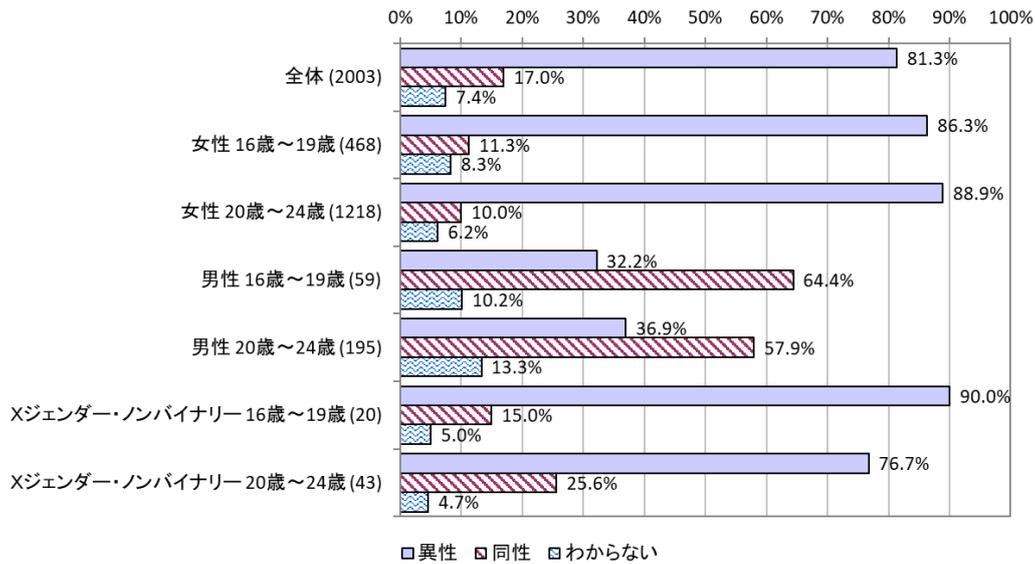
図表 29 性自認×年齢層別、加害者との関係

	全体	通っていた(いる)学校・大学の関係者(教職員、先輩、同級生、クラブ活動の指導者など)	地域活動や習いごとの関係者(指導者、先輩、仲間など)	職場、アルバイト先の関係者(上司、同僚、部下、取引先の相手など)	職場・アルバイト先の客	交際相手・元交際相手	配偶者、元配偶者、パートナー	親(育ての親、義理の親を除く)
全体	2003 (1.25)	720 (35.9%)	92 (4.6%)	220 (11.0%)	104 (5.2%)	167 (8.3%)	33 (1.6%)	50 (2.5%)
女性 16歳～19歳	468 (1.20)	181 (38.7%)	9 (1.9%)	22 (4.7%)	9 (1.9%)	39 (8.3%)	2 (0.4%)	13 (2.8%)
女性 20歳～24歳	1218 (1.28)	368 (30.2%)	53 (4.4%)	160 (13.1%)	84 (6.9%)	113 (9.3%)	23 (1.9%)	30 (2.5%)
男性 16歳～19歳	59 (1.19)	35 (59.3%)	6 (10.2%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)	3 (5.1%)	1 (1.7%)	0 (0.0%)
男性 20歳～24歳	195 (1.20)	104 (53.3%)	21 (10.8%)	24 (12.3%)	7 (3.6%)	9 (4.6%)	5 (2.6%)	6 (3.1%)
Xジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 (1.25)	11 (55.0%)	0 (0.0%)	2 (10.0%)	1 (5.0%)	1 (5.0%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)
Xジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 (1.35)	21 (48.8%)	3 (7.0%)	9 (20.9%)	3 (7.0%)	2 (4.7%)	2 (4.7%)	1 (2.3%)

	育ての親、 義理の親、 親の交際相手	兄弟姉妹	上記以外の 親族	生活してい た(いる)施設 の関係者(職 員、先輩、仲 間、里親な ど)	SNSなどイン ターネット上 で知り合った 人	芸能プロダ クションへの スカウトや高 収入バイト の勧誘など を名乗る人	その他	まったく知ら ない人
全体	44 ( 2.2%)	24 ( 1.2%)	33 ( 1.6%)	19 ( 0.9%)	281 ( 14.0%)	14 ( 0.7%)	47 ( 2.3%)	654 ( 32.7%)
女性 16歳～19歳	13 ( 2.8%)	7 ( 1.5%)	9 ( 1.9%)	2 ( 0.4%)	88 ( 18.8%)	1 ( 0.2%)	9 ( 1.9%)	158 ( 33.8%)
女性 20歳～24歳	26 ( 2.1%)	15 ( 1.2%)	22 ( 1.8%)	15 ( 1.2%)	162 ( 13.3%)	10 ( 0.8%)	32 ( 2.6%)	440 ( 36.1%)
男性 16歳～19歳	0 ( 1.7%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	7 ( 11.9%)	1 ( 1.7%)	1 ( 1.7%)	12 ( 20.3%)
男性 20歳～24歳	3 ( 1.5%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 1.0%)	16 ( 8.2%)	1 ( 0.5%)	2 ( 1.0%)	34 ( 17.4%)
Xジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	1 ( 5.0%)	1 ( 5.0%)	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 10.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 10.0%)	3 ( 15.0%)
Xジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	0 ( 0.0%)	1 ( 2.3%)	1 ( 2.3%)	0 ( 0.0%)	6 ( 14.0%)	1 ( 2.3%)	1 ( 2.3%)	7 ( 16.3%)

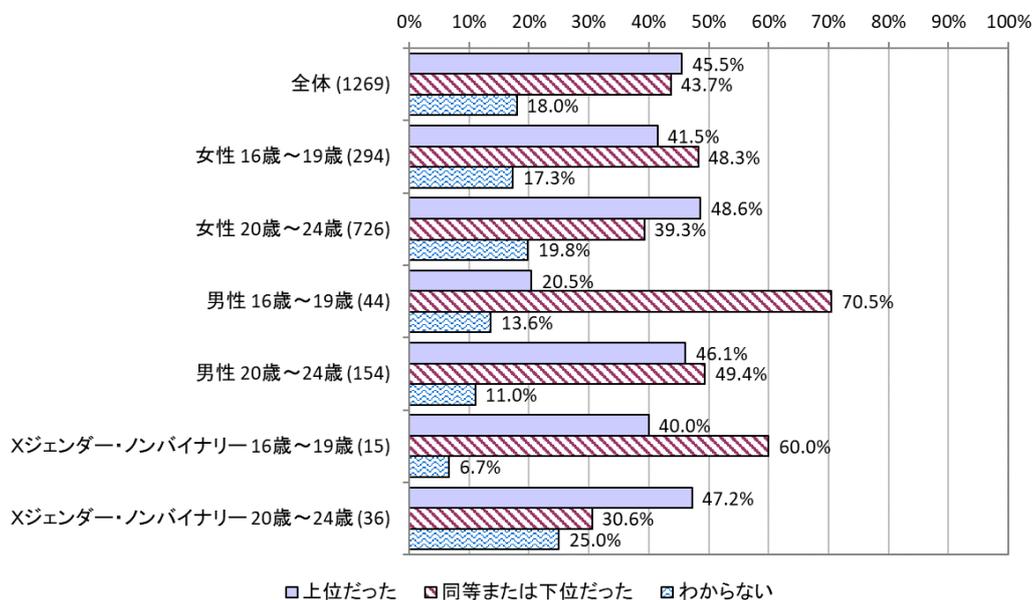
## B.加害者の性別

図表 30 性自認×年齢層別、加害者の性別



## C.加害者の社会的・職務上の地位等

図表 3 1 性自認×年齢層別、加害者の社会的・職務上の地位等



### ③【性自認・年齢層別の状況】性暴力被害の状況について

#### ○女性の性暴力被害者

被害場所として多いのは、学校、公共交通機関、ネット・SNS上（特に16～19歳に多い）、その他（アルバイト先、路上等）。1回限りの被害との回答が約6割。性暴力被害にあった際の状況としては、年齢層に関わらず、自分に行われていることがよくわからなかった、突然襲いかかられた、驚き・恐怖等で体が動かなかった、電車内で逃げられなかった等との回答が多い（図表32、図表33、図表34）。

#### ○男性の性暴力被害者

被害場所は学校に集中する傾向がみられる（特に16～19歳では6割弱と顕著）。16～19歳では1回限りの被害が7割弱と多いが、20～24歳では継続被害が増え、1回限りと継続被害の比率がおおよそ半々となっている。性暴力被害にあった際の状況としては、自分に行われていることがよくわからなかった（特に16～19歳に多い）、おどされた、身体的な暴力をふるわれた等との回答が多い（図表32、図表33、図表34）。

#### ○Xジェンダー・ノンバイナリーの性暴力被害者

被害場所は学校が最も多い。女性、男性と比して継続的な被害にあったとする比率が高い（16～19歳では現在も継続中も高い）。性暴力被害にあった際の状況としては、自分に行われていることがよくわからなかった（特に16～19歳に多い）、おどされた（特に20～24歳に多い）、突然襲いかかられた、相手から「何もしない」等とだまされた、相手との関係性から拒否できなかった等との回答が多くなっている（図表32、図表33、図表34）。

A.性暴力被害にあったときの状況

図表 3 2 性自認×年齢層別、性暴力被害にあったときの状況

	全体	相手から、身体的な暴力をふるわれた	相手から、おどされた	インターネットやSNSで相手から、おどされた(暴言、周囲に言いふらす、画像のばらまきなど)	相手から、「何もしない」「変なことはしない」「乱暴しない」などとだまされた	相手から、不意をつかれ、突然に襲いかかられた	相手が、複数人であった	飲酒により意識がなかった・もうろうとしていた	薬物などにより意識がなかった・もうろうとしていた(レイプドラッグ)	相手との関係性(相手との関係が壊れる、仕事への影響など)から拒否できなかった(セクシュアルハラメント)
全体	2003 ( 1.76)	213 ( 10.6%)	257 ( 12.8%)	219 ( 10.9%)	242 ( 12.1%)	366 ( 18.3%)	149 ( 7.4%)	80 ( 4.0%)	18 ( 0.9%)	227 ( 11.3%)
女性 16歳～19歳	468 ( 1.69)	35 ( 7.5%)	44 ( 9.4%)	54 ( 11.5%)	51 ( 10.9%)	80 ( 17.1%)	38 ( 8.1%)	6 ( 1.3%)	1 ( 0.2%)	50 ( 10.7%)
女性 20歳～24歳	1218 ( 1.82)	117 ( 9.6%)	136 ( 11.2%)	121 ( 9.9%)	159 ( 13.1%)	251 ( 20.6%)	70 ( 5.7%)	67 ( 5.5%)	15 ( 1.2%)	148 ( 12.2%)
男性 16歳～19歳	59 ( 1.63)	12 ( 20.3%)	12 ( 20.3%)	5 ( 8.5%)	6 ( 10.2%)	7 ( 11.9%)	8 ( 13.6%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	5 ( 8.5%)
男性 20歳～24歳	195 ( 1.51)	41 ( 21.0%)	49 ( 25.1%)	30 ( 15.4%)	14 ( 7.2%)	16 ( 8.2%)	27 ( 13.8%)	3 ( 1.5%)	1 ( 0.5%)	12 ( 6.2%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 ( 1.60)	2 ( 10.0%)	4 ( 20.0%)	3 ( 15.0%)	2 ( 10.0%)	2 ( 10.0%)	2 ( 10.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 10.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 ( 2.40)	6 ( 14.0%)	12 ( 27.9%)	6 ( 14.0%)	10 ( 23.3%)	10 ( 23.3%)	4 ( 9.3%)	4 ( 9.3%)	1 ( 2.3%)	10 ( 23.3%)

	驚きや混乱、恐怖などで体が動かなかった	相手をたたく、ひっかくなどによる身体的な抵抗をした	泣く、叫ぶ、相手に抗議するなどの言葉による抵抗をした	相手が、親切に相談に乗ってくれるなど優しくしてくれた	電車内で逃れられなかった(痴漢)	「モデル・アイドルになりませんか」と声をかけられ、その後、聞いていない・同意していない性的な行為や、行為中の写真・動画の撮影を要求され、拒否できなかった(AV出演強要)	アルバイトへの応募をしたところ、約束していない性的な行為を要求され、拒否できなかった(JKビジネス)	お金・お小遣いを援助してあげると言われた(パパ活・援助交際)	自分に行われていることがよくわからない状態だった	その他
全体	333 ( 16.6%)	74 ( 3.7%)	127 ( 6.3%)	105 ( 5.2%)	285 ( 14.2%)	11 ( 0.5%)	14 ( 0.7%)	70 ( 3.5%)	530 ( 26.5%)	215 ( 10.7%)
女性 16歳～19歳	83 ( 17.7%)	14 ( 3.0%)	24 ( 5.1%)	23 ( 4.9%)	70 ( 15.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 0.2%)	18 ( 3.8%)	126 ( 26.9%)	75 ( 16.0%)
女性 20歳～24歳	221 ( 18.1%)	48 ( 3.9%)	80 ( 6.6%)	68 ( 5.6%)	200 ( 16.4%)	9 ( 0.7%)	9 ( 0.7%)	48 ( 3.9%)	329 ( 27.0%)	121 ( 9.9%)
男性 16歳～19歳	6 ( 10.2%)	4 ( 6.8%)	5 ( 8.5%)	1 ( 1.7%)	4 ( 6.8%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.7%)	16 ( 27.1%)	4 ( 6.8%)
男性 20歳～24歳	12 ( 6.2%)	6 ( 3.1%)	14 ( 7.2%)	9 ( 4.6%)	5 ( 2.6%)	2 ( 1.0%)	2 ( 1.0%)	2 ( 1.0%)	36 ( 18.5%)	13 ( 6.7%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.0%)	2 ( 10.0%)	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	9 ( 45.0%)	1 ( 5.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	10 ( 23.3%)	2 ( 4.7%)	3 ( 7.0%)	2 ( 4.7%)	5 ( 11.6%)	0 ( 0.0%)	2 ( 4.7%)	1 ( 2.3%)	14 ( 32.6%)	1 ( 2.3%)

## B.被害にあった場所

図表 3 3 性自認×年齢層別、被害にあった場所

	全体	自宅	加害者の家	保育園・幼稚園	学校	塾	施設	会社	公園	トイレ
全体	2003 ( 1.25)	205 ( 10.2%)	174 ( 8.7%)	18 ( 0.9%)	447 ( 22.3%)	37 ( 1.8%)	96 ( 4.8%)	117 ( 5.8%)	65 ( 3.2%)	42 ( 2.1%)
女性 16歳～19歳	468 ( 1.21)	51 ( 10.9%)	31 ( 6.6%)	3 ( 0.6%)	106 ( 22.6%)	5 ( 1.1%)	15 ( 3.2%)	6 ( 1.3%)	16 ( 3.4%)	3 ( 0.6%)
女性 20歳～24歳	1218 ( 1.28)	131 ( 10.8%)	123 ( 10.1%)	9 ( 0.7%)	212 ( 17.4%)	20 ( 1.6%)	73 ( 6.0%)	94 ( 7.7%)	41 ( 3.4%)	25 ( 2.1%)
男性 16歳～19歳	59 ( 1.08)	1 ( 1.7%)	4 ( 6.8%)	0 ( 0.0%)	34 ( 57.6%)	0 ( 0.0%)	2 ( 3.4%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.7%)	1 ( 1.7%)
男性 20歳～24歳	195 ( 1.14)	15 ( 7.7%)	9 ( 4.6%)	4 ( 2.1%)	76 ( 39.0%)	10 ( 5.1%)	6 ( 3.1%)	14 ( 7.2%)	4 ( 2.1%)	6 ( 3.1%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 ( 1.10)	1 ( 5.0%)	4 ( 20.0%)	1 ( 5.0%)	7 ( 35.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.0%)	1 ( 5.0%)	3 ( 15.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 ( 1.44)	6 ( 14.0%)	3 ( 7.0%)	1 ( 2.3%)	12 ( 27.9%)	2 ( 4.7%)	0 ( 0.0%)	2 ( 4.7%)	2 ( 4.7%)	4 ( 9.3%)

	駐車場	カラオケルーム	ホテル	公共交通機関	加害者の車	インターネット 上・SNSアプリ 上	その他	わからない	答えたくない
全体	23 ( 1.1%)	54 ( 2.7%)	78 ( 3.9%)	338 ( 16.9%)	53 ( 2.6%)	242 ( 12.1%)	233 ( 11.6%)	84 ( 4.2%)	195 ( 9.7%)
女性 16歳～19歳	3 ( 0.6%)	14 ( 3.0%)	9 ( 1.9%)	81 ( 17.3%)	9 ( 1.9%)	97 ( 20.7%)	47 ( 10.0%)	22 ( 4.7%)	48 ( 10.3%)
女性 20歳～24歳	18 ( 1.5%)	34 ( 2.8%)	63 ( 5.2%)	236 ( 19.4%)	38 ( 3.1%)	124 ( 10.2%)	166 ( 13.6%)	46 ( 3.8%)	111 ( 9.1%)
男性 16歳～19歳	0 ( 0.0%)	2 ( 3.4%)	1 ( 1.7%)	3 ( 5.1%)	0 ( 0.0%)	5 ( 8.5%)	2 ( 3.4%)	3 ( 5.1%)	5 ( 8.5%)
男性 20歳～24歳	2 ( 1.0%)	4 ( 2.1%)	2 ( 1.0%)	11 ( 5.6%)	3 ( 1.5%)	11 ( 5.6%)	10 ( 5.1%)	11 ( 5.6%)	25 ( 12.8%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 10.0%)	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	3 ( 7.0%)	6 ( 14.0%)	3 ( 7.0%)	3 ( 7.0%)	7 ( 16.3%)	2 ( 4.7%)	6 ( 14.0%)

## C.被害の継続期間

図表 3 4 性自認×年齢層別、被害の継続期間

	全体	1回限り	1週間未満	1週間以上1 か月未満	1か月以上半 年未満	半年以上1年 未満	1年以上3年 未満	3年以上	現在も継続 中	その他
全体	2003 ( 100.0%)	1224 ( 61.1%)	147 ( 7.3%)	107 ( 5.3%)	121 ( 6.0%)	118 ( 5.9%)	99 ( 4.9%)	58 ( 2.9%)	102 ( 5.1%)	27 ( 1.3%)
女性 16歳～19歳	468 ( 100.0%)	295 ( 63.0%)	38 ( 8.1%)	26 ( 5.6%)	27 ( 5.8%)	20 ( 4.3%)	18 ( 3.8%)	13 ( 2.8%)	25 ( 5.3%)	6 ( 1.3%)
女性 20歳～24歳	1218 ( 100.0%)	761 ( 62.5%)	78 ( 6.4%)	57 ( 4.7%)	71 ( 5.8%)	73 ( 6.0%)	60 ( 4.9%)	37 ( 3.0%)	62 ( 5.1%)	19 ( 1.6%)
男性 16歳～19歳	59 ( 100.0%)	40 ( 67.8%)	2 ( 3.4%)	2 ( 3.4%)	3 ( 5.1%)	7 ( 11.9%)	2 ( 3.4%)	1 ( 1.7%)	2 ( 3.4%)	0 ( 0.0%)
男性 20歳～24歳	195 ( 100.0%)	97 ( 49.7%)	24 ( 12.3%)	18 ( 9.2%)	14 ( 7.2%)	12 ( 6.2%)	16 ( 8.2%)	6 ( 3.1%)	8 ( 4.1%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 ( 100.0%)	10 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	3 ( 15.0%)	2 ( 10.0%)	2 ( 10.0%)	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.0%)	1 ( 5.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 ( 100.0%)	21 ( 48.8%)	5 ( 11.6%)	1 ( 2.3%)	4 ( 9.3%)	4 ( 9.3%)	2 ( 4.7%)	1 ( 2.3%)	4 ( 9.3%)	1 ( 2.3%)

#### ④【性自認・年齢層別の状況】性暴力被害の相談状況について

##### ○女性の性暴力被害者

性暴力被害を相談できなかったとするケースは5割弱。相談に至ったケースにおいては、被害から3日以内の相談が7割弱。相談した人は友人・知人、家族・親戚の順に多く、最初に相談した人は、話を聞く、慰め・励ます等の行動をとっている。相談できなかった理由としては、恥ずかしくて言えなかった、相談するほどのことではない、相談してもむだ等が多い。20～24歳ではどこに相談してよいかわからなかったも多い（図表 35、図表 36、図表 37、図表 38、図表 39）。

##### ○男性の性暴力被害者

性暴力被害を相談できなかったとするケースは5割超と女性よりも多くなっている。20～24歳では被害から相談までにやや時間を要している状況もみられる。相談した人は家族・親戚、友人・知人に加え、学校の関係者も比較的多い。最初に相談した人は、話を聞く、相手に働きかける、助言等の行動をとっている。相談できなかった理由としては、恥ずかしくて言えなかった、相談してもむだ、相談するほどのことではない等が多い。また、16～19歳では被害かどうかわからなかった、20～24歳ではどこに相談してよいのかわからなかったも多くなっている（図表 35、図表 36、図表 37、図表 38、図表 39）。

##### ○Xジェンダー・ノンバイナリーの性暴力被害者

性暴力被害を相談できなかったとするケースは6割弱（16～19歳では6割に達する）。20～24歳では相談までにやや時間を要している。相談した人は家族・親戚、友人・知人が多く、最初に相談した人は、話を聞く、慰め・励ます、相手（加害者）に働きかける、助言等の行動をとっている。相談できなかった理由としては、恥ずかしくて言えなかった（特に16～19歳に多い）、どこに相談してよいのかわからなかった、自分さえがまんすればやっていける（特に16～19歳に多い）、相談してもむだ、誰にも知られたくなかったが多く、16～19歳では自分にも悪いところがある、20～24歳では被害を思い出したくなかったとの回答も多い（図表 35、図表 36、図表 37、図表 38、図表 39）。

A.性暴力被害の相談状況

図表 3 5 性自認×年齢層別、相談した人・機関

	全体	家族や親戚	友人・知人	学校関係者 (教員、養護 教諭、スケー ルカウンセ ラーなど)	職場・アルバ イトの関係者 (上司、同 僚、部下、取 引先など)	民間の専門 家や専門機 関(弁護士・ 弁護士会、カ ウンセラー・ カウンセリング 機関、民 間シェルター など)	医療関係者 (医師、看護 師など)	性犯罪・性暴 力被害者支 援の専門相 談窓口(いわ ゆるワンス トップ支援セ ンター)
全体	2003 ( 1.38)	547 ( 27.3%)	626 ( 31.3%)	225 ( 11.2%)	114 ( 5.7%)	44 ( 2.2%)	33 ( 1.6%)	22 ( 1.1%)
女性 16歳～19歳	468 ( 1.39)	128 ( 27.4%)	176 ( 37.6%)	59 ( 12.6%)	8 ( 1.7%)	6 ( 1.3%)	7 ( 1.5%)	5 ( 1.1%)
女性 20歳～24歳	1218 ( 1.39)	346 ( 28.4%)	388 ( 31.9%)	117 ( 9.6%)	90 ( 7.4%)	25 ( 2.1%)	19 ( 1.6%)	11 ( 0.9%)
男性 16歳～19歳	59 ( 1.46)	16 ( 27.1%)	10 ( 16.9%)	10 ( 16.9%)	3 ( 5.1%)	1 ( 1.7%)	1 ( 1.7%)	2 ( 3.4%)
男性 20歳～24歳	195 ( 1.33)	44 ( 22.6%)	39 ( 20.0%)	31 ( 15.9%)	11 ( 5.6%)	10 ( 5.1%)	6 ( 3.1%)	3 ( 1.5%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 ( 1.15)	5 ( 25.0%)	3 ( 15.0%)	2 ( 10.0%)	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 ( 1.33)	8 ( 18.6%)	10 ( 23.3%)	6 ( 14.0%)	1 ( 2.3%)	2 ( 4.7%)	0 ( 0.0%)	1 ( 2.3%)

	性暴力に関 するSNS相談 (Cure time)	被害者支援 センター	配偶者暴力 相談支援セ ンター(婦人 相談所など)、 男女共同参 画センター	法務局・地方 法務局、人権 擁護委員	警察	上記以外の 公的な機関 (市役所など)	その他	どこ(だれ)にも 相談しなかった
全体	18 ( 0.9%)	12 ( 0.6%)	9 ( 0.4%)	9 ( 0.4%)	113 ( 5.6%)	13 ( 0.6%)	32 ( 1.6%)	947 ( 47.3%)
女性 16歳～19歳	3 ( 0.6%)	4 ( 0.9%)	1 ( 0.2%)	3 ( 0.6%)	23 ( 4.9%)	2 ( 0.4%)	12 ( 2.6%)	214 ( 45.7%)
女性 20歳～24歳	11 ( 0.9%)	4 ( 0.3%)	6 ( 0.5%)	4 ( 0.3%)	78 ( 6.4%)	7 ( 0.6%)	16 ( 1.3%)	565 ( 46.4%)
男性 16歳～19歳	1 ( 1.7%)	2 ( 3.4%)	1 ( 1.7%)	1 ( 1.7%)	3 ( 5.1%)	1 ( 1.7%)	3 ( 5.1%)	31 ( 52.5%)
男性 20歳～24歳	1 ( 0.5%)	2 ( 1.0%)	1 ( 0.5%)	1 ( 0.5%)	7 ( 3.6%)	2 ( 1.0%)	0 ( 0.0%)	102 ( 52.3%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	12 ( 60.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	2 ( 4.7%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 4.7%)	1 ( 2.3%)	1 ( 2.3%)	23 ( 53.5%)

図表 36 性自認×年齢層別、最初に相談した人・機関

	全体	家族や親戚	友人・知人	学校関係者 (教員、養護 教諭、スケー ルカウンセ ラーなど)	職場・アルバ イトの関係者 (上司、同 僚、部下、取 引先など)	民間の専門 家や専門機 関(弁護士・ 弁護士会、カ ウンセラー・ カウンセリング 機関、民 間シェルター など)	医療関係者 (医師、看護 師など)	性犯罪・性暴 力被害者支 援の専門相 談窓口(いわ ゆるワンズ トップ支援セ ンター)
全体	2003 ( 100.0%)	375 ( 18.7%)	462 ( 23.1%)	75 ( 3.7%)	57 ( 2.8%)	11 ( 0.5%)	6 ( 0.3%)	4 ( 0.2%)
女性 16歳～19歳	468 ( 100.0%)	72 ( 15.4%)	141 ( 30.1%)	18 ( 3.8%)	3 ( 0.6%)	2 ( 0.4%)	2 ( 0.4%)	0 ( 0.0%)
女性 20歳～24歳	1218 ( 100.0%)	247 ( 20.3%)	275 ( 22.6%)	35 ( 2.9%)	45 ( 3.7%)	7 ( 0.6%)	3 ( 0.2%)	1 ( 0.1%)
男性 16歳～19歳	59 ( 100.0%)	13 ( 22.0%)	7 ( 11.9%)	3 ( 5.1%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 3.4%)
男性 20歳～24歳	195 ( 100.0%)	32 ( 16.4%)	29 ( 14.9%)	15 ( 7.7%)	7 ( 3.6%)	1 ( 0.5%)	1 ( 0.5%)	1 ( 0.5%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 ( 100.0%)	4 ( 20.0%)	2 ( 10.0%)	1 ( 5.0%)	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 ( 100.0%)	7 ( 16.3%)	8 ( 18.6%)	3 ( 7.0%)	1 ( 2.3%)	1 ( 2.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

	性暴力に関 するSNS相談 (Cure time)	被害者支援 センター	配偶者暴力 相談支援セ ンター(婦人 相談所など)、 男女共同参 画センター	法務局・地方 法務局、人権 擁護委員	警察	上記以外の 公的な機関 (市役所など)	その他	どこ(だれ)にも 相談しなかった
全体	4 ( 0.2%)	3 ( 0.1%)	2 ( 0.1%)	0 ( 0.0%)	29 ( 1.4%)	5 ( 0.2%)	23 ( 1.1%)	947 ( 47.3%)
女性 16歳～19歳	0 ( 0.0%)	2 ( 0.4%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	5 ( 1.1%)	0 ( 0.0%)	9 ( 1.9%)	214 ( 45.7%)
女性 20歳～24歳	3 ( 0.2%)	0 ( 0.0%)	2 ( 0.2%)	0 ( 0.0%)	20 ( 1.6%)	4 ( 0.3%)	11 ( 0.9%)	565 ( 46.4%)
男性 16歳～19歳	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	3 ( 5.1%)	31 ( 52.5%)
男性 20歳～24歳	1 ( 0.5%)	1 ( 0.5%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 2.1%)	1 ( 0.5%)	0 ( 0.0%)	102 ( 52.3%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	12 ( 60.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	23 ( 53.5%)

B.相談までに要した期間

図表 37 性自認×年齢層別、相談までに要した期間

	全体	その日のうち	翌日～3日	4日～1カ月 未満	1カ月～1年 未満	1年～5年未 満	5年～10年未 満	10年以上
全体	1056 ( 100.0%)	450 ( 42.6%)	248 ( 23.5%)	145 ( 13.7%)	125 ( 11.8%)	62 ( 5.9%)	15 ( 1.4%)	11 ( 1.0%)
女性 16歳～19歳	254 ( 100.0%)	112 ( 44.1%)	52 ( 20.5%)	33 ( 13.0%)	32 ( 12.6%)	19 ( 7.5%)	3 ( 1.2%)	3 ( 1.2%)
女性 20歳～24歳	653 ( 100.0%)	291 ( 44.6%)	154 ( 23.6%)	90 ( 13.8%)	67 ( 10.3%)	36 ( 5.5%)	10 ( 1.5%)	5 ( 0.8%)
男性 16歳～19歳	28 ( 100.0%)	13 ( 46.4%)	6 ( 21.4%)	5 ( 17.9%)	1 ( 3.6%)	1 ( 3.6%)	0 ( 0.0%)	2 ( 7.1%)
男性 20歳～24歳	93 ( 100.0%)	25 ( 26.9%)	32 ( 34.4%)	10 ( 10.8%)	21 ( 22.6%)	3 ( 3.2%)	2 ( 2.2%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	8 ( 100.0%)	4 ( 50.0%)	1 ( 12.5%)	1 ( 12.5%)	1 ( 12.5%)	1 ( 12.5%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	20 ( 100.0%)	5 ( 25.0%)	3 ( 15.0%)	6 ( 30.0%)	3 ( 15.0%)	2 ( 10.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.0%)

### C.最初に相談した相手がとった言動

図表 38 性自認×年齢層別、最初に相談した相手がとった言動

	全体	相手に働きかけてくれた	避難先や居場所を提供してくれた	一緒にいて、守ってくれた	取るべき行動を助言してくれた	あなたを慰めたり、励ましたくれた	話を聞いてくれた	わかってくれなかった	的外れな助言をされた	あなたを非難した	何もしてくれなかった	その他
全体	1056 ( 1.93)	182 ( 17.2%)	71 ( 6.7%)	273 ( 25.9%)	264 ( 25.0%)	412 ( 39.0%)	635 ( 60.1%)	40 ( 3.8%)	40 ( 3.8%)	29 ( 2.7%)	59 ( 5.6%)	33 ( 3.1%)
女性 16歳～19歳	254 ( 2.01)	33 ( 13.0%)	13 ( 5.1%)	66 ( 26.0%)	71 ( 28.0%)	113 ( 44.5%)	159 ( 62.6%)	13 ( 5.1%)	5 ( 2.0%)	8 ( 3.1%)	19 ( 7.5%)	11 ( 4.3%)
女性 20歳～24歳	653 ( 1.90)	102 ( 15.6%)	43 ( 6.6%)	166 ( 25.4%)	153 ( 23.4%)	254 ( 38.9%)	408 ( 62.5%)	22 ( 3.4%)	28 ( 4.3%)	18 ( 2.8%)	29 ( 4.4%)	19 ( 2.9%)
男性 16歳～19歳	28 ( 1.86)	9 ( 32.1%)	3 ( 10.7%)	6 ( 21.4%)	9 ( 32.1%)	9 ( 32.1%)	12 ( 42.9%)	0 ( 0.0%)	1 ( 3.6%)	0 ( 0.0%)	1 ( 3.6%)	2 ( 7.1%)
男性 20歳～24歳	93 ( 1.84)	33 ( 35.5%)	12 ( 12.9%)	29 ( 31.2%)	24 ( 25.8%)	19 ( 20.4%)	37 ( 39.8%)	3 ( 3.2%)	5 ( 5.4%)	1 ( 1.1%)	7 ( 7.5%)	1 ( 1.1%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	8 ( 2.88)	1 ( 12.5%)	0 ( 0.0%)	3 ( 37.5%)	4 ( 50.0%)	4 ( 50.0%)	6 ( 75.0%)	2 ( 25.0%)	1 ( 12.5%)	1 ( 12.5%)	1 ( 12.5%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	20 ( 1.95)	4 ( 20.0%)	0 ( 0.0%)	3 ( 15.0%)	3 ( 15.0%)	13 ( 65.0%)	13 ( 65.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.0%)	2 ( 10.0%)	0 ( 0.0%)

### D.相談しなかった理由

図表 39 性自認×年齢層別、相談しなかった理由

	全体	どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	相談してもむだと思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	相談相手の言動によって不快(ふかい)な思いをさせられると思ったから	自分さえがまんすれば、なんとかこのままとっていけると思ったから	自分にも悪いところがあると思ったから	そのことについて思い出しなかったから	仕返しを怖かったから(もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど)
全体	947 ( 2.38)	247 ( 26.1%)	341 ( 36.0%)	270 ( 28.5%)	307 ( 32.4%)	27 ( 2.9%)	118 ( 12.5%)	94 ( 9.9%)	131 ( 13.8%)	42 ( 4.4%)
女性 16歳～19歳	214 ( 2.56)	43 ( 20.1%)	86 ( 40.2%)	56 ( 26.2%)	88 ( 41.1%)	6 ( 2.8%)	26 ( 12.1%)	29 ( 13.6%)	24 ( 11.2%)	7 ( 3.3%)
女性 20歳～24歳	565 ( 2.39)	158 ( 28.0%)	198 ( 35.0%)	164 ( 29.0%)	181 ( 32.0%)	17 ( 3.0%)	69 ( 12.2%)	59 ( 10.4%)	87 ( 15.4%)	23 ( 4.1%)
男性 16歳～19歳	31 ( 1.97)	6 ( 19.4%)	11 ( 35.5%)	10 ( 32.3%)	10 ( 32.3%)	0 ( 0.0%)	4 ( 12.9%)	1 ( 3.2%)	0 ( 0.0%)	1 ( 3.2%)
男性 20歳～24歳	102 ( 1.96)	29 ( 28.4%)	31 ( 30.4%)	29 ( 28.4%)	24 ( 23.5%)	3 ( 2.9%)	9 ( 8.8%)	1 ( 1.0%)	12 ( 11.8%)	7 ( 6.9%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	12 ( 3.00)	4 ( 33.3%)	7 ( 58.3%)	2 ( 16.7%)	1 ( 8.3%)	0 ( 0.0%)	5 ( 41.7%)	3 ( 25.0%)	2 ( 16.7%)	2 ( 16.7%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	23 ( 2.57)	7 ( 30.4%)	8 ( 34.8%)	9 ( 39.1%)	3 ( 13.0%)	1 ( 4.3%)	5 ( 21.7%)	1 ( 4.3%)	6 ( 26.1%)	2 ( 8.7%)

	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	世間体(せけん)が悪いと思ったから	他人を巻き込んだから	他人に知られると、これまで通り(つき合い)の仕事や学校などの人間関係がでなくなると思ったから	相手の行為は愛情表現だと思ったから	相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかったから	誰にも知られなかったから、心配させなかったから	被害かどうかわからなかったから	低年齢であったため、相談するということが思い浮かばなかったから	その他
全体	12 ( 1.3%)	53 ( 5.6%)	65 ( 6.9%)	59 ( 6.2%)	19 ( 2.0%)	23 ( 2.4%)	144 ( 15.2%)	164 ( 17.3%)	119 ( 12.6%)	19 ( 2.0%)
女性 16歳～19歳	2 ( 0.9%)	19 ( 8.9%)	25 ( 11.7%)	21 ( 9.8%)	4 ( 1.9%)	4 ( 1.9%)	35 ( 16.4%)	35 ( 16.4%)	32 ( 15.0%)	6 ( 2.8%)
女性 20歳～24歳	8 ( 1.4%)	30 ( 5.3%)	29 ( 5.1%)	32 ( 5.7%)	14 ( 2.5%)	18 ( 3.2%)	89 ( 15.8%)	100 ( 17.7%)	65 ( 11.5%)	9 ( 1.6%)
男性 16歳～19歳	0 ( 0.0%)	1 ( 3.2%)	1 ( 3.2%)	1 ( 3.2%)	1 ( 3.2%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	7 ( 22.6%)	6 ( 19.4%)	1 ( 3.2%)
男性 20歳～24歳	1 ( 1.0%)	1 ( 1.0%)	7 ( 6.9%)	2 ( 2.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.0%)	11 ( 10.8%)	16 ( 15.7%)	14 ( 13.7%)	2 ( 2.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)	2 ( 16.7%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 33.3%)	2 ( 16.7%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	0 ( 0.0%)	1 ( 4.3%)	1 ( 4.3%)	3 ( 13.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	5 ( 21.7%)	4 ( 17.4%)	2 ( 8.7%)	1 ( 4.3%)

## ⑤【性自認・年齢層別の状況】性暴力被害を受けた直後から現在までの生活の変化について

### ○女性の性暴力被害者

性暴力被害による生活の変化は特にないと回答が3割強。生活の変化がみられた回答者では、自分に自信がなくなった、眠れなくなった（特に20～24歳に多い）、異性と会うのが怖くなった、誰のことも信じられなくなった等が多くなっている。性暴力被害からもとどおり回復したとの回答は約4割となっている（図表40、図表41）。

### ○男性の性暴力被害者

性暴力被害による生活の変化は特にないと回答は約4割。生活の変化がみられた回答者では、自分に自信がなくなった、眠れなくなった（特に20～24歳に多い）、誰のことも信じられなくなった、人づきあいがうまくいかなかった等が多い。性暴力被害からもとどおり回復したとの回答は4割弱（20～24歳では3割強とやや少ない）となっている（図表40、図表41）。

### ○Xジェンダー・ノンバイナリーの性暴力被害者

性暴力被害による生活の変化は特にないと回答は約3割。生活の変化がみられた回答者では、誰のことも信じられなくなった（特に、20～24歳に多い）、異性と会うのが怖くなった（特に、16～19歳に多い）、人づきあいがうまくいかなかった、外出するのが怖くなった（特に、16～19歳に多い）、夜眠れなくなった（特に、16～19歳に多い）が多い。また、他の性自認・年齢層と比して、Xジェンダー・ノンバイナリーの16～19歳では活動的ではなくなった、神経過敏、20～24歳では精神疾患と診断された、神経過敏等の比率も高めとなっている。性暴力被害からもとどおり回復したとの回答は約1割にとどまっておき、女性、男性と比べて回復状況が芳しくない（図表40、図表41）。

## A.性暴力被害による生活の変化

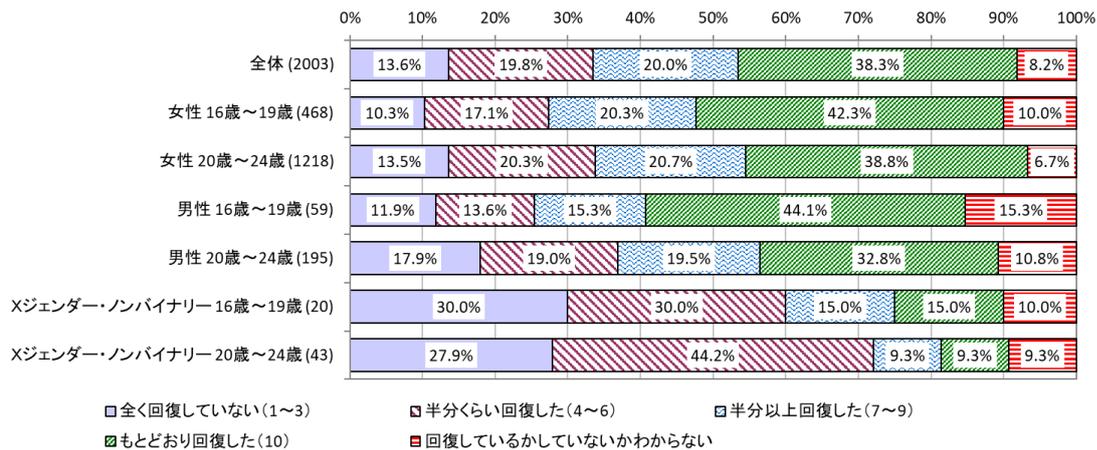
図表 40 性自認×年齢層別、性暴力被害による生活の変化

	全体	夜、眠れなくなった	心身に不調をきたした	医療機関を受診し、精神疾患と診断された	自分に自信がなくなった	誰のことも信じられなくなった	外出するのが怖くなった	異性と会うのが怖くなった	人づきあいがうまくいかなかった	転居/引越した、別居した	携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた
全体	2003 (2.04)	379 (18.9%)	114 (5.7%)	71 (3.5%)	427 (21.3%)	334 (16.7%)	282 (14.1%)	356 (17.8%)	220 (11.0%)	37 (1.8%)	130 (6.5%)
女性 16歳～19歳	468 (1.90)	57 (12.2%)	21 (4.5%)	7 (1.5%)	112 (23.9%)	70 (15.0%)	52 (11.1%)	78 (16.7%)	45 (9.6%)	5 (1.1%)	36 (7.7%)
女性 20歳～24歳	1218 (2.07)	247 (20.3%)	80 (6.6%)	46 (3.8%)	240 (19.7%)	197 (16.2%)	187 (15.4%)	240 (19.7%)	121 (9.9%)	25 (2.1%)	83 (6.8%)
男性 16歳～19歳	59 (1.76)	6 (10.2%)	3 (5.1%)	2 (3.4%)	12 (20.3%)	9 (15.3%)	7 (11.9%)	3 (5.1%)	7 (11.9%)	1 (1.7%)	2 (3.4%)
男性 20歳～24歳	195 (1.84)	53 (27.2%)	3 (1.5%)	9 (4.6%)	47 (24.1%)	34 (17.4%)	19 (9.7%)	16 (8.2%)	29 (14.9%)	5 (2.6%)	4 (2.1%)
Xジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 (3.55)	7 (35.0%)	1 (5.0%)	1 (5.0%)	6 (30.0%)	6 (30.0%)	7 (35.0%)	7 (35.0%)	5 (25.0%)	0 (0.0%)	1 (5.0%)
Xジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 (3.33)	9 (20.9%)	6 (14.0%)	6 (14.0%)	10 (23.3%)	18 (41.9%)	10 (23.3%)	12 (27.9%)	13 (30.2%)	1 (2.3%)	4 (9.3%)

	仕事(アルバイト)をしばらく休んだ・やめた・変えた	学校・大学をしばらく休んだ・やめた・変えた	生きてるのが嫌になった・死にたくなった	加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる	生活全般にわたって活動的でなくなった、趣味、学業や仕事への関心が低くなった	神経過敏になり、少しの刺激に過敏に反応してしまったり、イライラ・そわそわしやすくなった	飲酒量・薬物量が増えた	性行動が活発になった	その他	特になし
全体	93 (4.6%)	102 (5.1%)	225 (11.2%)	201 (10.0%)	80 (4.0%)	186 (9.3%)	34 (1.7%)	75 (3.7%)	78 (3.9%)	671 (33.5%)
女性 16歳～19歳	11 (2.4%)	27 (5.8%)	52 (11.1%)	44 (9.4%)	16 (3.4%)	34 (7.3%)	2 (0.4%)	15 (3.2%)	22 (4.7%)	185 (39.5%)
女性 20歳～24歳	71 (5.8%)	56 (4.6%)	133 (10.9%)	131 (10.8%)	48 (3.9%)	121 (9.9%)	26 (2.1%)	47 (3.9%)	54 (4.4%)	374 (30.7%)
男性 16歳～19歳	2 (3.4%)	4 (6.8%)	4 (6.8%)	4 (6.8%)	4 (6.8%)	5 (8.5%)	1 (1.7%)	3 (5.1%)	0 (0.0%)	25 (42.4%)
男性 20歳～24歳	6 (3.1%)	9 (4.6%)	21 (10.8%)	13 (6.7%)	4 (2.1%)	13 (6.7%)	0 (0.0%)	5 (2.6%)	0 (0.0%)	69 (35.4%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	1 (5.0%)	3 (15.0%)	5 (25.0%)	3 (15.0%)	3 (15.0%)	4 (20.0%)	2 (10.0%)	1 (5.0%)	2 (10.0%)	6 (30.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	2 (4.7%)	3 (7.0%)	10 (23.3%)	6 (14.0%)	5 (11.6%)	9 (20.9%)	3 (7.0%)	4 (9.3%)	0 (0.0%)	12 (27.9%)

## B.性暴力被害からの回復状況

図表 4 1 性自認×年齢層別、性暴力被害からの回復状況



⑥【性自認・年齢層別の状況】性暴力被害後に必要な支援等について

A.必要な手助け・支援

図表 4 2 性自認×年齢層別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2003 ( 1.83)	729 ( 36.4%)	326 ( 16.3%)	146 ( 7.3%)	153 ( 7.6%)	175 ( 8.7%)	49 ( 2.4%)	41 ( 2.0%)	23 ( 1.1%)
女性 16歳～19歳	466 ( 1.86)	175 ( 37.4%)	63 ( 13.5%)	27 ( 5.8%)	30 ( 6.4%)	34 ( 7.3%)	11 ( 2.4%)	10 ( 2.1%)	9 ( 1.9%)
女性 20歳～24歳	1218 ( 1.86)	465 ( 38.2%)	223 ( 18.3%)	90 ( 7.4%)	93 ( 7.6%)	116 ( 9.5%)	28 ( 2.3%)	20 ( 1.6%)	10 ( 0.8%)
男性 16歳～19歳	59 ( 1.63)	17 ( 28.8%)	9 ( 15.3%)	3 ( 5.1%)	4 ( 6.8%)	8 ( 13.6%)	1 ( 1.7%)	2 ( 3.4%)	2 ( 3.4%)
男性 20歳～24歳	195 ( 1.52)	54 ( 27.7%)	22 ( 11.3%)	20 ( 10.3%)	21 ( 10.8%)	13 ( 6.7%)	7 ( 3.6%)	6 ( 3.1%)	2 ( 1.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 ( 2.00)	5 ( 25.0%)	4 ( 20.0%)	4 ( 20.0%)	2 ( 10.0%)	1 ( 5.0%)	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 ( 2.02)	13 ( 30.2%)	5 ( 11.6%)	2 ( 4.7%)	3 ( 7.0%)	3 ( 7.0%)	1 ( 2.3%)	3 ( 7.0%)	0 ( 0.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておくこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	42 ( 2.1%)	75 ( 3.7%)	522 ( 26.1%)	280 ( 14.0%)	343 ( 17.1%)	9 ( 0.4%)	374 ( 18.7%)	373 ( 18.6%)
女性 16歳～19歳	8 ( 1.7%)	29 ( 6.2%)	125 ( 26.7%)	72 ( 15.4%)	91 ( 19.4%)	0 ( 0.0%)	123 ( 26.3%)	63 ( 13.5%)
女性 20歳～24歳	26 ( 2.1%)	40 ( 3.3%)	337 ( 27.7%)	173 ( 14.2%)	219 ( 18.0%)	7 ( 0.6%)	183 ( 15.0%)	240 ( 19.7%)
男性 16歳～19歳	2 ( 3.4%)	2 ( 3.4%)	8 ( 13.6%)	4 ( 6.8%)	5 ( 8.5%)	1 ( 1.7%)	20 ( 33.9%)	8 ( 13.6%)
男性 20歳～24歳	2 ( 1.0%)	1 ( 0.5%)	31 ( 15.9%)	17 ( 8.7%)	17 ( 8.7%)	1 ( 0.5%)	39 ( 20.0%)	44 ( 22.6%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	2 ( 10.0%)	1 ( 5.0%)	7 ( 35.0%)	2 ( 10.0%)	2 ( 10.0%)	0 ( 0.0%)	5 ( 25.0%)	4 ( 20.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	2 ( 4.7%)	2 ( 4.7%)	14 ( 32.6%)	12 ( 27.9%)	9 ( 20.9%)	0 ( 0.0%)	4 ( 9.3%)	14 ( 32.6%)

図表 4 3 性自認×年齢層別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士との紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2003 ( 1.45)	406 ( 20.3%)	178 ( 8.9%)	90 ( 4.5%)	97 ( 4.8%)	88 ( 4.4%)	34 ( 1.7%)	39 ( 1.9%)	25 ( 1.2%)
女性 16歳～19歳	468 ( 1.53)	96 ( 20.5%)	37 ( 7.9%)	18 ( 3.8%)	25 ( 5.3%)	23 ( 4.9%)	9 ( 1.9%)	9 ( 1.9%)	7 ( 1.5%)
女性 20歳～24歳	1218 ( 1.44)	251 ( 20.6%)	119 ( 9.8%)	53 ( 4.4%)	56 ( 4.6%)	54 ( 4.4%)	20 ( 1.6%)	20 ( 1.6%)	16 ( 1.3%)
男性 16歳～19歳	59 ( 1.47)	11 ( 18.6%)	5 ( 8.5%)	2 ( 3.4%)	5 ( 8.5%)	4 ( 6.8%)	0 ( 0.0%)	2 ( 3.4%)	2 ( 3.4%)
男性 20歳～24歳	195 ( 1.21)	37 ( 19.0%)	11 ( 5.6%)	15 ( 7.7%)	9 ( 4.6%)	6 ( 3.1%)	3 ( 1.5%)	4 ( 2.1%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 ( 1.40)	4 ( 20.0%)	2 ( 10.0%)	1 ( 5.0%)	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 ( 1.67)	7 ( 16.3%)	4 ( 9.3%)	1 ( 2.3%)	1 ( 2.3%)	1 ( 2.3%)	2 ( 4.7%)	4 ( 9.3%)	0 ( 0.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	35 ( 1.7%)	56 ( 2.8%)	366 ( 18.3%)	192 ( 9.6%)	282 ( 14.1%)	6 ( 0.3%)	610 ( 30.5%)	393 ( 19.6%)
女性 16歳～19歳	7 ( 1.5%)	20 ( 4.3%)	91 ( 19.4%)	49 ( 10.5%)	79 ( 16.9%)	0 ( 0.0%)	177 ( 37.8%)	69 ( 14.7%)
女性 20歳～24歳	23 ( 1.9%)	31 ( 2.5%)	235 ( 19.3%)	119 ( 9.8%)	169 ( 13.9%)	6 ( 0.5%)	339 ( 27.8%)	247 ( 20.3%)
男性 16歳～19歳	0 ( 0.0%)	3 ( 5.1%)	9 ( 15.3%)	3 ( 5.1%)	8 ( 13.6%)	0 ( 0.0%)	24 ( 40.7%)	9 ( 15.3%)
男性 20歳～24歳	3 ( 1.5%)	1 ( 0.5%)	15 ( 7.7%)	11 ( 5.6%)	16 ( 8.2%)	0 ( 0.0%)	56 ( 28.7%)	49 ( 25.1%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	5 ( 25.0%)	2 ( 10.0%)	1 ( 5.0%)	0 ( 0.0%)	6 ( 30.0%)	6 ( 30.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	2 ( 4.7%)	1 ( 2.3%)	11 ( 25.6%)	8 ( 18.6%)	9 ( 20.9%)	0 ( 0.0%)	8 ( 18.6%)	13 ( 30.2%)

B.性暴力のない社会にするために必要な取組

図表 4 4 性自認×年齢層別、性暴力のない社会にするために必要な取組

	全体	性犯罪・性暴力に関する刑法を改正して、加害者を罪に問えるようにしたり、罪を重くする	パトロールを行うなどの防犯体制の強化	警察の取り締まりの強化	加害者の行動を追跡できるようにGPSをつけるなど、再犯防止対策を強化すること	社会全体に性犯罪・性暴力について広く知ってもらうこと	性暴力の加害者・被害者・傍観者にならないための教育・人権教育の推進	加害者に再犯防止プログラムを受けさせること	その他
全体	2003 ( 2.76)	1192 ( 59.5%)	569 ( 28.4%)	617 ( 30.8%)	600 ( 30.0%)	953 ( 47.6%)	873 ( 43.6%)	655 ( 32.7%)	68 ( 3.4%)
女性 16歳～19歳	468 ( 2.99)	289 ( 61.8%)	140 ( 29.9%)	151 ( 32.3%)	140 ( 29.9%)	268 ( 57.3%)	226 ( 48.3%)	166 ( 35.5%)	19 ( 4.1%)
女性 20歳～24歳	1218 ( 2.77)	749 ( 61.5%)	345 ( 28.3%)	379 ( 31.1%)	383 ( 31.4%)	567 ( 46.6%)	525 ( 43.1%)	395 ( 32.4%)	34 ( 2.8%)
男性 16歳～19歳	59 ( 2.58)	29 ( 49.2%)	18 ( 30.5%)	22 ( 37.3%)	16 ( 27.1%)	22 ( 37.3%)	22 ( 37.3%)	20 ( 33.9%)	3 ( 5.1%)
男性 20歳～24歳	195 ( 2.24)	91 ( 46.7%)	52 ( 26.7%)	51 ( 26.2%)	43 ( 22.1%)	71 ( 36.4%)	67 ( 34.4%)	53 ( 27.2%)	8 ( 4.1%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 ( 2.50)	12 ( 60.0%)	6 ( 30.0%)	5 ( 25.0%)	0 ( 0.0%)	8 ( 40.0%)	12 ( 60.0%)	6 ( 30.0%)	1 ( 5.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 ( 2.63)	22 ( 51.2%)	8 ( 18.6%)	9 ( 20.9%)	18 ( 41.9%)	17 ( 39.5%)	21 ( 48.8%)	15 ( 34.9%)	3 ( 7.0%)

### C.性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組

図表 4 5 性自認×年齢層別、性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組

	全体	相談窓口を 周知すること	24時間・365 日相談でき るようにする こと	性犯罪・性暴 力被害者の ためのワン ストップ支援 センターの数 を増やすこと	電話以外に もSNSで相 談できるなど 多様な相談 方法がある こと	性犯罪・性暴 力の支援を 出来る支援 員を増やすこ と	相談者が希 望する性別 の相談員に 相談できるこ と	カウンセラー や性暴力に 関わる医療 従事者の数 を増やすこと
全体	2008 ( 3.87)	785 ( 39.2%)	934 ( 46.6%)	410 ( 20.5%)	914 ( 45.6%)	408 ( 20.4%)	586 ( 29.3%)	437 ( 21.8%)
女性 16歳～19歳	468 ( 4.23)	204 ( 43.6%)	230 ( 49.1%)	95 ( 20.3%)	250 ( 53.4%)	104 ( 22.2%)	138 ( 29.5%)	112 ( 23.9%)
女性 20歳～24歳	1218 ( 3.90)	467 ( 38.3%)	574 ( 47.1%)	252 ( 20.7%)	566 ( 46.5%)	246 ( 20.2%)	373 ( 30.6%)	264 ( 21.7%)
男性 16歳～19歳	59 ( 3.15)	21 ( 35.6%)	22 ( 37.3%)	13 ( 22.0%)	18 ( 30.5%)	11 ( 18.6%)	13 ( 22.0%)	11 ( 18.6%)
男性 20歳～24歳	195 ( 2.97)	77 ( 39.5%)	78 ( 40.0%)	36 ( 18.5%)	52 ( 26.7%)	32 ( 16.4%)	44 ( 22.6%)	38 ( 19.5%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	20 ( 4.10)	7 ( 35.0%)	12 ( 60.0%)	4 ( 20.0%)	11 ( 55.0%)	4 ( 20.0%)	6 ( 30.0%)	3 ( 15.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	43 ( 3.70)	9 ( 20.9%)	18 ( 41.9%)	10 ( 23.3%)	17 ( 39.5%)	11 ( 25.6%)	12 ( 27.9%)	9 ( 20.9%)

	相談先で被 害者を責めたり しないよう 徹底すること	支援が無料 で受けられる ようにするこ と	児童・生徒に 関わる教育 関係者の性 暴力防止に 関する研修を 充実すること	学校や職場 などで相談を 受ける体制を 強化すること	早期から性 の安全に関 する教育(性 暴力の加害 者・被害者・ 傍観者にな らないための教 育)を行うこと	その他	特にない
全体	583 ( 29.1%)	847 ( 42.3%)	404 ( 20.2%)	567 ( 28.3%)	666 ( 33.3%)	18 ( 0.9%)	183 ( 9.1%)
女性 16歳～19歳	149 ( 31.8%)	230 ( 49.1%)	105 ( 22.4%)	149 ( 31.8%)	181 ( 38.7%)	3 ( 0.6%)	29 ( 6.2%)
女性 20歳～24歳	363 ( 29.8%)	523 ( 42.9%)	252 ( 20.7%)	348 ( 28.6%)	410 ( 33.7%)	10 ( 0.8%)	108 ( 8.9%)
男性 16歳～19歳	13 ( 22.0%)	18 ( 30.5%)	7 ( 11.9%)	16 ( 27.1%)	12 ( 20.3%)	2 ( 3.4%)	9 ( 15.3%)
男性 20歳～24歳	37 ( 19.0%)	49 ( 25.1%)	29 ( 14.9%)	39 ( 20.0%)	39 ( 20.0%)	3 ( 1.5%)	27 ( 13.8%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 16歳～19歳	6 ( 30.0%)	9 ( 45.0%)	6 ( 30.0%)	5 ( 25.0%)	7 ( 35.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 10.0%)
×ジェンダー・ノンバイナリー 20歳～24歳	15 ( 34.9%)	18 ( 41.9%)	5 ( 11.6%)	10 ( 23.3%)	17 ( 39.5%)	0 ( 0.0%)	8 ( 18.6%)

### (3) その他の分析-加害者別の状況

加害者を下表のように「親密圏 (298 人)」、「顔見知り圏 (1,029 人)」、「見知らぬ人圏 (922 人)」の 3 つに区分し、加害者区分別に、被害の特徴を分析した。

図表 4 6 加害者の 3 区分

分類	加害者
親密圏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 交際相手・元交際相手</li> <li>・ 配偶者・元配偶者・パートナー・元パートナー</li> <li>・ 親（育ての親、義理の親を除く）</li> <li>・ 育ての親・義理の親・親の交際相手</li> <li>・ 兄弟姉妹</li> <li>・ 上記以外の親族</li> </ul>
顔見知り圏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 通っていた（いる）学校・大学の関係者（教職員、先輩、同級生、クラブ活動の指導者など）</li> <li>・ 地域活動や習いごとの関係者（指導者、先輩、仲間など）</li> <li>・ 職場、アルバイト先の関係者（上司、同僚、部下、取引先の相手など）</li> <li>・ 職場・アルバイト先の客</li> <li>・ 生活していた（いる）施設の関係者（職員、先輩、仲間、里親など）</li> </ul>
見知らぬ人圏	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ SNS 等インターネット上で知り合った人</li> <li>・ 芸能プロダクションへのスカウトや高収入バイトの勧誘などを名乗る人</li> <li>・ まったく知らない人</li> </ul>

#### ○親密圏の加害者による性暴力被害

性交を伴う性暴力被害において顕著に多く、被害が継続することが多い。男性に対する加害はやや少ない。他の加害者区分と比して、被害者が相談までに長い期間を要する傾向がみられる（図表 4 7、図表 4 8、図表 5 0、図表 5 1）。

#### ○顔見知り圏の加害者による性暴力被害

言葉による性暴力被害で顕著に多く、性交を伴う性暴力被害、身体接触を伴う性暴力被害等でも多くみられる。被害が継続することが多い。男性や X ジェンダー・ノンバイナリーにおける被害では多くみられる。被害の翌日から 1 年以内に相談に至っているケースが比較的多い（図表 4 7、図表 4 8、図表 5 0、図表 5 1）。

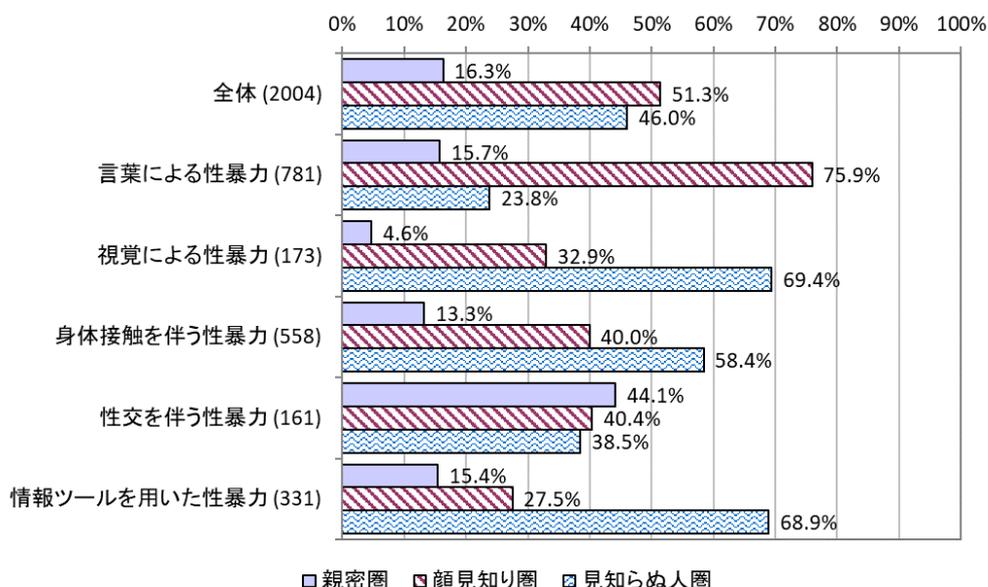
#### ○見知らぬ人圏の加害者による性暴力被害

視覚による性暴力被害、情報ツールを用いた性暴力被害で顕著に多く、身体接触を伴う性暴力被害でも多くなっている。女性に対する被害で多くみられる。1 回限りの被害の比率が多いが、現在継続中も比較的多い。被害を受けたその日のうち等比較的短期間に相談につながるケースが多い（比較的短期間に相談につながりやすい視覚による性暴力被害、身体接触を伴う性暴力被害が多いことが背景にあると考えられる）（図表 4 7、図表 4 8、図表 5 0、図表 5 1）。

①【加害者別の状況】回答者属性

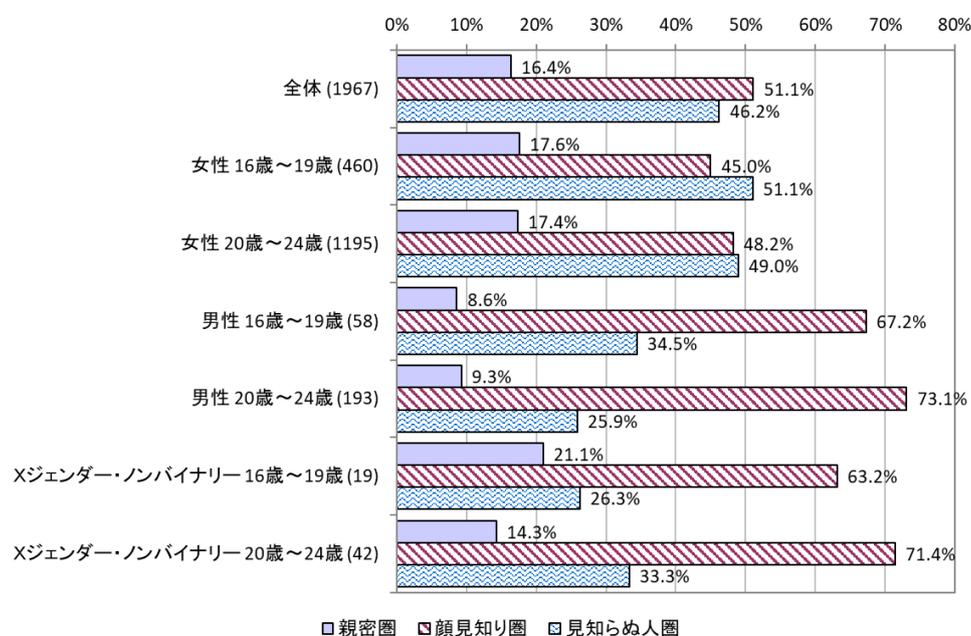
A.性暴力被害の分類

図表 4 7 加害者区分別、性暴力被害の分類



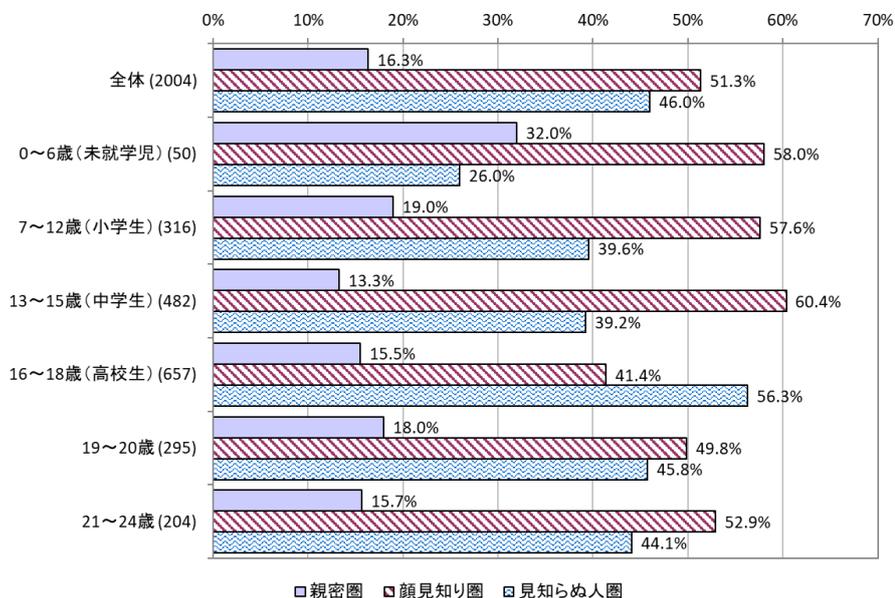
B.性自認×年齢層

図表 4 8 加害者区分別、性自認×年齢層



## C.性暴力被害にあったときの年齢

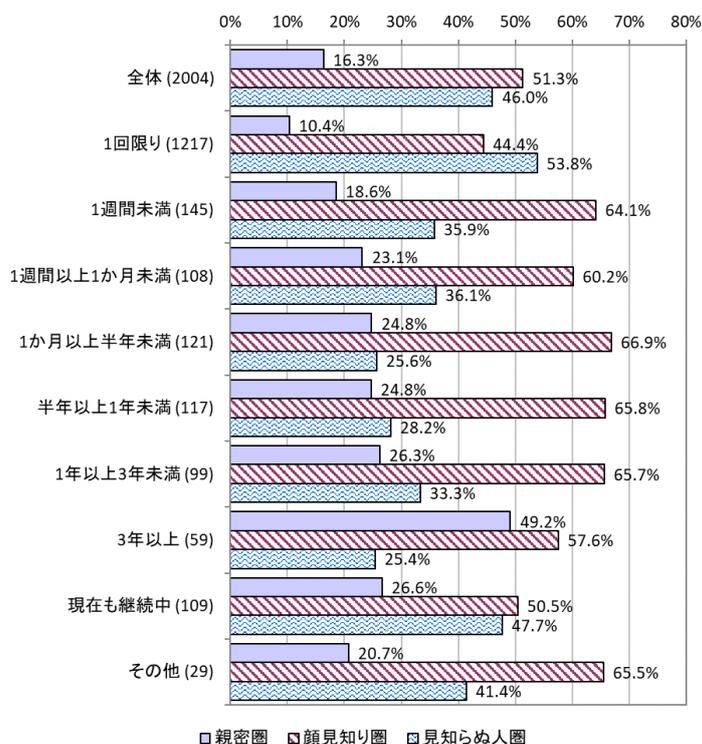
図表 49 加害者区分別、性暴力被害にあったときの年齢



## ②【加害者別の状況】性暴力被害の状況について

### A.被害の継続期間

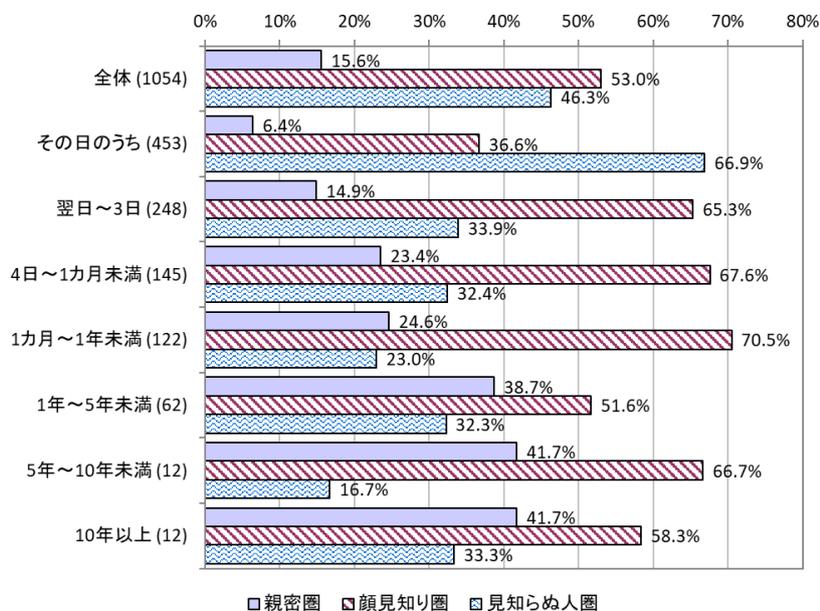
図表 50 加害者区分別、被害の継続期間



### ③【加害者別の状況】性暴力被害の相談状況について

#### A.相談までに要した期間

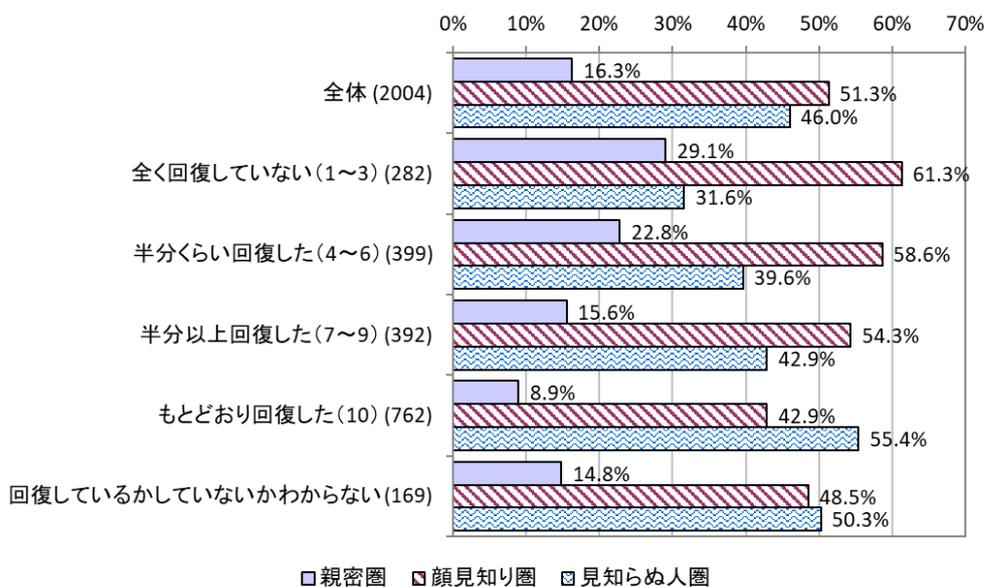
図表 5 1 加害者区分別、相談までに要した期間



### ④【加害者別の状況】性暴力被害を受けた直後から現在までの生活の変化について

#### A.性暴力被害からの回復状況

図表 5 2 加害者区分別、性暴力被害からの回復状況



#### **(4)その他の分析-低年齢のときに受けた被害の状況**

性暴力被害の低年齢化が指摘される中、本アンケートにおいても、幼少時に性暴力被害を受けたとの回答者が多くみられている。本項では、特に低年齢のときに受けた性暴力被害(0～15歳までに受けた被害)に注目しつつ、性暴力被害を受けた年齢別に、性暴力被害の状況、生活の変化、回復状況等の特徴を分析した。

##### **○0～6歳(未就学児)のときに受けた性暴力被害**

最も深刻な性暴力被害を0～6歳の間に受けたとする回答者52人の回答結果に基づく。

加害者に顔見知り圏を含む性暴力被害が6割弱、親密圏、見知らぬ人圏を含む性暴力被害がそれぞれ3割弱となっている。被害が継続したとの回答は5割と顕著に多い。

性暴力被害による生活の変化がないとの回答は3割弱で、他の年齢層と比してやや少ない。生活の変化がみられた方の訴えは多岐に及び、眠れなくなった、自信がなくなった、誰のことも信じられなくなった、人づきあいがうまくいかなかった、神経過敏になったが多い。また、他の年齢層と比較すると、精神疾患と診断された、活動的でなくなった、学校を休んだ・やめた・変えた、生きているのが嫌になった、被害を受けた時の感覚がよみがえる等も多くなっている。性暴力被害からもとどおり回復したとの回答は3割弱にとどまり、全く回復していないとの回答も2割超と多くみられている(図表54、図表59、図表65、図表66)。

##### **○7～12歳(小学生)及び13～15歳(中学生)のときに受けた性暴力被害**

最も深刻な性暴力被害を7～12歳(小学生)の間に受けたとする回答者321人、13～15歳(中学生)の間に受けたとする回答者490人の回答結果に基づく。7～12歳と13～15歳の時に受けた性暴力被害についての回答傾向は類似しており、合わせて記載する。

言葉による性暴力被害が最も多く、7～12歳では5割強、13～15歳では5割弱となっている。次いで身体接触を伴う性暴力被害(7～12歳、13～15歳ともに2割強)となっている。

加害者に顔見知り圏を含む性暴力被害が6割弱、見知らぬ人圏を含む性暴力被害がそれぞれ4割弱となっている。性暴力被害が継続したとの回答は約4割。

性暴力被害による生活の変化がないとの回答は4割弱で、他の年齢層と比してやや多い。生活の変化がみられた方の訴えは、自信がなくなったが最も多く、誰のことも信じられなくなった、夜眠れなくなった、人づきあいがうまくいかなかった等が続いている。一方で、性暴力被害からもとどおり回復したとの回答も4割超と多くなっている(図表54、図表59、図表65、図表66)。

①【低年齢のときに受けた被害の状況】回答者属性

A.性自認×年齢層

図表 5 3 性暴力被害にあったときの年齢層別、性自認×年齢層

	全体	女性 16歳～ 19歳	女性 20歳～ 24歳	男性 16歳～ 19歳	男性 20歳～ 24歳	×ジェンダー ノンバイナ リー 16歳～ 19歳	×ジェンダー ノンバイナ リー 20歳～ 24歳
全体	2003 ( 100.0%)	468 ( 23.4%)	1218 ( 60.8%)	59 ( 2.9%)	195 ( 9.7%)	20 ( 1.0%)	43 ( 2.1%)
0～6歳(未就学児)	48 ( 100.0%)	10 ( 20.8%)	28 ( 58.3%)	3 ( 6.3%)	3 ( 6.3%)	2 ( 4.2%)	2 ( 4.2%)
7～12歳(小学生)	314 ( 100.0%)	87 ( 27.7%)	163 ( 51.9%)	19 ( 6.1%)	41 ( 13.1%)	1 ( 0.3%)	3 ( 1.0%)
13～15歳(中学生)	480 ( 100.0%)	165 ( 34.4%)	228 ( 47.5%)	18 ( 3.8%)	49 ( 10.2%)	10 ( 2.1%)	10 ( 2.1%)
16～18歳(高校生)	656 ( 100.0%)	193 ( 29.4%)	373 ( 56.9%)	17 ( 2.6%)	53 ( 8.1%)	7 ( 1.1%)	13 ( 2.0%)
19～20歳	300 ( 100.0%)	13 ( 4.3%)	249 ( 83.0%)	2 ( 0.7%)	29 ( 9.7%)	0 ( 0.0%)	7 ( 2.3%)
21～24歳	205 ( 100.0%)	0 ( 0.0%)	177 ( 86.3%)	0 ( 0.0%)	20 ( 9.8%)	0 ( 0.0%)	8 ( 3.9%)

②【低年齢のときに受けた被害の状況】加害者について

A.加害者との関係

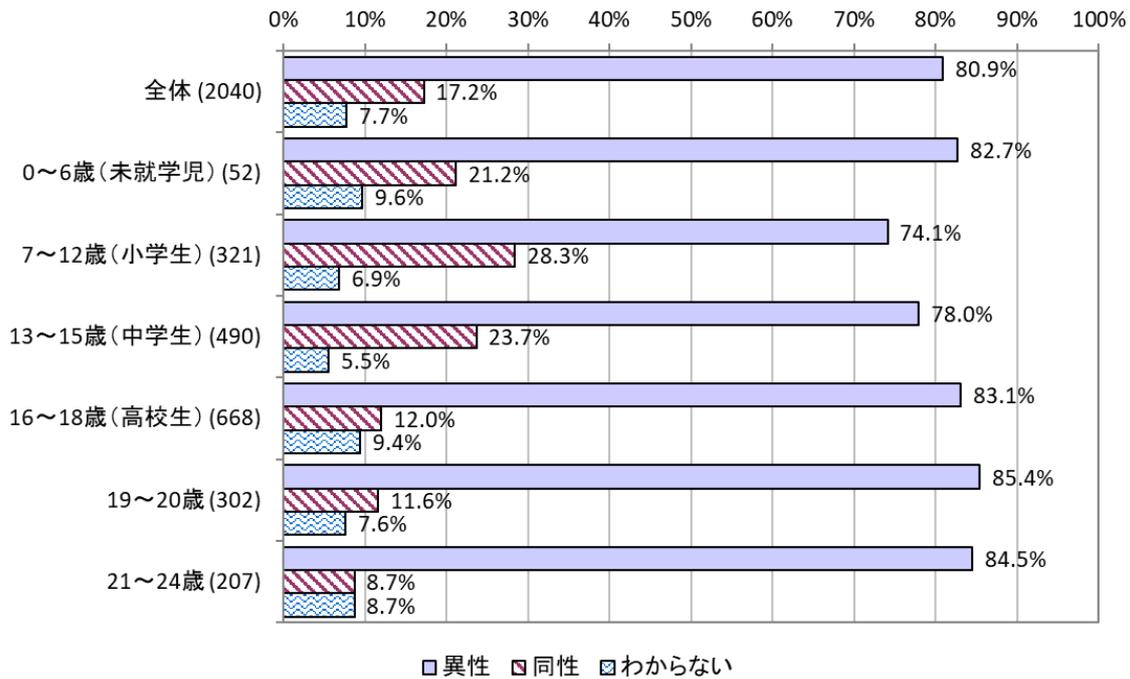
図表 5 4 性暴力被害にあったときの年齢層別、加害者との関係

	全体	通っていた (いる)学校・ 大学の関係 者(教職員、 先輩、同級 生、クラブ活 動の指導者 など)	地域活動や 習いごとの 関係者(指導 者、先輩、仲 間など)	職場、アル バイト先の 関係者(上 司、同僚、部 下、取引先 の相手など)	職場・アルバ イト先の客	交際相手・ 元交際相手	配偶者、元 配偶者、 パートナー、 元パート ナー	親(育ての 親、義理の 親を除く)
全体	2040 ( 1.25)	735 ( 36.0%)	98 ( 4.8%)	224 ( 11.0%)	107 ( 5.2%)	169 ( 8.3%)	35 ( 1.7%)	51 ( 2.5%)
0～6歳(未就学児)	52 ( 1.27)	22 ( 42.3%)	6 ( 11.5%)	3 ( 5.8%)	2 ( 3.8%)	1 ( 1.9%)	1 ( 1.9%)	6 ( 11.5%)
7～12歳(小学生)	321 ( 1.26)	164 ( 51.1%)	13 ( 4.0%)	16 ( 5.0%)	6 ( 1.9%)	11 ( 3.4%)	1 ( 0.3%)	15 ( 4.7%)
13～15歳(中学生)	490 ( 1.24)	261 ( 53.3%)	23 ( 4.7%)	23 ( 4.7%)	11 ( 2.2%)	31 ( 6.3%)	4 ( 0.8%)	15 ( 3.1%)
16～18歳(高校生)	668 ( 1.23)	197 ( 29.5%)	23 ( 3.4%)	64 ( 9.6%)	27 ( 4.0%)	66 ( 9.9%)	15 ( 2.2%)	5 ( 0.7%)
19～20歳	302 ( 1.30)	65 ( 21.5%)	19 ( 6.3%)	60 ( 19.9%)	36 ( 11.9%)	39 ( 12.9%)	6 ( 2.0%)	4 ( 1.3%)
21～24歳	207 ( 1.28)	26 ( 12.6%)	14 ( 6.8%)	58 ( 28.0%)	25 ( 12.1%)	21 ( 10.1%)	8 ( 3.9%)	6 ( 2.9%)

	育ての親、 義理の親、 親の交際相手	兄弟姉妹	上記以外の 親族	生活してい た(いる)施設 の関係者(職 員、先輩、仲 間、里親な ど)	SNSなどイン ターネット上 で知り合った 人	芸能プロダ クションへの スカウトや高 収入バイト の勧誘など を名乗る人	その他	まったく知ら ない人
全体	45 ( 2.2%)	27 ( 1.3%)	33 ( 1.6%)	22 ( 1.1%)	285 ( 14.0%)	16 ( 0.8%)	47 ( 2.3%)	662 ( 32.5%)
0～6歳(未就学児)	3 ( 5.9%)	4 ( 7.7%)	2 ( 3.8%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.9%)	1 ( 1.9%)	3 ( 5.8%)	11 ( 21.2%)
7～12歳(小学生)	18 ( 5.6%)	8 ( 2.5%)	14 ( 4.4%)	5 ( 1.6%)	26 ( 8.1%)	3 ( 0.9%)	6 ( 1.9%)	100 ( 31.2%)
13～15歳(中学生)	10 ( 2.0%)	6 ( 1.2%)	7 ( 1.4%)	7 ( 1.4%)	61 ( 12.4%)	1 ( 0.2%)	9 ( 1.8%)	139 ( 28.4%)
16～18歳(高校生)	8 ( 1.2%)	7 ( 1.0%)	6 ( 0.9%)	3 ( 0.4%)	114 ( 17.1%)	6 ( 0.9%)	16 ( 2.4%)	263 ( 39.4%)
19～20歳	4 ( 1.3%)	2 ( 0.7%)	3 ( 1.0%)	4 ( 1.3%)	52 ( 17.2%)	5 ( 1.7%)	9 ( 3.0%)	84 ( 27.8%)
21～24歳	2 ( 1.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 0.5%)	3 ( 1.4%)	31 ( 15.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 1.9%)	65 ( 31.4%)

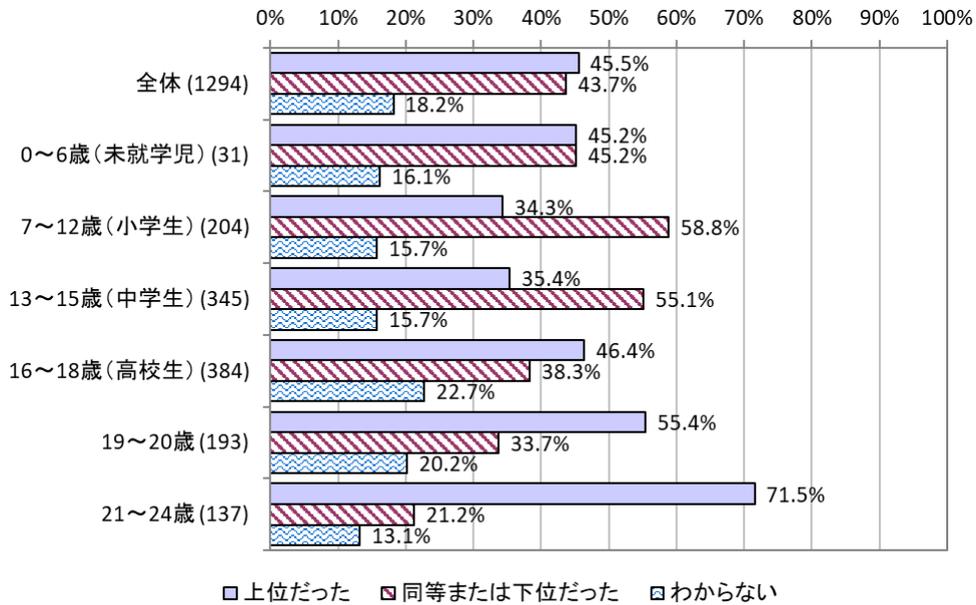
## B.加害者の性別

図表 55 性暴力被害にあったときの年齢層別、加害者の性別



### C.加害者の社会的・職務上の地位等

図表 56 性暴力被害にあったときの年齢層別、加害者の社会的・職務上の地位等



### ③【低年齢のときに受けた被害の状況】性暴力被害の状況について

#### A.性暴力被害にあったときの状況

図表 57 性暴力被害にあったときの年齢層別、性暴力被害にあったときの状況

	全体	相手から、身体的な暴力をふるわれた	相手から、おどされた	インターネットやSNSで相手から、おどされた(暴言、周囲に言いふらす、画像のばらまきなど)	相手から、「何もしない」「変なことはない」「乱暴しない」などだまされた	相手から、不意をつかれ、突然に襲いかかられた	相手が、複数人であった	飲酒により意識がなかった・もうろうとしていた	薬物などにより意識がなかった・もうろうとしていた(レイプドラッグ)	相手との関係性(相手との関係が壊れる、仕事への影響など)から拒否できなかった(セクシュアルハラスメント)
全体	2040 (1.78)	220 (10.8%)	268 (13.1%)	223 (10.9%)	246 (12.1%)	375 (18.4%)	153 (7.5%)	81 (4.0%)	19 (0.9%)	233 (11.4%)
0～6歳(未就学児)	52 (2.40)	10 (19.2%)	8 (15.4%)	6 (11.5%)	9 (17.3%)	15 (28.8%)	9 (17.3%)	3 (5.8%)	2 (3.8%)	8 (15.4%)
7～12歳(小学生)	321 (1.81)	47 (14.6%)	55 (17.1%)	27 (8.4%)	20 (6.2%)	55 (17.1%)	44 (13.7%)	4 (1.2%)	0 (0.0%)	20 (6.2%)
13～15歳(中学生)	490 (1.69)	47 (9.6%)	54 (11.0%)	50 (10.2%)	50 (10.2%)	94 (19.2%)	49 (10.0%)	9 (1.8%)	4 (0.8%)	48 (9.8%)
16～18歳(高校生)	668 (1.82)	70 (10.5%)	90 (13.5%)	86 (12.9%)	88 (13.2%)	116 (17.4%)	32 (4.8%)	26 (3.9%)	10 (1.5%)	80 (12.0%)
19～20歳	302 (1.80)	22 (7.3%)	40 (13.2%)	39 (12.9%)	52 (17.2%)	55 (18.2%)	14 (4.6%)	29 (9.6%)	2 (0.7%)	40 (13.2%)
21～24歳	207 (1.58)	24 (11.6%)	21 (10.1%)	15 (7.2%)	27 (13.0%)	40 (19.3%)	5 (2.4%)	10 (4.8%)	1 (0.5%)	37 (17.9%)

	驚きや混乱、恐怖などで体が動かなかった	相手をたたく、ひっかくなどによる身体的な抵抗をした	泣く、叫ぶ、相手に抗議するなどの言葉による抵抗をした	相手が、親切に相談に乗ってくれるなど優しくしてくれた	電車内で逃がれられなかった(痴漢)	「モデル・アイドルになりませんか」と声をかけられ、その後、聞いていない・同意していない・性的な行為や、行為中の写真・動画の撮影を要求され、拒否できなかった(AV出演強要)	アルバイトへの応募をしたところ、約束していない性的な行為を要求され、拒否できなかった(JKビジネス)	お金・お小遣いを援助してあげると言われた(パパ活・援助交際)	自分に行われていることがよくわからない状態だった	その他
全体	342 ( 16.8%)	80 ( 3.9%)	133 ( 6.5%)	107 ( 5.2%)	289 ( 14.2%)	12 ( 0.6%)	16 ( 0.8%)	71 ( 3.5%)	539 ( 26.4%)	219 ( 10.7%)
0～6歳(未就学児)	8 ( 15.4%)	4 ( 7.7%)	5 ( 9.6%)	3 ( 5.8%)	2 ( 3.8%)	1 ( 1.9%)	2 ( 3.8%)	2 ( 3.8%)	25 ( 48.1%)	3 ( 5.8%)
7～12歳(小学生)	64 ( 19.9%)	17 ( 5.3%)	20 ( 6.2%)	12 ( 3.7%)	43 ( 13.4%)	0 ( 0.0%)	2 ( 0.6%)	5 ( 1.6%)	105 ( 32.7%)	41 ( 12.8%)
13～15歳(中学生)	82 ( 16.7%)	15 ( 3.1%)	25 ( 5.1%)	23 ( 4.7%)	72 ( 14.7%)	2 ( 0.4%)	4 ( 0.8%)	10 ( 2.0%)	129 ( 26.3%)	63 ( 12.9%)
16～18歳(高校生)	111 ( 16.6%)	28 ( 4.2%)	53 ( 7.9%)	39 ( 5.8%)	117 ( 17.5%)	3 ( 0.4%)	1 ( 0.1%)	36 ( 5.4%)	165 ( 24.7%)	67 ( 10.0%)
19～20歳	51 ( 16.9%)	14 ( 4.6%)	17 ( 5.6%)	19 ( 6.3%)	35 ( 11.6%)	4 ( 1.3%)	5 ( 1.7%)	11 ( 3.6%)	70 ( 23.2%)	26 ( 8.6%)
21～24歳	26 ( 12.6%)	2 ( 1.0%)	13 ( 6.3%)	11 ( 5.3%)	20 ( 9.7%)	2 ( 1.0%)	2 ( 1.0%)	7 ( 3.4%)	45 ( 21.7%)	19 ( 9.2%)

## B.被害にあった場所

図表 58 性暴力被害にあったときの年齢層別、被害にあった場所

	全体	自宅	加害者の家	保育園・幼稚園	学校	塾	施設	会社	公園	トイレ
全体	2040 ( 1.26)	210 ( 10.3%)	178 ( 8.7%)	20 ( 1.0%)	458 ( 22.5%)	39 ( 1.9%)	100 ( 4.9%)	121 ( 5.9%)	68 ( 3.3%)	46 ( 2.3%)
0～6歳(未就学児)	52 ( 1.27)	13 ( 25.0%)	4 ( 7.7%)	6 ( 11.5%)	12 ( 23.1%)	1 ( 1.9%)	3 ( 5.8%)	1 ( 1.9%)	6 ( 11.5%)	0 ( 0.0%)
7～12歳(小学生)	321 ( 1.30)	43 ( 13.4%)	13 ( 4.0%)	4 ( 1.2%)	137 ( 42.7%)	10 ( 3.1%)	14 ( 4.4%)	9 ( 2.8%)	12 ( 3.7%)	9 ( 2.8%)
13～15歳(中学生)	490 ( 1.24)	47 ( 9.6%)	35 ( 7.1%)	3 ( 0.6%)	184 ( 37.6%)	8 ( 1.6%)	21 ( 4.3%)	8 ( 1.6%)	13 ( 2.7%)	7 ( 1.4%)
16～18歳(高校生)	668 ( 1.25)	60 ( 9.0%)	71 ( 10.6%)	2 ( 0.3%)	86 ( 12.9%)	13 ( 1.9%)	28 ( 4.2%)	30 ( 4.5%)	26 ( 3.9%)	20 ( 3.0%)
19～20歳	302 ( 1.30)	34 ( 11.3%)	36 ( 11.9%)	2 ( 0.7%)	26 ( 8.6%)	5 ( 1.7%)	18 ( 6.0%)	36 ( 11.9%)	10 ( 3.3%)	7 ( 2.3%)
21～24歳	207 ( 1.19)	13 ( 6.3%)	19 ( 9.2%)	3 ( 1.4%)	13 ( 6.3%)	2 ( 1.0%)	16 ( 7.7%)	37 ( 17.9%)	1 ( 0.5%)	3 ( 1.4%)

	駐車場	カラオケルーム	ホテル	公共交通機関	加害者の車	インターネット・SNSアプリ上	その他	わからない	答えたくない
全体	25 ( 1.2%)	58 ( 2.8%)	79 ( 3.9%)	342 ( 16.8%)	55 ( 2.7%)	243 ( 11.9%)	236 ( 11.6%)	86 ( 4.2%)	202 ( 9.9%)
0～6歳(未就学児)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.9%)	1 ( 1.9%)	2 ( 3.8%)	3 ( 5.8%)	0 ( 0.0%)	3 ( 5.8%)	1 ( 1.9%)	9 ( 17.3%)
7～12歳(小学生)	2 ( 0.6%)	6 ( 1.9%)	6 ( 1.9%)	40 ( 12.5%)	4 ( 1.2%)	21 ( 6.5%)	43 ( 13.4%)	17 ( 5.3%)	27 ( 8.4%)
13～15歳(中学生)	4 ( 0.8%)	10 ( 2.0%)	6 ( 1.2%)	73 ( 14.9%)	7 ( 1.4%)	60 ( 12.2%)	50 ( 10.2%)	22 ( 4.5%)	49 ( 10.0%)
16～18歳(高校生)	8 ( 1.2%)	28 ( 4.2%)	34 ( 5.1%)	146 ( 21.9%)	20 ( 3.0%)	108 ( 16.2%)	77 ( 11.5%)	23 ( 3.4%)	57 ( 8.5%)
19～20歳	7 ( 2.3%)	9 ( 3.0%)	19 ( 6.3%)	53 ( 17.5%)	14 ( 4.6%)	38 ( 12.6%)	36 ( 11.9%)	13 ( 4.3%)	30 ( 9.9%)
21～24歳	4 ( 1.9%)	4 ( 1.9%)	13 ( 6.3%)	28 ( 13.5%)	7 ( 3.4%)	16 ( 7.7%)	27 ( 13.0%)	10 ( 4.8%)	30 ( 14.5%)

## C.被害の継続期間

図表 59 性暴力被害にあったときの年齢層別、被害の継続期間

	全体	1回限り	1週間未満	1週間以上1か月未満	1か月以上半年未満	半年以上1年未満	1年以上3年未満	3年以上	現在も継続中	その他
全体	2040 ( 100.0%)	1241 ( 60.8%)	151 ( 7.4%)	108 ( 5.3%)	122 ( 6.0%)	120 ( 5.9%)	99 ( 4.9%)	61 ( 3.0%)	109 ( 5.3%)	29 ( 1.4%)
0～6歳(未就学児)	52 ( 100.0%)	25 ( 48.1%)	2 ( 3.8%)	2 ( 3.8%)	2 ( 3.8%)	3 ( 5.8%)	1 ( 1.9%)	9 ( 17.3%)	6 ( 11.5%)	2 ( 3.8%)
7～12歳(小学生)	321 ( 100.0%)	187 ( 58.3%)	20 ( 6.2%)	16 ( 5.0%)	16 ( 5.0%)	14 ( 4.4%)	18 ( 5.6%)	21 ( 6.5%)	19 ( 5.9%)	10 ( 3.1%)
13～15歳(中学生)	490 ( 100.0%)	306 ( 62.4%)	39 ( 8.0%)	23 ( 4.7%)	32 ( 6.5%)	29 ( 5.9%)	26 ( 5.3%)	11 ( 2.2%)	21 ( 4.3%)	3 ( 0.6%)
16～18歳(高校生)	668 ( 100.0%)	412 ( 61.7%)	51 ( 7.6%)	42 ( 6.3%)	39 ( 5.8%)	44 ( 6.6%)	28 ( 4.2%)	11 ( 1.6%)	33 ( 4.9%)	8 ( 1.2%)
19～20歳	302 ( 100.0%)	189 ( 62.6%)	20 ( 6.6%)	19 ( 6.3%)	22 ( 7.3%)	14 ( 4.6%)	20 ( 6.6%)	4 ( 1.3%)	13 ( 4.3%)	1 ( 0.3%)
21～24歳	207 ( 100.0%)	122 ( 58.9%)	19 ( 9.2%)	6 ( 2.9%)	11 ( 5.3%)	16 ( 7.7%)	6 ( 2.9%)	5 ( 2.4%)	17 ( 8.2%)	5 ( 2.4%)

④【低年齢のときに受けた被害の状況】性暴力被害の相談状況について

A.性暴力被害の相談状況

図表 60 性暴力被害にあったときの年齢層別、相談した人・機関

	全体	家族や親戚	友人・知人	学校関係者 (教員、養護 教諭、スクー ルカウンセ ラーなど)	職場・アルバ イトの関係者 (上司、同 僚、部下、取 引先など)	民間の専門 家や専門機 関(弁護士・ 弁護士会、カ ウンセラー・ カウンセリ ング機関、民 間シェルター など)	医療関係者 (医師、看護 師など)	性犯罪・性暴 力被害者支 援の専門相 談窓口(いわ ゆるワンス トップ支援セ ンター)
全体	2040 ( 1.39)	559 ( 27.4%)	637 ( 31.2%)	231 ( 11.3%)	115 ( 5.6%)	46 ( 2.3%)	34 ( 1.7%)	24 ( 1.2%)
0～6歳(未就学児)	52 ( 1.25)	23 ( 44.2%)	7 ( 13.5%)	4 ( 7.7%)	1 ( 1.9%)	2 ( 3.8%)	1 ( 1.9%)	0 ( 0.0%)
7～12歳(小学生)	321 ( 1.39)	100 ( 31.2%)	63 ( 19.6%)	54 ( 16.8%)	6 ( 1.9%)	8 ( 2.5%)	3 ( 0.9%)	4 ( 1.2%)
13～15歳(中学生)	490 ( 1.34)	130 ( 26.5%)	132 ( 26.9%)	66 ( 13.5%)	8 ( 1.6%)	9 ( 1.8%)	8 ( 1.6%)	2 ( 0.4%)
16～18歳(高校生)	668 ( 1.40)	178 ( 26.6%)	245 ( 36.7%)	69 ( 10.3%)	29 ( 4.3%)	11 ( 1.6%)	10 ( 1.5%)	10 ( 1.5%)
19～20歳	302 ( 1.43)	73 ( 24.2%)	110 ( 36.4%)	18 ( 6.0%)	31 ( 10.3%)	9 ( 3.0%)	8 ( 2.6%)	7 ( 2.3%)
21～24歳	207 ( 1.43)	55 ( 26.6%)	80 ( 38.6%)	20 ( 9.7%)	40 ( 19.3%)	7 ( 3.4%)	4 ( 1.9%)	1 ( 0.5%)

	性暴力に関 するSNS相談 (Cure time)	被害者支援 センター	配偶者暴力 相談支援セ ンター(婦人 相談所など) 男女共同参 画センター	法務局・地方 法務局、人権 擁護委員	警察	上記以外の 公的な機関 (市役所など)	その他	どこ(だれ)に も相談しな かった
全体	19 ( 0.9%)	14 ( 0.7%)	10 ( 0.5%)	11 ( 0.5%)	115 ( 5.6%)	15 ( 0.7%)	34 ( 1.7%)	964 ( 47.3%)
言葉による性暴力	7 ( 0.9%)	2 ( 0.3%)	2 ( 0.3%)	3 ( 0.4%)	19 ( 2.4%)	2 ( 0.3%)	5 ( 0.6%)	413 ( 52.2%)
視覚による性暴力	3 ( 1.7%)	2 ( 1.2%)	2 ( 1.2%)	2 ( 1.2%)	22 ( 12.7%)	3 ( 1.7%)	0 ( 0.0%)	67 ( 38.7%)
身体接触を伴う性暴力	2 ( 0.3%)	4 ( 0.7%)	2 ( 0.3%)	3 ( 0.5%)	52 ( 9.0%)	6 ( 1.0%)	15 ( 2.6%)	211 ( 36.6%)
性交を伴う性暴力	2 ( 1.2%)	4 ( 2.4%)	2 ( 1.2%)	2 ( 1.2%)	13 ( 7.8%)	3 ( 1.8%)	6 ( 3.6%)	87 ( 52.1%)
情報ツールを用いた性暴力	5 ( 1.5%)	2 ( 0.6%)	2 ( 0.6%)	1 ( 0.3%)	9 ( 2.7%)	1 ( 0.3%)	8 ( 2.4%)	186 ( 55.9%)

図表 6 1 性暴力被害にあったときの年齢層別、最初に相談した人・機関

	全体	家族や親戚	友人・知人	学校関係者 (教員、養護 教諭、スкуль カウンセラ ーなど)	職場・アルパ バの関係者 (上司、同 僚、部下、取 引先など)	民間の専門 家や専門機 関(弁護士・ 弁護士会、カ ウンセラー・ カウンセリング 機関、民間 シェルター など)	医療関係者 (医師、看護 師など)	性犯罪・性暴 力被害者支 援の専門相 談窓口(いわ ゆるワンステ ップ支援セ ンター)
全体	2040 ( 100.0%)	386 ( 18.9%)	469 ( 23.0%)	75 ( 3.7%)	57 ( 2.8%)	11 ( 0.5%)	6 ( 0.3%)	4 ( 0.2%)
0~6歳(未就学児)	52 ( 100.0%)	19 ( 36.5%)	4 ( 7.7%)	2 ( 3.8%)	0 ( 0.0%)	2 ( 3.8%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
7~12歳(小学生)	321 ( 100.0%)	77 ( 24.0%)	39 ( 12.1%)	17 ( 5.3%)	3 ( 0.9%)	1 ( 0.3%)	1 ( 0.3%)	0 ( 0.0%)
13~15歳(中学生)	490 ( 100.0%)	87 ( 17.8%)	102 ( 20.8%)	22 ( 4.5%)	3 ( 0.6%)	2 ( 0.4%)	2 ( 0.4%)	1 ( 0.2%)
16~18歳(高校生)	668 ( 100.0%)	114 ( 17.1%)	189 ( 28.3%)	21 ( 3.1%)	14 ( 2.1%)	4 ( 0.6%)	2 ( 0.3%)	2 ( 0.3%)
19~20歳	302 ( 100.0%)	49 ( 16.2%)	81 ( 26.8%)	5 ( 1.7%)	15 ( 5.0%)	1 ( 0.3%)	1 ( 0.3%)	1 ( 0.3%)
21~24歳	207 ( 100.0%)	40 ( 19.3%)	54 ( 26.1%)	8 ( 3.9%)	22 ( 10.6%)	1 ( 0.5%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

	性暴力に関 するSNS相談 (Cure time)	被害者支援 センター	配偶者暴力 相談支援セ ンター(婦人 相談所など)、 男女共同参 画センター	法務局・地方 法務局、人権 擁護委員	警察	上記以外の 公的な機関 (市役所など)	その他	どこ(だれ)にも 相談しなかった
全体	4 ( 0.2%)	3 ( 0.1%)	2 ( 0.1%)	0 ( 0.0%)	29 ( 1.4%)	5 ( 0.2%)	25 ( 1.2%)	964 ( 47.3%)
0~6歳(未就学児)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.9%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 3.8%)	22 ( 42.3%)
7~12歳(小学生)	1 ( 0.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 1.2%)	1 ( 0.3%)	6 ( 1.9%)	171 ( 53.3%)
13~15歳(中学生)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	5 ( 1.0%)	1 ( 0.2%)	4 ( 0.8%)	261 ( 53.3%)
16~18歳(高校生)	2 ( 0.3%)	2 ( 0.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	9 ( 1.3%)	1 ( 0.1%)	10 ( 1.5%)	298 ( 44.6%)
19~20歳	1 ( 0.3%)	0 ( 0.0%)	2 ( 0.7%)	0 ( 0.0%)	8 ( 2.6%)	1 ( 0.3%)	0 ( 0.0%)	137 ( 45.4%)
21~24歳	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	3 ( 1.4%)	1 ( 0.5%)	3 ( 1.4%)	75 ( 36.2%)

B.相談までに要した期間

図表 6 2 性暴力被害にあったときの年齢層別、相談までに要した期間

	全体	その日のうち	翌日~3日	4日~1か月 未満	1か月~1年 未満	1年~5年未 満	5年~10年未 満	10年以上
全体	1076 ( 100.0%)	460 ( 42.8%)	250 ( 23.2%)	149 ( 13.8%)	127 ( 11.8%)	62 ( 5.8%)	15 ( 1.4%)	13 ( 1.2%)
0~6歳(未就学児)	30 ( 100.0%)	13 ( 43.3%)	6 ( 20.0%)	4 ( 13.3%)	1 ( 3.3%)	1 ( 3.3%)	1 ( 3.3%)	4 ( 13.3%)
7~12歳(小学生)	150 ( 100.0%)	72 ( 48.0%)	28 ( 18.7%)	13 ( 8.7%)	10 ( 6.7%)	16 ( 10.7%)	7 ( 4.7%)	4 ( 2.7%)
13~15歳(中学生)	229 ( 100.0%)	99 ( 43.2%)	46 ( 20.1%)	33 ( 14.4%)	31 ( 13.5%)	13 ( 5.7%)	6 ( 2.6%)	1 ( 0.4%)
16~18歳(高校生)	370 ( 100.0%)	176 ( 47.6%)	81 ( 21.9%)	45 ( 12.2%)	45 ( 12.2%)	19 ( 5.1%)	1 ( 0.3%)	3 ( 0.8%)
19~20歳	165 ( 100.0%)	62 ( 37.6%)	51 ( 30.9%)	27 ( 16.4%)	17 ( 10.3%)	8 ( 4.8%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
21~24歳	132 ( 100.0%)	38 ( 28.8%)	38 ( 28.8%)	27 ( 20.5%)	23 ( 17.4%)	5 ( 3.8%)	0 ( 0.0%)	1 ( 0.8%)

### C.最初に相談した相手がとった言動

図表 6 3 性暴力被害にあったときの年齢層別、最初に相談した相手がとった言動

	全体	相手に動きかけてくれた	避難先や居場所を提供してくれた	一緒にいて、守ってくれた	取るべき行動を助言してくれた	あなたを慰めたり、励ましたくれた	話を聞いてくれた	わかってくれなかった	的外れな助言をされた	あなたを非難した	何もしてくれなかった	その他
全体	1076 (1.93)	187 (17.4%)	72 (6.7%)	277 (25.7%)	273 (25.4%)	420 (39.0%)	645 (59.9%)	41 (3.8%)	41 (3.8%)	32 (3.0%)	61 (5.7%)	33 (3.1%)
0～6歳(未就学児)	30 (1.67)	4 (13.3%)	2 (6.7%)	7 (23.3%)	5 (16.7%)	6 (20.0%)	9 (30.0%)	4 (13.3%)	4 (13.3%)	1 (3.3%)	5 (16.7%)	3 (10.0%)
7～12歳(小学生)	150 (2.06)	30 (20.0%)	10 (6.7%)	33 (22.0%)	51 (34.0%)	62 (41.3%)	93 (62.0%)	5 (3.3%)	5 (3.3%)	2 (1.3%)	6 (4.0%)	12 (8.0%)
13～15歳(中学生)	229 (1.97)	42 (18.3%)	19 (8.3%)	61 (26.6%)	51 (22.3%)	92 (40.2%)	141 (61.6%)	9 (3.9%)	9 (3.9%)	9 (3.9%)	15 (6.6%)	4 (1.7%)
16～18歳(高校生)	370 (1.95)	50 (13.5%)	20 (5.4%)	105 (28.4%)	95 (25.7%)	149 (40.3%)	226 (61.1%)	15 (4.1%)	10 (2.7%)	13 (3.5%)	26 (7.0%)	11 (3.0%)
19～20歳	165 (1.95)	33 (20.0%)	12 (7.3%)	46 (27.9%)	41 (24.8%)	65 (39.4%)	98 (59.4%)	7 (4.2%)	8 (4.8%)	4 (2.4%)	4 (2.4%)	3 (1.8%)
21～24歳	132 (1.74)	28 (21.2%)	9 (6.8%)	25 (18.9%)	30 (22.7%)	46 (34.8%)	78 (59.1%)	1 (0.8%)	5 (3.8%)	3 (2.3%)	5 (3.8%)	0 (0.0%)

### D.相談しなかった理由

図表 6 4 性暴力被害にあったときの年齢層別、相談しなかった理由

	全体	どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから	恥ずかしくてだれにも言えなかったから	相談してもむだだと思ったから	相談するほどのことではないと思ったから	相談相手の言動によって不快(ふかい)な思いをさせられると思ったから	自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	自分にも悪いところがあると思ったから	そのことについて思い出しにくかったから	仕返しが怖かったから(もっとうい暴力や、性的な画像のばらまきなど)
全体	964 (2.38)	248 (25.7%)	347 (36.0%)	275 (28.5%)	310 (32.2%)	28 (2.9%)	122 (12.7%)	97 (10.1%)	133 (13.8%)	42 (4.4%)
0～6歳(未就学児)	22 (2.23)	5 (22.7%)	5 (22.7%)	5 (22.7%)	3 (13.6%)	0 (0.0%)	2 (9.1%)	0 (0.0%)	5 (22.7%)	1 (4.5%)
7～12歳(小学生)	171 (2.41)	46 (26.9%)	60 (35.1%)	45 (26.3%)	54 (31.6%)	6 (3.5%)	22 (12.9%)	10 (5.8%)	25 (14.6%)	10 (5.8%)
13～15歳(中学生)	261 (2.50)	63 (24.1%)	99 (37.9%)	74 (28.4%)	98 (37.5%)	7 (2.7%)	40 (15.3%)	27 (10.3%)	38 (14.6%)	12 (4.6%)
16～18歳(高校生)	298 (2.45)	84 (28.2%)	121 (40.6%)	96 (32.2%)	102 (34.2%)	10 (3.4%)	40 (13.4%)	34 (11.4%)	33 (11.1%)	11 (3.7%)
19～20歳	137 (2.22)	32 (23.4%)	46 (33.6%)	39 (28.5%)	38 (27.7%)	5 (3.6%)	14 (10.2%)	18 (13.1%)	23 (16.8%)	3 (2.2%)
21～24歳	75 (1.89)	18 (24.0%)	16 (21.3%)	16 (21.3%)	15 (20.0%)	0 (0.0%)	4 (5.3%)	8 (10.7%)	9 (12.0%)	5 (6.7%)

	加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	世間体(せけんてい)が悪いと思ったから	他人を巻き込みたくなかったから	他人に知られると、これまで通りのつき合い(仕事や学校などの人間関係)がでなくなると思ったから	相手の行為は愛情表現だと思ったから	相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかったから	誰にも知られなくなかったから、心配させたくなかったから	被害かどうかわからなかったから	低年齢であったため、相談するということが思い浮かばなかったから	その他
全体	12 (1.2%)	53 (5.5%)	65 (6.7%)	59 (6.1%)	19 (2.0%)	24 (2.5%)	145 (15.0%)	169 (17.5%)	122 (12.7%)	21 (2.2%)
0～6歳(未就学児)	1 (4.5%)	0 (0.0%)	2 (9.1%)	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (9.1%)	1 (4.5%)	4 (18.2%)	11 (50.0%)	2 (9.1%)
7～12歳(小学生)	2 (1.2%)	10 (5.8%)	5 (2.9%)	11 (6.4%)	0 (0.0%)	7 (4.1%)	26 (15.2%)	32 (18.7%)	36 (21.1%)	5 (2.9%)
13～15歳(中学生)	3 (1.1%)	14 (5.4%)	23 (8.8%)	14 (5.4%)	4 (1.5%)	7 (2.7%)	45 (17.2%)	44 (16.9%)	36 (13.8%)	5 (1.9%)
16～18歳(高校生)	3 (1.0%)	21 (7.0%)	24 (8.1%)	18 (6.0%)	9 (3.0%)	3 (1.0%)	47 (15.8%)	49 (16.4%)	21 (7.0%)	5 (1.7%)
19～20歳	2 (1.5%)	5 (3.6%)	6 (4.4%)	12 (8.8%)	5 (3.6%)	5 (3.6%)	18 (13.1%)	25 (18.2%)	8 (5.8%)	0 (0.0%)
21～24歳	1 (1.3%)	3 (4.0%)	5 (6.7%)	4 (5.3%)	1 (1.3%)	0 (0.0%)	8 (10.7%)	15 (20.0%)	10 (13.3%)	4 (5.3%)

⑤【低年齢のときに受けた被害の状況】性暴力被害を受けた直後から現在までの生活の変化について

A. 性暴力被害による生活の変化

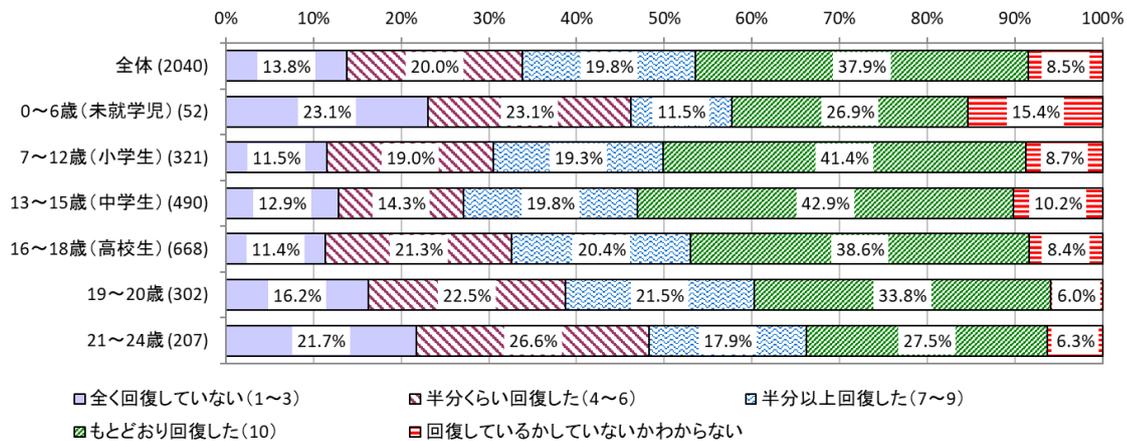
図表 65 性暴力被害にあったときの年齢層別、性暴力被害による生活の変化

	全体	夜、眠れなくなった	心身に不調をきたした	医療機関を受診し、精神疾患と診断された	自分に自信がなくなった	誰のことも信じられなくなった	外出するのが怖くなった	異性と会うのが怖くなった	人づきあいがうまくいかなかった	転居(引越し)、別居した	携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた
全体	2040 (2.06)	385 (18.9%)	117 (5.7%)	74 (3.6%)	436 (21.4%)	343 (16.8%)	291 (14.3%)	364 (17.8%)	227 (11.1%)	38 (1.9%)	131 (6.4%)
0～6歳(未就学児)	52 (3.00)	13 (25.0%)	4 (7.7%)	6 (11.5%)	13 (25.0%)	13 (25.0%)	9 (17.3%)	9 (17.3%)	12 (23.1%)	2 (3.8%)	4 (7.7%)
7～12歳(小学生)	321 (2.15)	49 (15.3%)	18 (5.6%)	8 (2.5%)	86 (26.8%)	61 (19.0%)	50 (15.6%)	49 (15.3%)	47 (14.6%)	6 (1.9%)	9 (2.8%)
13～15歳(中学生)	490 (2.03)	88 (18.0%)	32 (6.5%)	17 (3.5%)	132 (26.9%)	88 (18.0%)	69 (14.1%)	67 (13.7%)	52 (10.6%)	7 (1.4%)	27 (5.5%)
16～18歳(高校生)	668 (2.00)	115 (17.2%)	35 (5.2%)	26 (3.9%)	114 (17.1%)	106 (15.9%)	99 (14.8%)	144 (21.6%)	63 (9.4%)	7 (1.0%)	53 (7.9%)
19～20歳	302 (2.03)	75 (24.8%)	18 (6.0%)	6 (2.0%)	56 (18.5%)	41 (13.6%)	36 (11.9%)	57 (18.9%)	33 (10.9%)	11 (3.6%)	26 (8.6%)
21～24歳	207 (1.98)	45 (21.7%)	10 (4.8%)	11 (5.3%)	35 (16.9%)	34 (16.4%)	28 (13.5%)	38 (18.4%)	20 (9.7%)	5 (2.4%)	12 (5.8%)

	仕事(アルバイト)をしばらく休んだ・やめた・変えた	学校・大学をしばらく休んだ・やめた・変えた	生きているのが嫌になった・死にたくなった	加害者や被害時の状況を思い出さることがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる	生活全般にわたって活動的でなくなった、趣味、学業や仕事への関心が低くなった	神経過敏になり、少しの刺激に過敏に反応してしまったり、イライラ・そわそわしやすくなった	飲酒量・薬物量が増えた	性行動が活発になった	その他	特になし
全体	95 (4.7%)	106 (5.2%)	230 (11.3%)	209 (10.2%)	85 (4.2%)	193 (9.5%)	36 (1.8%)	78 (3.8%)	81 (4.0%)	680 (33.3%)
0～6歳(未就学児)	6 (11.5%)	5 (9.6%)	10 (19.2%)	10 (19.2%)	8 (15.4%)	11 (21.2%)	2 (3.8%)	2 (3.8%)	3 (5.8%)	14 (26.9%)
7～12歳(小学生)	8 (2.5%)	24 (7.5%)	46 (14.3%)	33 (10.3%)	11 (3.4%)	34 (10.6%)	4 (1.2%)	9 (2.8%)	18 (5.6%)	119 (37.1%)
13～15歳(中学生)	10 (2.0%)	34 (6.9%)	52 (10.6%)	41 (8.4%)	19 (3.9%)	43 (8.8%)	6 (1.2%)	18 (3.7%)	16 (3.3%)	179 (36.5%)
16～18歳(高校生)	29 (4.3%)	29 (4.3%)	70 (10.5%)	73 (10.9%)	28 (4.2%)	53 (7.9%)	10 (1.5%)	29 (4.3%)	29 (4.3%)	223 (33.4%)
19～20歳	24 (7.9%)	6 (2.0%)	31 (10.3%)	35 (11.6%)	10 (3.3%)	37 (12.3%)	8 (2.6%)	13 (4.3%)	10 (3.3%)	79 (26.2%)
21～24歳	18 (8.7%)	8 (3.9%)	21 (10.1%)	17 (8.2%)	9 (4.3%)	15 (7.2%)	6 (2.9%)	7 (3.4%)	5 (2.4%)	66 (31.9%)

B. 性暴力被害からの回復状況

図表 66 性暴力被害にあったときの年齢層別、性暴力被害からの回復状況



⑥【低年齢のときに受けた被害の状況】性暴力被害後に必要な支援等について

A.必要な手助け・支援

図表 67 性暴力被害にあったときの年齢層別、必要な手助け・支援  
(性暴力被害を受けた直後)

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 (1.82)	741 (36.3%)	328 (16.1%)	148 (7.3%)	155 (7.6%)	175 (8.6%)	49 (2.4%)	42 (2.1%)	25 (1.2%)
0～6歳(未就学児)	52 (1.87)	16 (30.8%)	12 (23.1%)	5 (9.6%)	6 (11.5%)	7 (13.5%)	2 (3.8%)	2 (3.8%)	0 (0.0%)
7～12歳(小学生)	321 (1.73)	113 (35.2%)	44 (13.7%)	13 (4.0%)	21 (6.5%)	29 (9.0%)	3 (0.9%)	4 (1.2%)	3 (0.9%)
13～15歳(中学生)	490 (1.83)	172 (35.1%)	66 (13.5%)	35 (7.1%)	40 (8.2%)	37 (7.6%)	10 (2.0%)	8 (1.6%)	10 (2.0%)
16～18歳(高校生)	668 (1.87)	246 (36.8%)	119 (17.8%)	52 (7.8%)	46 (6.9%)	59 (8.8%)	18 (2.7%)	18 (2.7%)	7 (1.0%)
19～20歳	302 (1.76)	108 (35.8%)	50 (16.6%)	28 (9.3%)	28 (9.3%)	23 (7.6%)	10 (3.3%)	4 (1.3%)	3 (1.0%)
21～24歳	207 (1.84)	86 (41.5%)	37 (17.9%)	15 (7.2%)	14 (6.8%)	20 (9.7%)	6 (2.9%)	6 (2.9%)	2 (1.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	42 (2.1%)	75 (3.7%)	527 (25.8%)	285 (14.0%)	347 (17.0%)	10 (0.5%)	379 (18.6%)	388 (19.0%)
0～6歳(未就学児)	1 (1.9%)	3 (5.8%)	9 (17.3%)	6 (11.5%)	7 (13.5%)	2 (3.8%)	7 (13.5%)	12 (23.1%)
7～12歳(小学生)	6 (1.9%)	6 (1.9%)	80 (24.9%)	39 (12.1%)	54 (16.8%)	0 (0.0%)	75 (23.4%)	65 (20.2%)
13～15歳(中学生)	6 (1.2%)	28 (5.7%)	126 (25.7%)	75 (15.3%)	97 (19.8%)	1 (0.2%)	100 (20.4%)	88 (18.0%)
16～18歳(高校生)	13 (1.9%)	27 (4.0%)	179 (26.8%)	101 (15.1%)	114 (17.1%)	5 (0.7%)	121 (18.1%)	127 (19.0%)
19～20歳	6 (2.0%)	7 (2.3%)	81 (26.8%)	36 (11.9%)	44 (14.6%)	2 (0.7%)	51 (16.9%)	52 (17.2%)
21～24歳	10 (4.8%)	4 (1.9%)	52 (25.1%)	28 (13.5%)	31 (15.0%)	0 (0.0%)	25 (12.1%)	44 (21.3%)

図表 68 性暴力被害にあったときの年齢層別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取 緊急避妊薬 の処方や性 感染症検査 など医療的 支援や医療 機関への同 行	被害届の提 出方法などを 教えてもらう	警察・検察と のやり取りの 手助け、付き 添い	弁護士紹 介や裁判所 へ行く際の付 き添い	支援団体、自 助グループな どの紹介	役所などの 手続の手助 け、付き添い
全体	2040 (1.45)	415 (20.3%)	183 (9.0%)	92 (4.5%)	98 (4.8%)	89 (4.4%)	36 (1.8%)	40 (2.0%)	27 (1.3%)
0～6歳(未就学児)	52 (1.56)	15 (28.8%)	6 (11.5%)	3 (5.8%)	3 (5.8%)	4 (7.7%)	0 (0.0%)	1 (1.9%)	0 (0.0%)
7～12歳(小学生)	321 (1.48)	65 (20.2%)	36 (11.2%)	11 (3.4%)	16 (5.0%)	15 (4.7%)	5 (1.6%)	6 (1.9%)	6 (1.9%)
13～15歳(中学生)	490 (1.51)	100 (20.4%)	36 (7.3%)	29 (5.9%)	26 (5.3%)	27 (5.5%)	11 (2.2%)	6 (1.2%)	10 (2.0%)
16～18歳(高校生)	668 (1.46)	126 (18.9%)	65 (9.7%)	20 (3.0%)	33 (4.9%)	27 (4.0%)	11 (1.6%)	16 (2.4%)	6 (0.9%)
19～20歳	302 (1.36)	64 (21.2%)	25 (8.3%)	20 (6.6%)	15 (5.0%)	9 (3.0%)	5 (1.7%)	5 (1.7%)	3 (1.0%)
21～24歳	207 (1.33)	45 (21.7%)	15 (7.2%)	9 (4.3%)	5 (2.4%)	7 (3.4%)	4 (1.9%)	6 (2.9%)	2 (1.0%)

	生活全般の 手伝い(食 事・買物など 身の回りのこ とを含む)や 経済的な支 援	画像や動画 の削除方法 などを教えて もらう	精神的な支 え	プライバシー などへの配慮	そっとしてお いてもらうこと	その他	特になし	どのような支 援・配慮が必 要かわから ない
全体	35 (1.7%)	56 (2.7%)	371 (18.2%)	197 (9.7%)	283 (13.9%)	7 (0.3%)	617 (30.2%)	409 (20.0%)
0～6歳(未就学児)	2 (3.8%)	1 (1.9%)	11 (21.2%)	4 (7.7%)	7 (13.5%)	1 (1.9%)	11 (21.2%)	12 (23.1%)
7～12歳(小学生)	5 (1.6%)	8 (2.5%)	53 (16.5%)	24 (7.5%)	42 (13.1%)	0 (0.0%)	121 (37.7%)	62 (19.3%)
13～15歳(中学生)	8 (1.6%)	19 (3.9%)	92 (18.8%)	55 (11.2%)	69 (14.1%)	0 (0.0%)	163 (33.3%)	90 (18.4%)
16～18歳(高校生)	9 (1.3%)	16 (2.4%)	125 (18.7%)	72 (10.8%)	96 (14.4%)	4 (0.6%)	201 (30.1%)	146 (21.9%)
19～20歳	5 (1.7%)	7 (2.3%)	57 (18.9%)	20 (6.6%)	45 (14.9%)	2 (0.7%)	74 (24.5%)	54 (17.9%)
21～24歳	6 (2.9%)	5 (2.4%)	33 (15.9%)	22 (10.6%)	24 (11.6%)	0 (0.0%)	47 (22.7%)	45 (21.7%)

B.性暴力のない社会にするために必要な取組

図表 69 性暴力被害にあったときの年齢層別、性暴力のない社会にするために必要な取組

	全体	性犯罪・性暴 力に関する 刑法を改正し て、加害者を 罪に問える ようにした り、罪を重く する	パトロールを 行うなどの防 犯体制の強 化	警察の取り 締まりの強 化	加害者の行 動を追跡で きるように GPSをつける など、再犯防 止対策を強 化すること	社会全体に 性犯罪・性暴 力について 広く知って もらうこと	性暴力の加 害者・被害 者・傍観者 にならない ための教育・ 人権教育の 推進	加害者に再 犯防止プロ グラムを受 けさせること	その他
全体	2040 (2.75)	1208 (59.2%)	580 (28.4%)	630 (30.9%)	608 (29.8%)	963 (47.2%)	885 (43.4%)	669 (32.8%)	74 (3.6%)
0～6歳(未就学児)	52 (2.56)	29 (55.8%)	9 (17.3%)	12 (23.1%)	17 (32.7%)	20 (38.5%)	28 (53.8%)	15 (28.8%)	3 (5.8%)
7～12歳(小学生)	321 (3.17)	206 (64.2%)	117 (36.4%)	111 (34.6%)	118 (36.8%)	165 (51.4%)	164 (51.1%)	123 (38.3%)	14 (4.4%)
13～15歳(中学生)	490 (2.86)	287 (58.6%)	134 (27.3%)	149 (30.4%)	158 (32.2%)	247 (50.4%)	235 (48.0%)	170 (34.7%)	22 (4.5%)
16～18歳(高校生)	668 (2.76)	406 (60.8%)	202 (30.2%)	221 (33.1%)	197 (29.5%)	307 (46.0%)	274 (41.0%)	215 (32.2%)	20 (3.0%)
19～20歳	302 (2.49)	181 (59.9%)	71 (23.5%)	92 (30.5%)	72 (23.8%)	136 (45.0%)	109 (36.1%)	82 (27.2%)	9 (3.0%)
21～24歳	207 (2.27)	99 (47.8%)	47 (22.7%)	45 (21.7%)	46 (22.2%)	88 (42.5%)	75 (36.2%)	64 (30.9%)	6 (2.9%)

### C.性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組

図表 70 性暴力被害にあったときの年齢層別、  
性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組

	全体	相談窓口を 周知すること	24時間・365 日相談でき るようにする こと	性犯罪・性暴 力被害者の ためのワン ストップ支援 センターの敷 を増やすこと	電話以外に もSNSで相 談できるなど 多様な相談 方法がある こと	性犯罪・性暴 力の支援を 出来る支援 員を増やすこ と	相談者が希 望する性別 の相談員に 相談できるこ と	カウンセラー や性暴力に 関わる医療 従事者の敷 を増やすこと
全体	2040 ( 3.86)	796 ( 39.0%)	945 ( 46.3%)	416 ( 20.4%)	924 ( 45.3%)	415 ( 20.3%)	599 ( 29.4%)	446 ( 21.9%)
0～6歳(未就学児)	52 ( 3.71)	21 ( 40.4%)	26 ( 50.0%)	8 ( 15.4%)	17 ( 32.7%)	8 ( 15.4%)	14 ( 26.9%)	11 ( 21.2%)
7～12歳(小学生)	321 ( 4.48)	142 ( 44.2%)	147 ( 45.8%)	78 ( 24.3%)	157 ( 48.9%)	83 ( 25.9%)	113 ( 35.2%)	86 ( 26.8%)
13～15歳(中学生)	490 ( 4.01)	210 ( 42.9%)	218 ( 44.5%)	98 ( 20.0%)	238 ( 48.6%)	97 ( 19.8%)	156 ( 31.8%)	104 ( 21.2%)
16～18歳(高校生)	668 ( 3.90)	249 ( 37.3%)	318 ( 47.6%)	142 ( 21.3%)	327 ( 49.0%)	141 ( 21.1%)	197 ( 29.5%)	151 ( 22.6%)
19～20歳	302 ( 3.47)	109 ( 36.1%)	143 ( 47.4%)	58 ( 19.2%)	117 ( 38.7%)	51 ( 16.9%)	77 ( 25.5%)	53 ( 17.5%)
21～24歳	207 ( 2.98)	65 ( 31.4%)	93 ( 44.9%)	32 ( 15.5%)	68 ( 32.9%)	35 ( 16.9%)	42 ( 20.3%)	41 ( 19.8%)

	相談先で被 害者を責めたり しないよう 徹底すること	支援が無料 で受けられる ようにするこ と	児童・生徒に 関わる教育 関係者の性 暴力防止に 関する研修を 充実すること	学校や職場 などで相談を 受ける体制を 強化すること	早期から性 の安全に関 する教育(性 暴力の加害 者・被害者・ 傍観者になら ないための教 育)を行うこと	その他	特になし
全体	592 ( 29.0%)	860 ( 42.2%)	410 ( 20.1%)	578 ( 28.3%)	678 ( 33.2%)	19 ( 0.9%)	191 ( 9.4%)
0～6歳(未就学児)	15 ( 28.8%)	21 ( 40.4%)	12 ( 23.1%)	17 ( 32.7%)	17 ( 32.7%)	0 ( 0.0%)	6 ( 11.5%)
7～12歳(小学生)	116 ( 36.1%)	152 ( 47.4%)	89 ( 27.7%)	112 ( 34.9%)	129 ( 40.2%)	9 ( 2.8%)	25 ( 7.8%)
13～15歳(中学生)	149 ( 30.4%)	215 ( 43.9%)	107 ( 21.8%)	153 ( 31.2%)	178 ( 36.3%)	4 ( 0.8%)	40 ( 8.2%)
16～18歳(高校生)	201 ( 30.1%)	298 ( 44.6%)	126 ( 18.9%)	180 ( 26.9%)	219 ( 32.8%)	5 ( 0.7%)	53 ( 7.9%)
19～20歳	74 ( 24.5%)	116 ( 38.4%)	54 ( 17.9%)	78 ( 25.8%)	89 ( 29.5%)	1 ( 0.3%)	27 ( 8.9%)
21～24歳	37 ( 17.9%)	58 ( 28.0%)	22 ( 10.6%)	38 ( 18.4%)	46 ( 22.2%)	0 ( 0.0%)	40 ( 19.3%)

## **(5)その他の分析-性暴力被害からの回復に影響する要因**

回答者に自己評価いただいた性暴力被害からの回復状況の回答を基に、性暴力被害からの回復に影響する要因を分析した。

### **○加害者に関する要因**

加害者との関係では、特に加害者が親密圏の場合に回復状況がよくない。また、加害者の社会的・職務上の地位等が上位の者からの加害の場合に（同等または下位の者と比較して）回復状況がよくない（図表 7 1、図表 7 3）。

### **○性暴力被害の状況に関する要因**

性暴力被害分類については、特に性交を伴う性暴力被害の場合に回復状況がよくない。5つの被害分類のうち複数分類の性暴力被害にあっている（重複被害にあっている）被害者ほど回復状況が顕著によくない。また、継続被害を受けている／受けた被害者ほど回復状況がよくない（図表 2 3、図表 7 6、図表 8 7）。

### **○性暴力被害後の対応に関する要因**

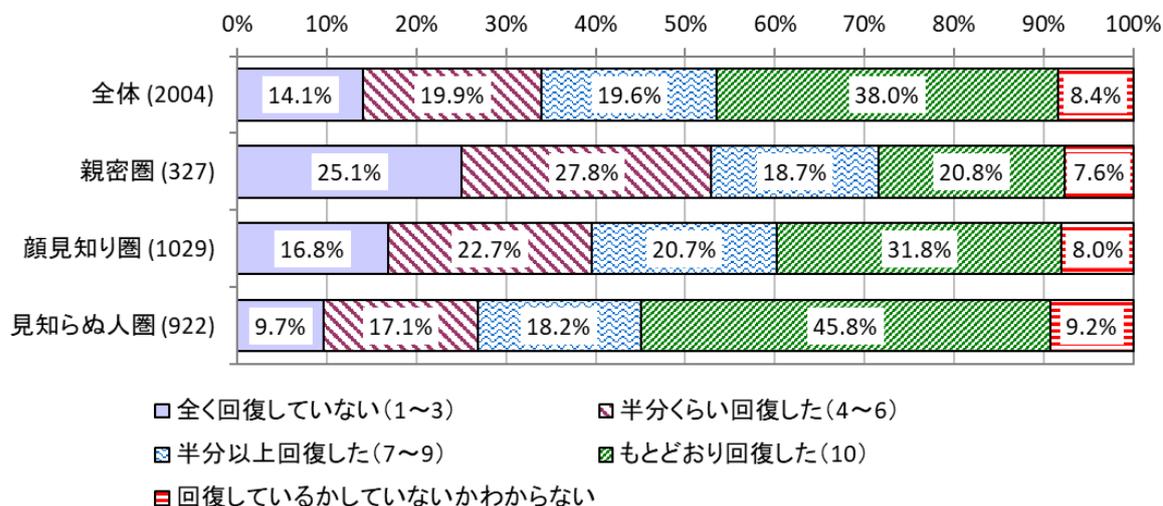
相談までに要した期間については、期間が短い場合に回復状況がよい傾向がみられる（具体的には、視覚による性暴力被害や身体接触を伴う性暴力被害の被害者で、比較的短期に相談していて、回復状況が比較的よい群があることを示している）。また、最初に相談した相手がとった言動として、プラスの対応（相手（加害者）への働きかけ、避難先・居場所の提供、一緒にいて守ってくれた、助言、慰め・励まし、話を聞く）をしてくれた場合には、マイナスの対応（わかってくれなかった、的外れな助言、非難された、何もしてくれなかった）の場合に比べて、回復状況がよくなっている。

一方で、相談の有無は、回復状況に大きな影響を及ぼしていない。これは、心身へのダメージが大きい（小さい）被害者ほど相談する（しない）状況もみられること等が背景として考えられる（図表 7 7、図表 7 8、図表 7 9、図表 8 0）。

①【性暴力被害からの回復に影響する要因】加害者について

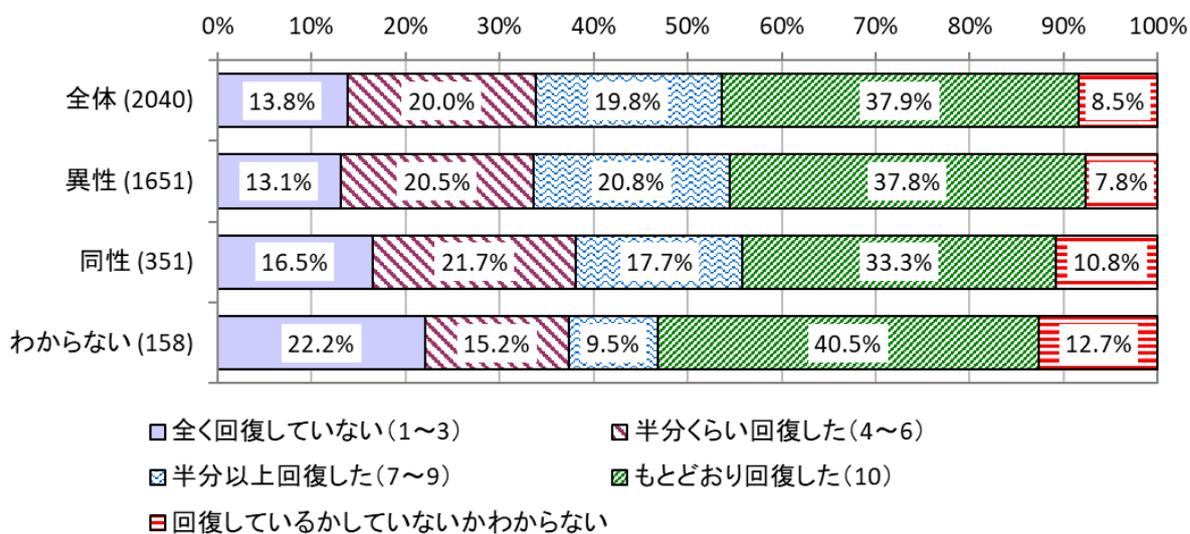
A.加害者との関係

図表 7 1 性暴力被害からの回復状況別、加害者との関係



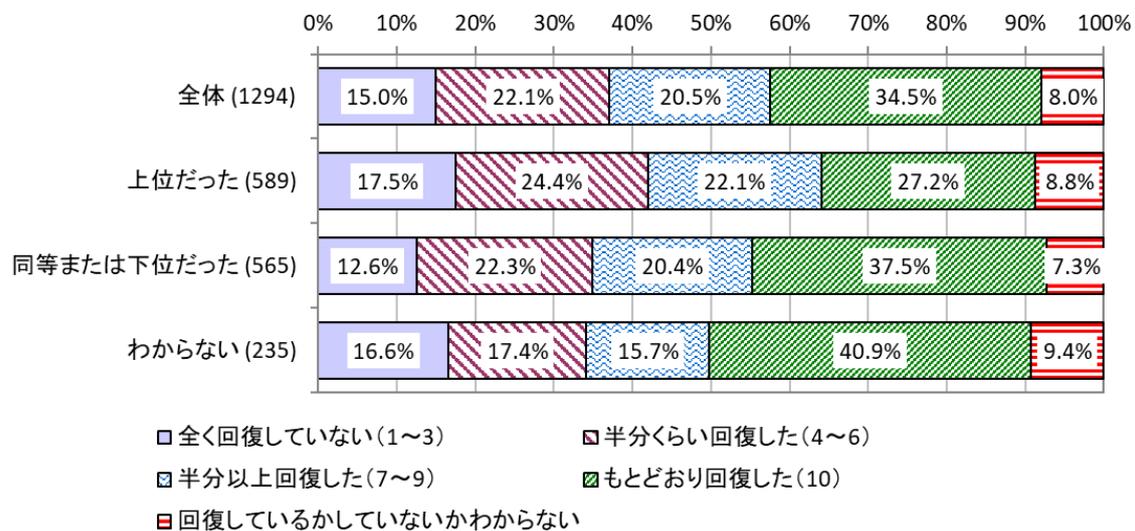
B.加害者の性別

図表 7 2 性暴力被害からの回復状況別、加害者の性別



### C.加害者の社会的・職務上の地位等

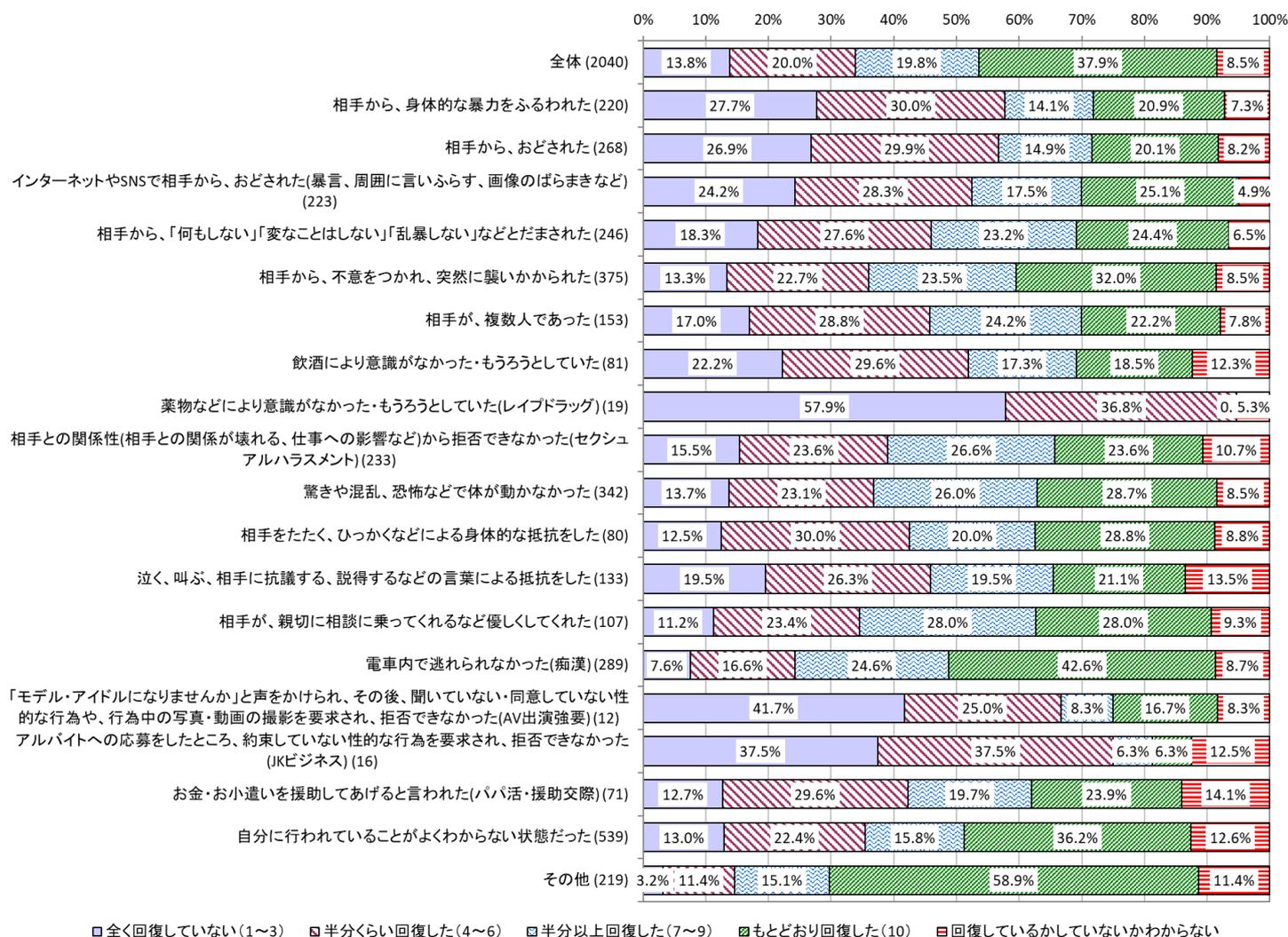
図表 73 性暴力被害からの回復状況別、加害者の社会的・職務上の地位等



## ②【性暴力被害からの回復に影響する要因】性暴力被害の状況について

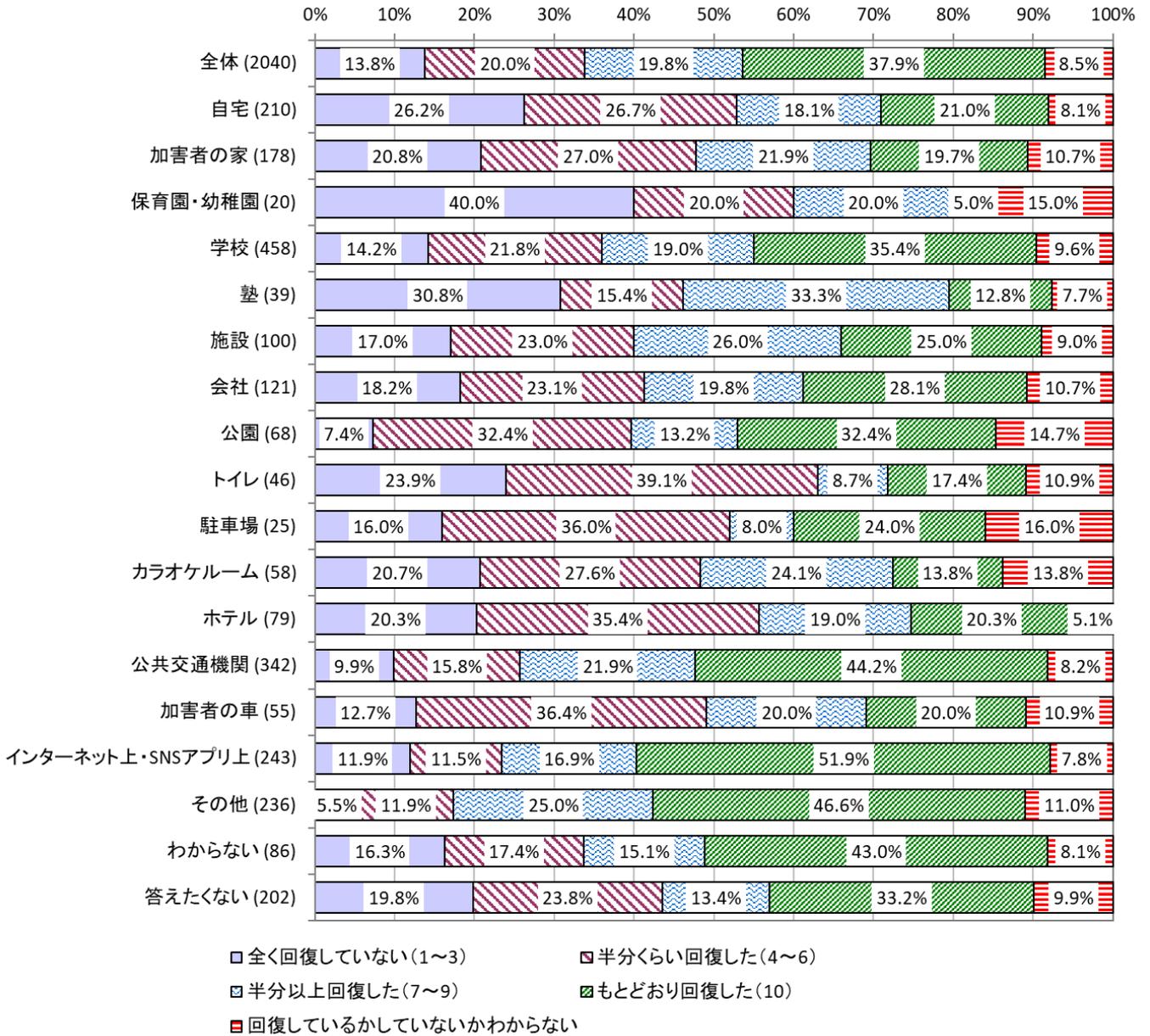
### A.性暴力被害にあったときの状況

図表 7 4 性暴力被害からの回復状況別、性暴力被害にあったときの状況



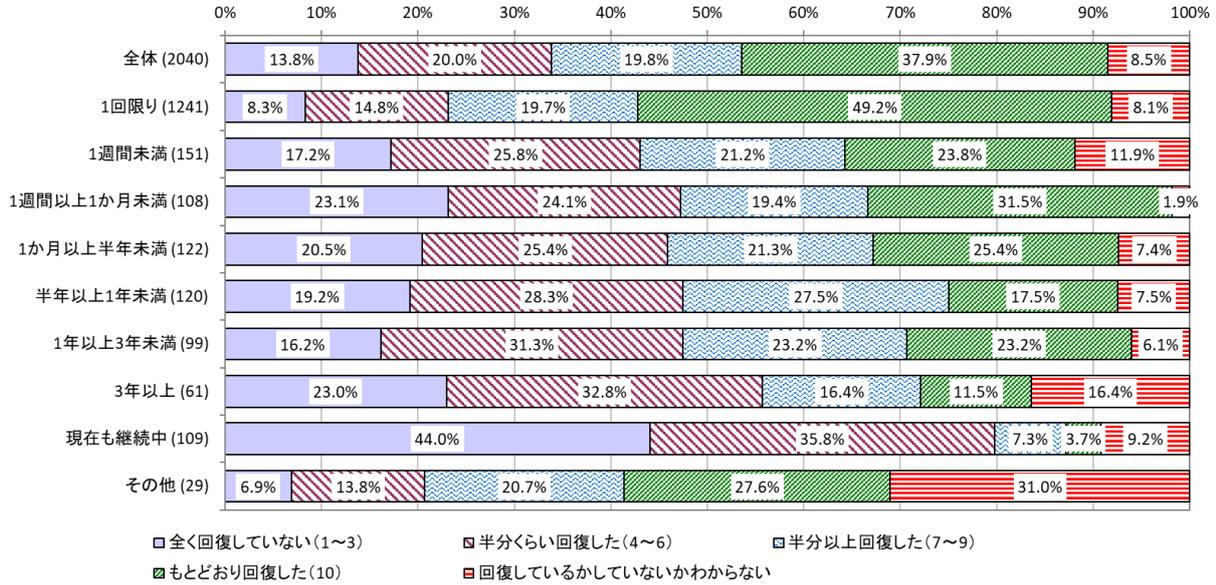
## B.被害にあった場所

図表 75 性暴力被害からの回復状況別、被害にあった場所



### C.被害の継続期間

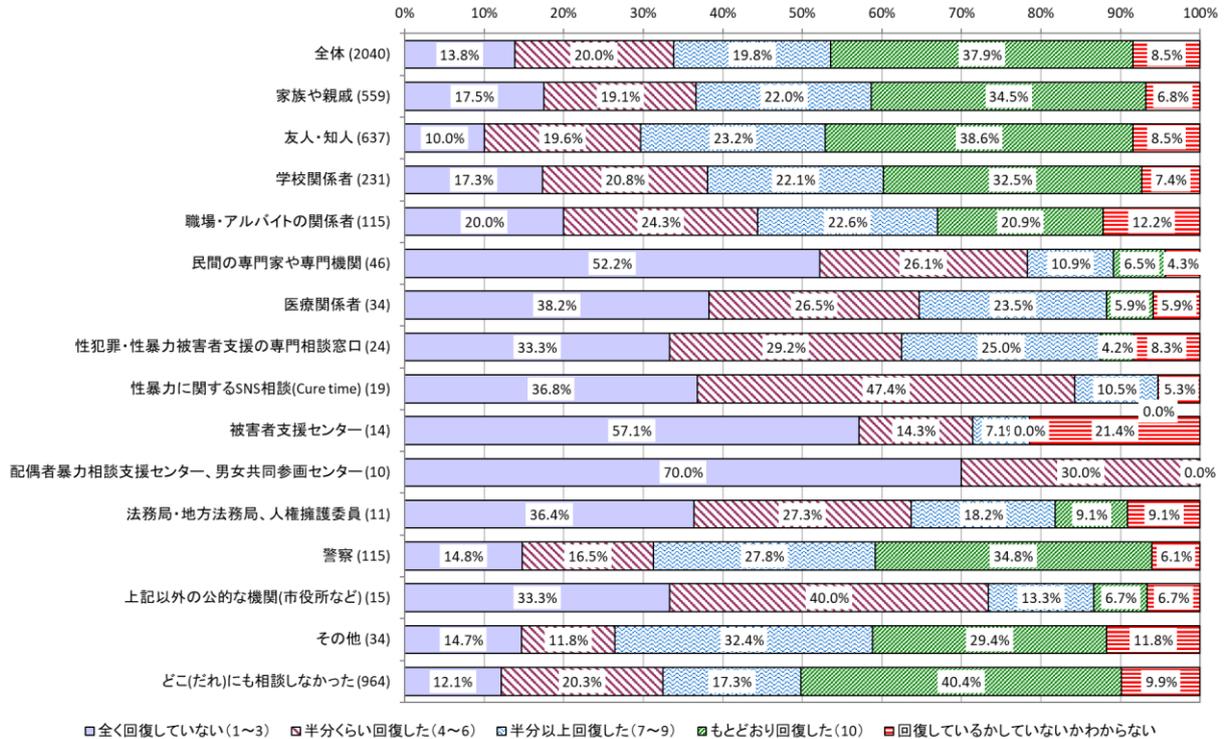
図表 76 性暴力被害からの回復状況別、被害の継続期間



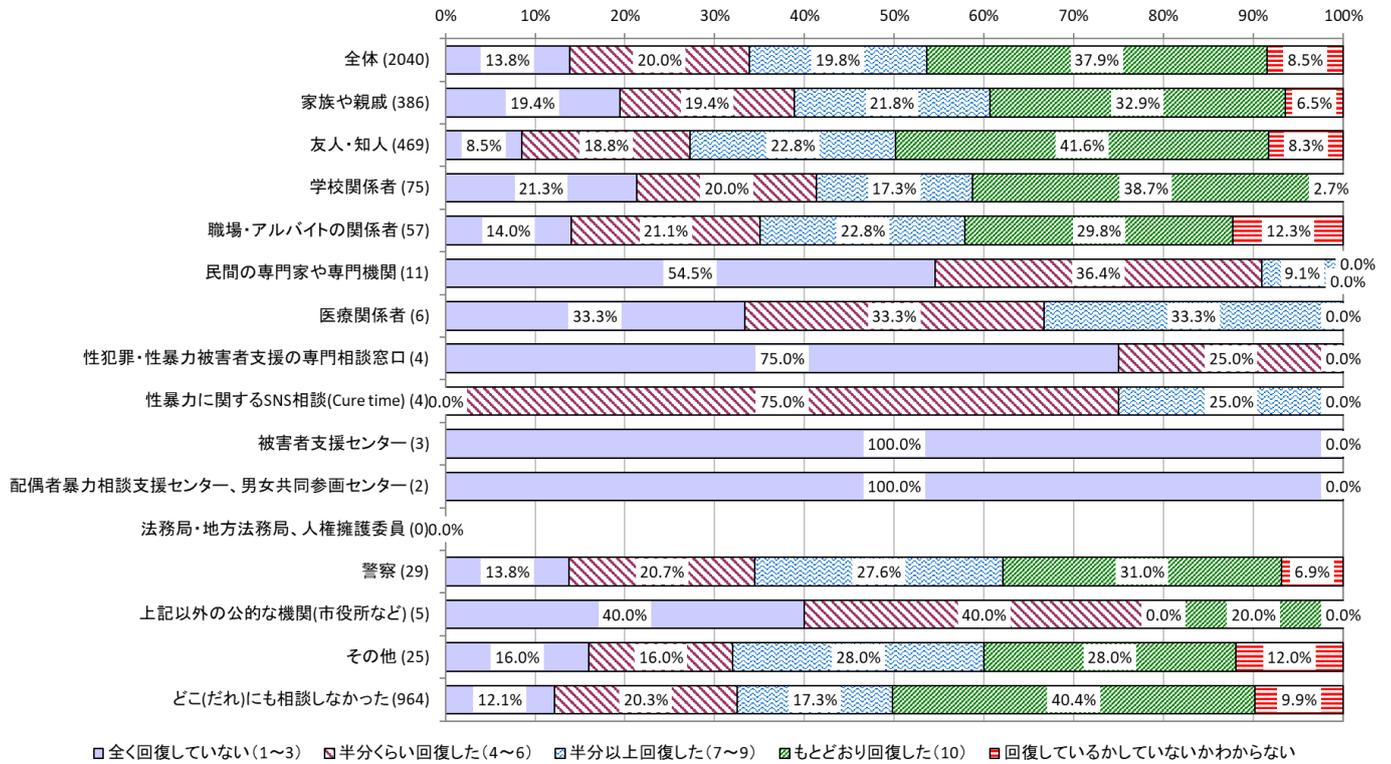
### ③【性暴力被害からの回復に影響する要因】性暴力被害の相談状況について

#### A.性暴力被害の相談状況

図表 77 性暴力被害からの回復状況別、相談した人・機関

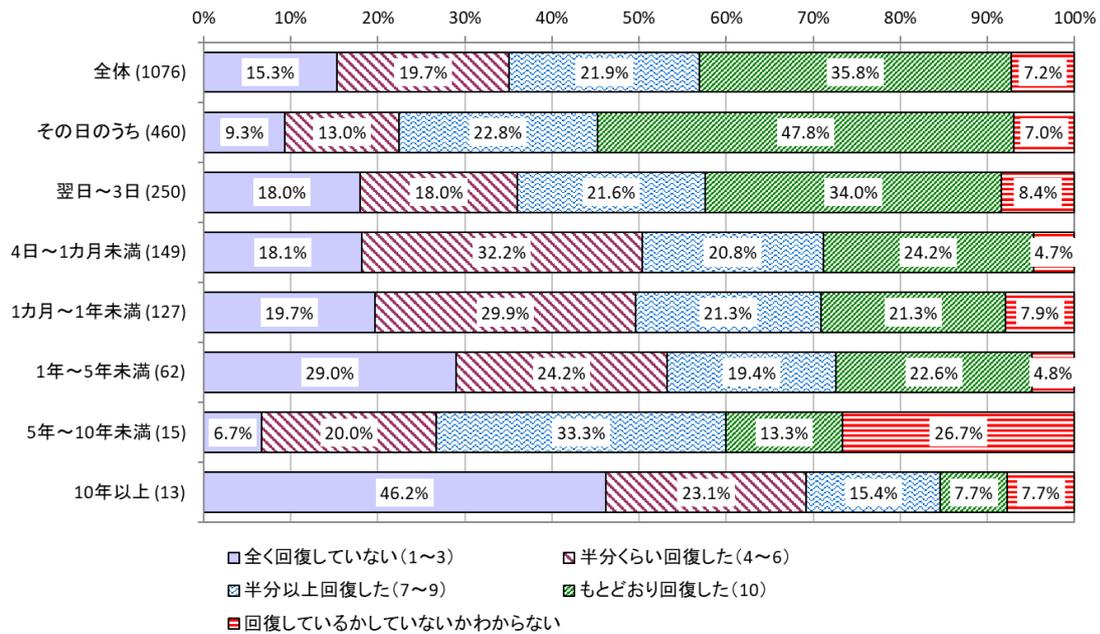


図表 78 性暴力被害からの回復状況別、最初に相談した人・機関



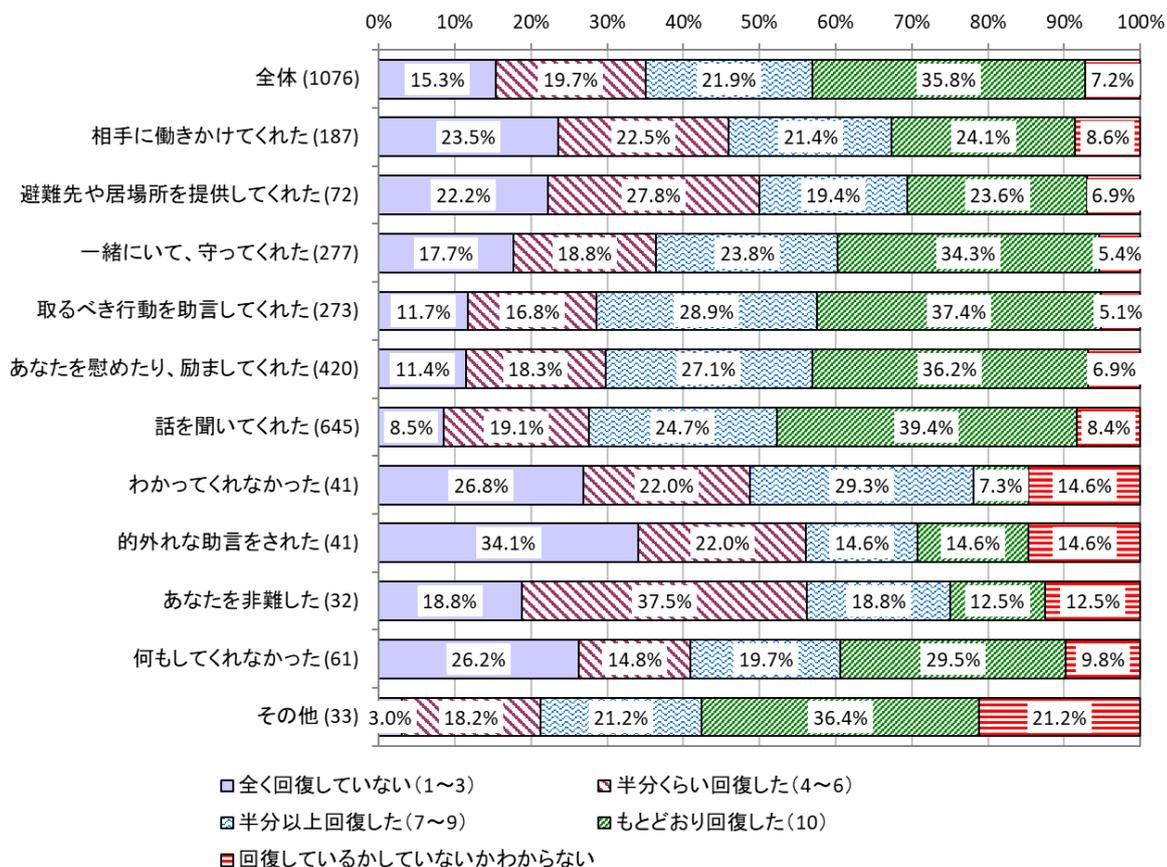
B.相談までに要した期間

図表 79 性暴力被害からの回復状況別、相談までに要した期間



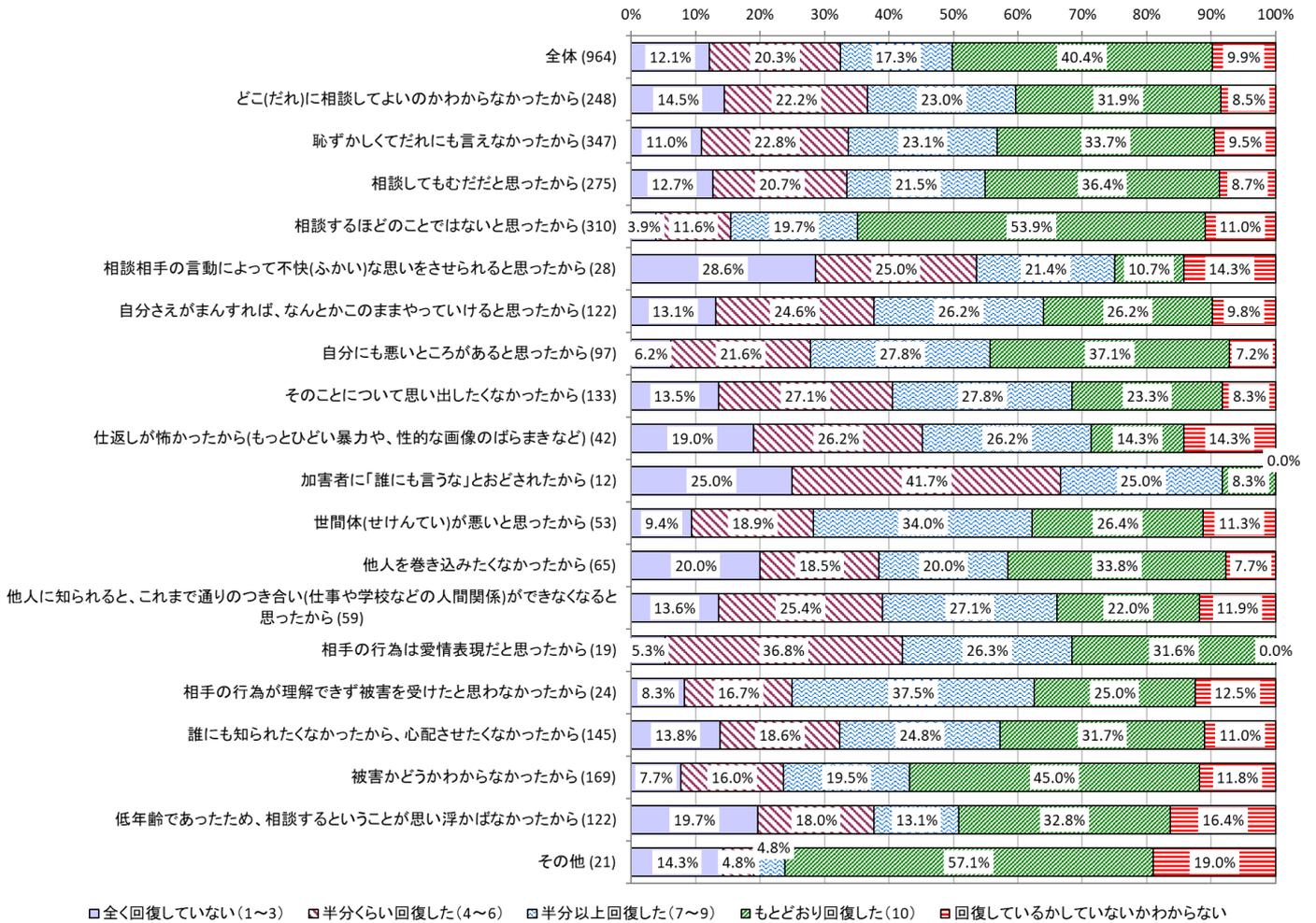
### C.最初に相談した相手がとった言動

図表 80 性暴力被害からの回復状況別、最初に相談した相手がとった言動



## D.相談しなかった理由

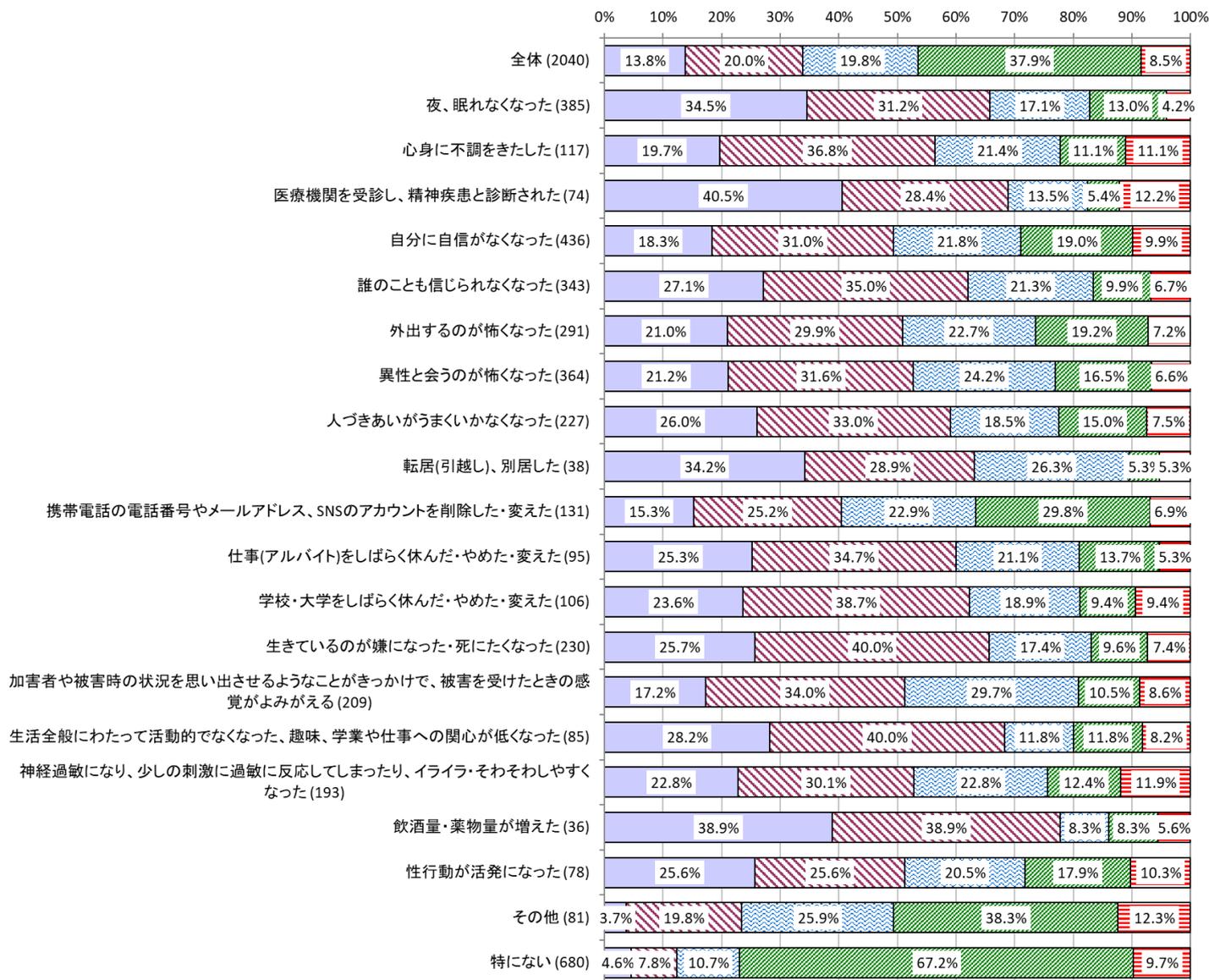
図表 8 1 性暴力被害からの回復状況別、相談しなかった理由



#### ④【性暴力被害からの回復に影響する要因】性暴力被害を受けた直後から現在までの生活の変化について

##### A.性暴力被害による生活の変化

図表 8 2 性暴力被害からの回復状況別、性暴力被害による生活の変化

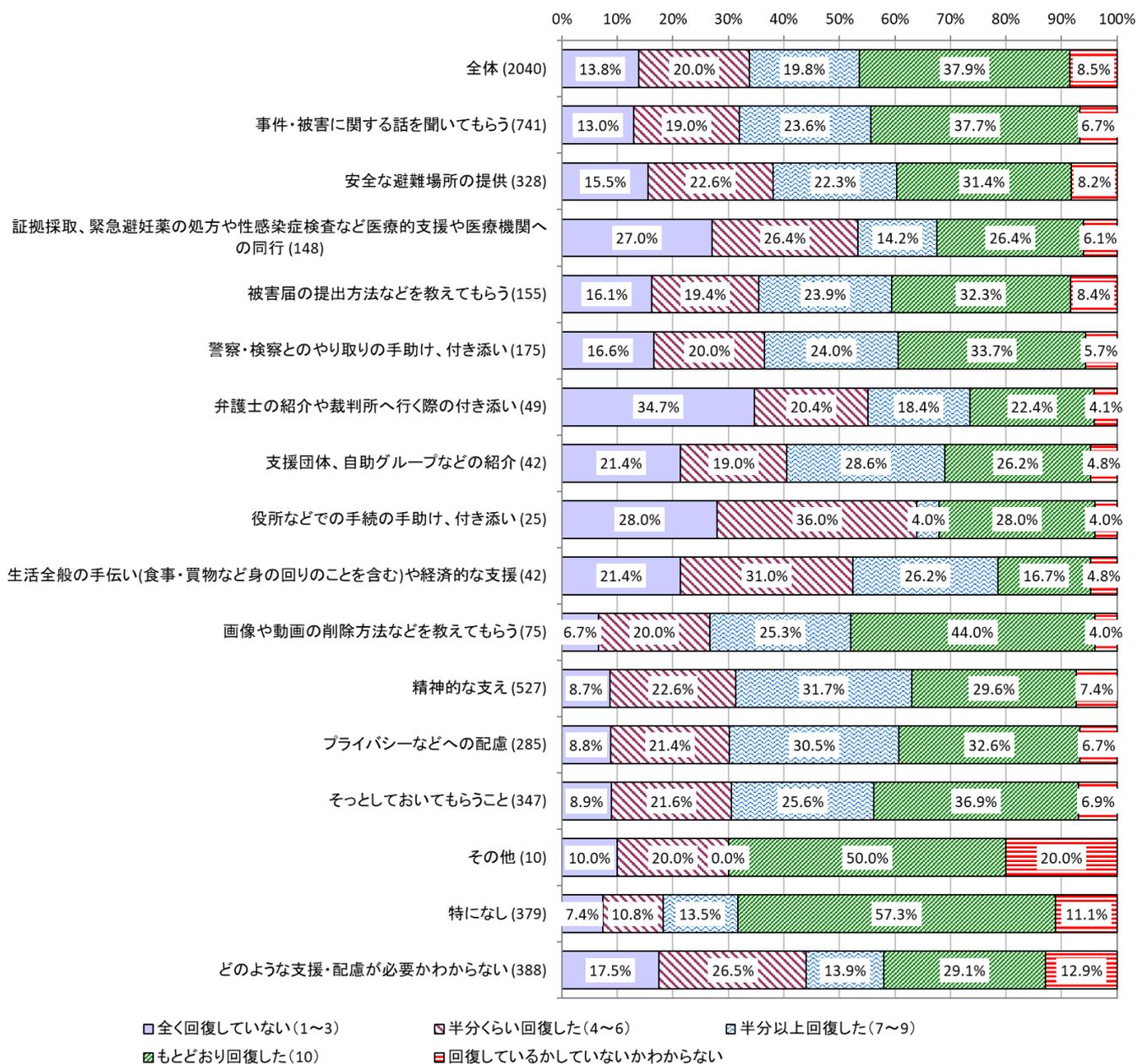


□全く回復していない(1~3) □半分くらい回復した(4~6) □半分以上回復した(7~9) □もどおり回復した(10) □回復しているかしていないかわからない

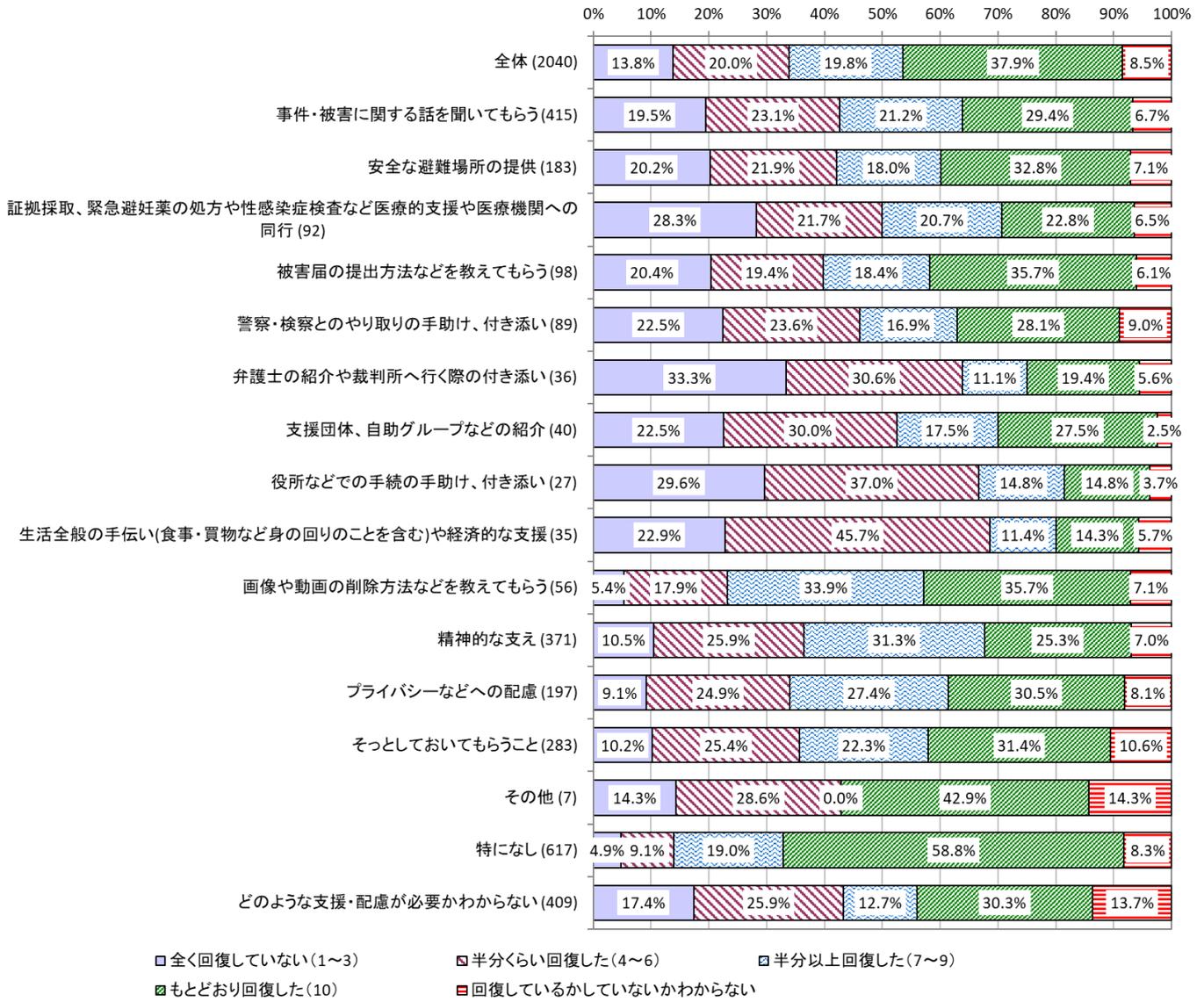
⑤【性暴力被害からの回復に影響する要因】性暴力被害後に必要な支援等について

A.必要な手助け・支援

図表 83 性暴力被害からの回復状況別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

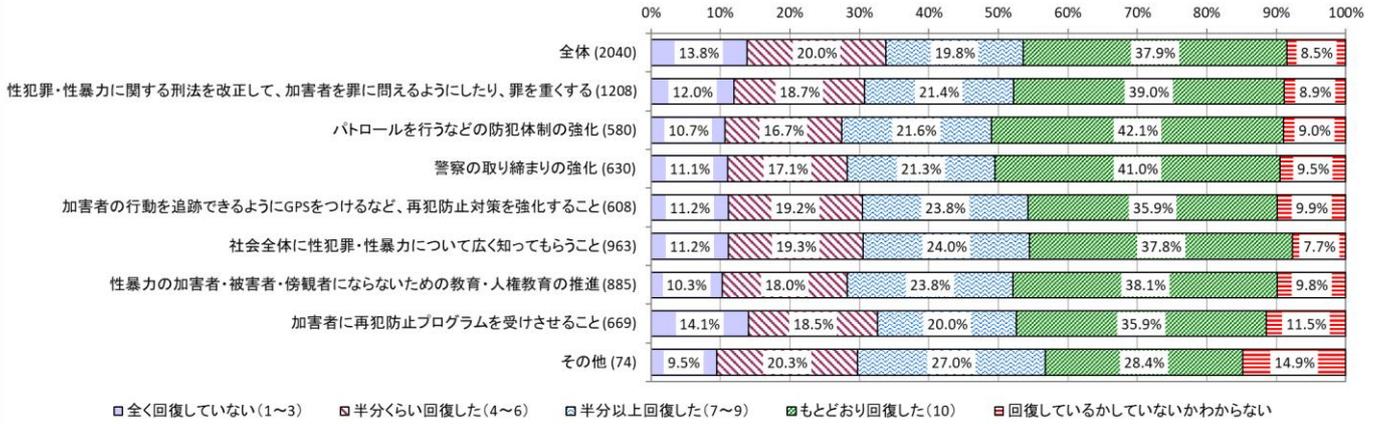


図表 8 4 性暴力被害からの回復状況別、必要な手助け・支援（現在）



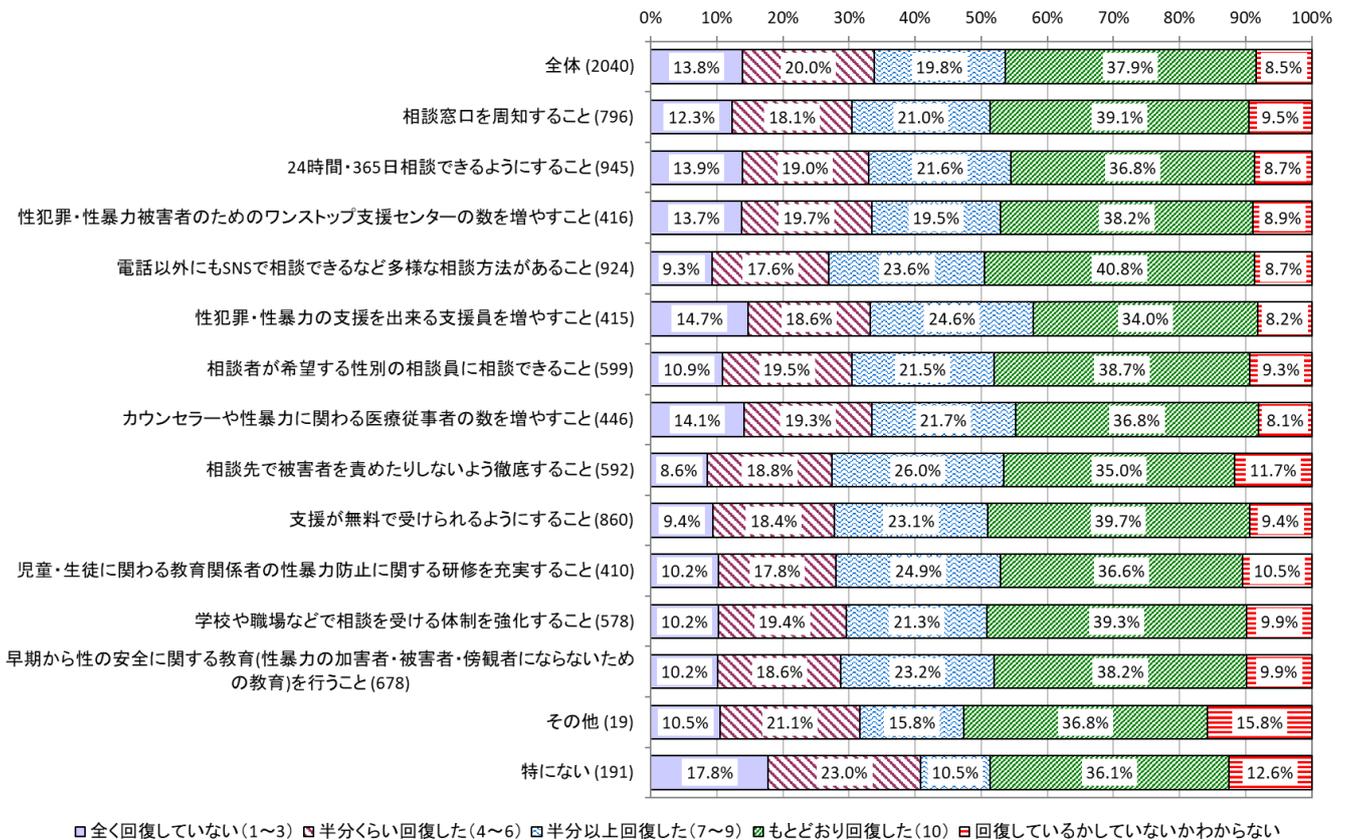
## B.性暴力のない社会にするために必要な取組

図表 85 性暴力被害からの回復状況別、性暴力のない社会にするために必要な取組



## C.性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組

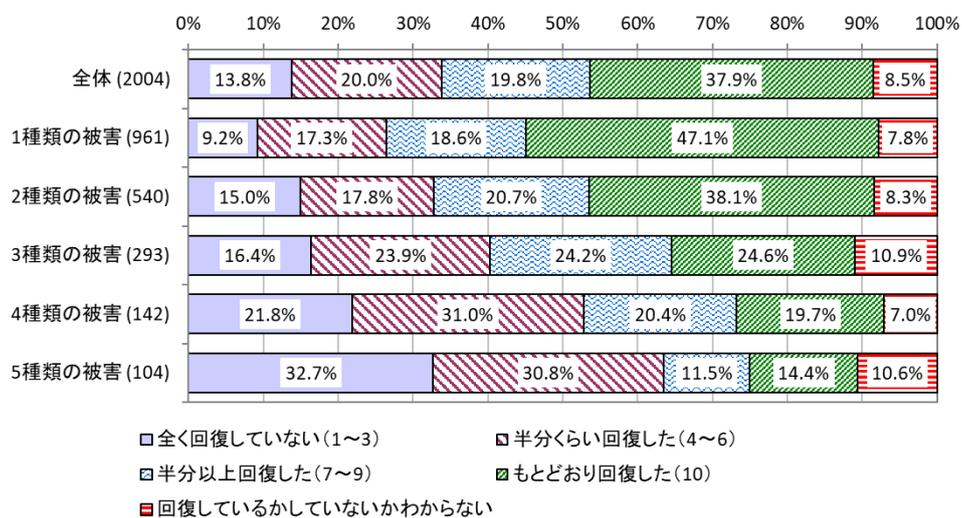
図表 86 性暴力被害からの回復状況別、性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組



⑥【性暴力被害からの回復に影響する要因】性暴力被害分類における重複被害状況について

A.重複被害状況

図表 87 性暴力被害からの回復状況別、被害分類における重複被害状況



(6)その他の分析-必要な手助け・支援を「特になし」、「わからない」とする被害者の特徴

性暴力被害者が必要とする手助け・支援（性暴力被害を受けた直後及び現在）、性暴力のない社会にするために必要な取組、性暴力被害の相談をしやすくするために強化が必要な取組について、本調査の全回答者 2,040 人の回答結果から分析した。

①【必要な手助け・支援】性暴力被害の状況について

A.性暴力被害にあったときの状況

図表 88 性暴力被害にあったときの状況別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 (1.82)	741 (36.3%)	328 (16.1%)	148 (7.3%)	155 (7.6%)	175 (8.6%)	49 (2.4%)	42 (2.1%)	25 (1.2%)
相手から、身体的な暴力をふるわれた	220 (1.99)	84 (38.2%)	48 (21.8%)	27 (12.3%)	17 (7.7%)	19 (8.6%)	9 (4.1%)	5 (2.3%)	7 (3.2%)
相手から、おどされた	268 (2.06)	108 (40.3%)	56 (20.9%)	33 (12.3%)	28 (10.4%)	29 (10.8%)	9 (3.4%)	6 (2.2%)	5 (1.9%)
インターネットやSNSで相手から、おどされた(暴言、周囲に言いふらす、画像のばらまきなど)	223 (2.10)	81 (36.3%)	47 (21.1%)	37 (16.6%)	32 (14.3%)	28 (12.6%)	13 (5.8%)	7 (3.1%)	3 (1.3%)
相手から、「何もしない」「変なことまじない」「乱暴しない」などとだまされた	246 (2.28)	84 (34.1%)	62 (25.2%)	34 (13.8%)	25 (10.2%)	30 (12.2%)	12 (4.9%)	9 (3.7%)	7 (2.8%)
相手から、不意をつかれ、突然に襲いかかれた	375 (2.16)	145 (38.7%)	88 (23.5%)	41 (10.9%)	42 (11.2%)	58 (15.5%)	11 (2.9%)	14 (3.7%)	7 (1.9%)
相手が、複数人であった	153 (2.06)	58 (37.9%)	31 (20.3%)	14 (9.2%)	12 (7.8%)	17 (11.1%)	3 (2.0%)	3 (2.0%)	4 (2.6%)
飲酒により意識がなかった・もうろうとしていた	81 (2.28)	32 (39.5%)	14 (17.3%)	17 (21.0%)	15 (18.5%)	14 (17.3%)	9 (11.1%)	4 (4.9%)	2 (2.5%)
薬物などにより意識がなかった・もうろうとしていた(レイプドラッグ)	19 (2.32)	7 (36.8%)	4 (21.1%)	5 (26.3%)	1 (5.3%)	4 (21.1%)	3 (15.8%)	0 (0.0%)	3 (15.8%)
相手との関係性(相手との関係が壊れる、仕事への影響など)から拒否できなかった(セクシュアルハラスメント)	233 (2.30)	89 (38.2%)	51 (21.9%)	17 (7.3%)	18 (7.7%)	24 (10.3%)	9 (3.9%)	12 (5.2%)	9 (3.9%)
驚きや混乱、恐怖などで体が動かなかった	342 (2.32)	177 (51.8%)	74 (21.6%)	29 (8.5%)	45 (13.2%)	49 (14.3%)	10 (2.9%)	12 (3.5%)	4 (1.2%)
相手をたたき、ひっかくなどによる身体的な抵抗をした	80 (2.30)	36 (45.0%)	20 (25.0%)	5 (6.3%)	12 (15.0%)	12 (15.0%)	3 (3.8%)	2 (2.5%)	2 (2.5%)
泣く、叫ぶ、相手に抗議する、説得するなどの言葉による抵抗をした	133 (2.42)	60 (45.1%)	35 (26.3%)	16 (12.0%)	17 (12.8%)	24 (18.0%)	5 (3.8%)	6 (4.5%)	5 (3.8%)
相手が、親切に相談に乗ってくれるなど優しくしてくれた	107 (2.35)	36 (33.6%)	19 (17.8%)	13 (12.1%)	10 (9.3%)	12 (11.2%)	6 (5.6%)	6 (5.6%)	5 (4.7%)
電車内で逃れられなかった(痴漢)	289 (2.17)	133 (46.0%)	69 (23.9%)	15 (5.2%)	39 (13.5%)	39 (13.5%)	4 (1.4%)	2 (0.7%)	4 (1.4%)
「モデル・アイドルになりませんか」と声をかけられ、その後、聞いていない・同意していない・性的な行為や、行為中の写真・動画の撮影を要求され、拒否できなかった(AV出演強要)	12 (2.08)	4 (33.3%)	3 (25.0%)	1 (8.3%)	2 (16.7%)	3 (25.0%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)
アルバイトへの応募をしたところ、約束していない・性的な行為を要求され、拒否できなかった(JKビジネス)	16 (2.31)	7 (43.8%)	4 (25.0%)	4 (25.0%)	4 (25.0%)	4 (25.0%)	3 (18.8%)	1 (6.3%)	0 (0.0%)
お金・お小遣いを援助してあげると言われた(ひびく活・援助交際)	71 (1.92)	21 (29.6%)	17 (23.9%)	4 (5.6%)	4 (5.6%)	6 (8.5%)	2 (2.8%)	3 (4.2%)	1 (1.4%)
自分に行われていることがよくわからない状態だった	539 (1.85)	176 (32.7%)	90 (16.7%)	30 (5.6%)	39 (7.2%)	53 (9.8%)	8 (1.5%)	10 (1.9%)	6 (1.1%)
その他	219 (1.59)	80 (36.5%)	19 (8.7%)	5 (2.3%)	9 (4.1%)	10 (4.6%)	2 (0.9%)	2 (0.9%)	0 (0.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	42 ( 2.1%)	75 ( 3.7%)	527 ( 25.8%)	285 ( 14.0%)	347 ( 17.0%)	10 ( 0.5%)	379 ( 18.6%)	388 ( 19.0%)
相手から、身体的な暴力をふるわれた	11 ( 5.0%)	9 ( 4.1%)	59 ( 26.8%)	31 ( 14.1%)	36 ( 16.4%)	0 ( 0.0%)	28 ( 12.7%)	46 ( 20.9%)
相手から、おどされた	11 ( 4.1%)	22 ( 8.2%)	79 ( 29.5%)	38 ( 14.2%)	46 ( 17.2%)	0 ( 0.0%)	26 ( 9.7%)	57 ( 21.3%)
インターネットやSNSで相手から、おどされた(暴言、周囲に言いふらす、画像のばらまきなど)	6 ( 2.7%)	27 ( 12.1%)	55 ( 24.7%)	34 ( 15.2%)	31 ( 13.9%)	0 ( 0.0%)	29 ( 13.0%)	38 ( 17.0%)
相手から、「何もしない」「変なことほしない」「乱暴しない」などとだまされた	14 ( 5.7%)	16 ( 6.5%)	87 ( 35.4%)	49 ( 19.9%)	63 ( 25.6%)	2 ( 0.8%)	31 ( 12.6%)	35 ( 14.2%)
相手から、不意をつかれ、突然に襲いかかれた	8 ( 2.1%)	7 ( 1.9%)	123 ( 32.8%)	66 ( 17.6%)	81 ( 21.6%)	1 ( 0.3%)	57 ( 15.2%)	60 ( 16.0%)
相手が、複数人であった	6 ( 3.9%)	7 ( 4.6%)	52 ( 34.0%)	26 ( 17.0%)	33 ( 21.6%)	1 ( 0.7%)	21 ( 13.7%)	27 ( 17.6%)
飲酒により意識がなかった・もうろうとしていた	7 ( 8.6%)	3 ( 3.7%)	19 ( 23.5%)	12 ( 14.8%)	20 ( 24.7%)	0 ( 0.0%)	5 ( 6.2%)	12 ( 14.8%)
薬物などにより意識がなかった・もうろうとしていた(レイプドラッグ)	1 ( 5.3%)	1 ( 5.3%)	2 ( 10.5%)	2 ( 10.5%)	7 ( 36.8%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.3%)	3 ( 15.8%)
相手との関係性(相手との関係が壊れる、仕事への影響など)から拒否できなかった(セクシュアルハラスメント)	12 ( 5.2%)	9 ( 3.9%)	98 ( 42.1%)	53 ( 22.7%)	68 ( 29.2%)	2 ( 0.9%)	27 ( 11.6%)	37 ( 15.9%)
驚きや混乱、恐怖などで体が動かなかった	13 ( 3.8%)	13 ( 3.8%)	141 ( 41.2%)	64 ( 18.7%)	85 ( 24.9%)	2 ( 0.6%)	23 ( 6.7%)	54 ( 15.8%)
相手をたたく、ひっかくなどによる身体的な抵抗を	4 ( 5.0%)	4 ( 5.0%)	27 ( 33.8%)	11 ( 13.8%)	21 ( 26.3%)	1 ( 1.3%)	8 ( 10.0%)	16 ( 20.0%)
泣く、叫ぶ、相手に抗議する、説得するなどの言葉による抵抗をした	7 ( 5.3%)	5 ( 3.8%)	48 ( 36.1%)	23 ( 17.3%)	35 ( 26.3%)	2 ( 1.5%)	9 ( 6.8%)	25 ( 18.8%)
相手が、親切に相対に乗ってくれるなど優しくしてくれた	5 ( 4.7%)	6 ( 5.6%)	47 ( 43.9%)	26 ( 24.3%)	27 ( 25.2%)	0 ( 0.0%)	13 ( 12.1%)	20 ( 18.7%)
電車で逃げられなかった(痴漢)	7 ( 2.4%)	13 ( 4.5%)	101 ( 34.9%)	49 ( 17.0%)	73 ( 25.3%)	2 ( 0.7%)	32 ( 11.1%)	46 ( 15.9%)
「モデル・アイドルになりませんか」と声をかけられ、その後、聞いていない・同意していない・性的な行為や、行為中の写真・動画の撮影を要求され、拒否できなかった(AV出演強要)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 16.7%)	0 ( 0.0%)	3 ( 25.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 16.7%)	2 ( 16.7%)
アルバイトへの応募をしたところ、約束していない性的な行為を要求され、拒否できなかった(JKビジネス)	1 ( 6.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	3 ( 18.8%)	2 ( 12.5%)	0 ( 0.0%)	2 ( 12.5%)	2 ( 12.5%)
お金・お小遣いを援助してあげると言われた(パパ活・援助交際)	1 ( 1.4%)	2 ( 2.8%)	16 ( 22.5%)	10 ( 14.1%)	18 ( 25.4%)	0 ( 0.0%)	17 ( 23.9%)	14 ( 19.7%)
自分で行われていることがよくわからない状態だった	13 ( 2.4%)	16 ( 3.0%)	136 ( 25.2%)	80 ( 14.8%)	91 ( 16.9%)	3 ( 0.6%)	107 ( 19.9%)	139 ( 25.8%)
その他	2 ( 0.9%)	5 ( 2.3%)	43 ( 19.6%)	28 ( 12.8%)	36 ( 16.4%)	3 ( 1.4%)	75 ( 34.2%)	29 ( 13.2%)

図表 89 性暴力被害にあったときの状況別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士への紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 ( 1.45)	415 ( 20.3%)	183 ( 9.0%)	92 ( 4.5%)	98 ( 4.8%)	89 ( 4.4%)	36 ( 1.8%)	40 ( 2.0%)	27 ( 1.3%)
相手から、身体的な暴力をふるわれた	220 ( 1.64)	59 ( 26.8%)	36 ( 16.4%)	20 ( 9.1%)	14 ( 6.4%)	15 ( 6.8%)	10 ( 4.5%)	7 ( 3.2%)	8 ( 3.6%)
相手から、おどされた	268 ( 1.57)	67 ( 25.0%)	32 ( 11.9%)	21 ( 7.8%)	15 ( 5.6%)	14 ( 5.2%)	3 ( 1.1%)	9 ( 3.4%)	6 ( 2.2%)
インターネットやSNSで相手から、おどされた(暴言、周囲に言いふらす、画像のばらまきなど)	223 ( 1.57)	46 ( 20.6%)	29 ( 13.0%)	25 ( 11.2%)	16 ( 7.2%)	20 ( 9.0%)	6 ( 2.7%)	9 ( 4.0%)	4 ( 1.8%)
相手から、「何もしない」「変なことまじない」「乱暴しない」などとだまされた	246 ( 1.69)	50 ( 20.3%)	34 ( 13.8%)	19 ( 7.7%)	20 ( 8.1%)	22 ( 8.9%)	5 ( 2.0%)	11 ( 4.5%)	2 ( 0.8%)
相手から、不意をつかれ、突然に襲いかかれた	375 ( 1.63)	70 ( 18.7%)	46 ( 12.3%)	26 ( 6.9%)	23 ( 6.1%)	29 ( 7.7%)	11 ( 2.9%)	12 ( 3.2%)	6 ( 1.6%)
相手が、複数人であった	153 ( 1.64)	36 ( 23.5%)	13 ( 8.5%)	7 ( 4.6%)	12 ( 7.8%)	12 ( 7.8%)	5 ( 3.3%)	4 ( 2.6%)	5 ( 3.3%)
飲酒により意識がなかった・もうろうとしていた	81 ( 1.67)	18 ( 22.2%)	7 ( 8.6%)	10 ( 12.3%)	6 ( 7.4%)	6 ( 7.4%)	5 ( 6.2%)	4 ( 4.9%)	4 ( 4.9%)
薬物などにより意識がなかった・もうろうとしていた(レイプドラッグ)	19 ( 1.42)	6 ( 31.6%)	0 ( 0.0%)	4 ( 21.1%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.3%)
相手との関係性(相手との関係が悪れる、仕事への影響など)から拒否できなかった(セクシュアルハラスメント)	233 ( 1.68)	53 ( 22.7%)	24 ( 10.3%)	10 ( 4.3%)	10 ( 4.3%)	12 ( 5.2%)	6 ( 2.6%)	8 ( 3.4%)	3 ( 1.3%)
驚きや混乱、恐怖などで体が動かなかった	342 ( 1.75)	85 ( 24.9%)	43 ( 12.6%)	15 ( 4.4%)	25 ( 7.3%)	21 ( 6.1%)	6 ( 1.8%)	13 ( 3.8%)	8 ( 2.3%)
相手をたたき、ひっかくなどによる身体的な抵抗をした	80 ( 1.81)	18 ( 22.5%)	8 ( 10.0%)	7 ( 8.8%)	7 ( 8.8%)	6 ( 7.5%)	1 ( 1.3%)	1 ( 1.3%)	2 ( 2.5%)
泣く、叫ぶ、相手に抗議する、説得するなどの言葉による抵抗をした	133 ( 1.81)	37 ( 27.8%)	15 ( 11.3%)	8 ( 6.0%)	9 ( 6.8%)	9 ( 6.8%)	8 ( 6.0%)	6 ( 4.5%)	5 ( 3.8%)
相手が、親切に相談に乗ってくれるなど優しくしてくれた	107 ( 1.59)	24 ( 22.4%)	6 ( 5.6%)	5 ( 4.7%)	5 ( 4.7%)	8 ( 7.5%)	2 ( 1.9%)	5 ( 4.7%)	2 ( 1.9%)
電車内で逃れられなかった(痴漢)	289 ( 1.70)	65 ( 22.5%)	33 ( 11.4%)	16 ( 5.5%)	25 ( 8.7%)	18 ( 6.2%)	5 ( 1.7%)	5 ( 1.7%)	6 ( 2.1%)
「モデル・アイドルになりませんか」と声をかけられ、その後、聞いていない・同意していない・性的な行為や、行為中の写真・動画の撮影を要求され、拒否できなかった(AV出演強要)	12 ( 1.25)	0 ( 0.0%)	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
アルバイトへの応募をしたところ、約束していない・性的な行為を要求され、拒否できなかった(JKビジネス)	16 ( 1.50)	3 ( 18.8%)	3 ( 18.8%)	2 ( 12.5%)	2 ( 12.5%)	1 ( 6.3%)	2 ( 12.5%)	0 ( 0.0%)	1 ( 6.3%)
お金・お小遣いを援助してあげると言われた(ひびき活・援助交際)	71 ( 1.55)	12 ( 16.9%)	11 ( 15.5%)	5 ( 7.0%)	5 ( 7.0%)	2 ( 2.8%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.4%)	1 ( 1.4%)
自分に行われていることがよくわからない状態だった	539 ( 1.47)	97 ( 18.0%)	46 ( 8.5%)	17 ( 3.2%)	35 ( 6.5%)	21 ( 3.9%)	8 ( 1.5%)	8 ( 1.5%)	7 ( 1.3%)
その他	219 ( 1.33)	41 ( 18.7%)	9 ( 4.1%)	4 ( 1.8%)	3 ( 1.4%)	6 ( 2.7%)	5 ( 2.3%)	2 ( 0.9%)	0 ( 0.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	35 ( 1.7%)	56 ( 2.7%)	371 ( 18.2%)	197 ( 9.7%)	283 ( 13.9%)	7 ( 0.3%)	617 ( 30.2%)	409 ( 20.0%)
相手から、身体的な暴力をふるわれた	7 ( 3.2%)	5 ( 2.3%)	41 ( 18.6%)	23 ( 10.5%)	31 ( 14.1%)	1 ( 0.5%)	36 ( 16.4%)	47 ( 21.4%)
相手から、おどされた	10 ( 3.7%)	13 ( 4.9%)	62 ( 23.1%)	23 ( 8.6%)	33 ( 12.3%)	0 ( 0.0%)	46 ( 17.2%)	67 ( 25.0%)
インターネットやSNSで相手から、おどされた(暴言、周囲に言いふらす、画像のばらまきなど)	7 ( 3.1%)	14 ( 6.3%)	43 ( 19.3%)	17 ( 7.6%)	28 ( 12.6%)	0 ( 0.0%)	46 ( 20.6%)	40 ( 17.9%)
相手から、「何もしない」「変なことまじない」「乱暴しない」などとだまされた	7 ( 2.8%)	11 ( 4.5%)	60 ( 24.4%)	33 ( 13.4%)	43 ( 17.5%)	2 ( 0.8%)	55 ( 22.4%)	42 ( 17.1%)
相手から、不意をつかれ、突然に襲いかかられた	6 ( 1.6%)	11 ( 2.9%)	87 ( 23.2%)	47 ( 12.5%)	70 ( 18.7%)	0 ( 0.0%)	104 ( 27.7%)	63 ( 16.8%)
相手が、複数人であった	9 ( 5.9%)	6 ( 3.9%)	31 ( 20.3%)	16 ( 10.5%)	26 ( 17.0%)	1 ( 0.7%)	38 ( 24.8%)	30 ( 19.6%)
飲酒により意識がなかった・もうろうとしていた	5 ( 6.2%)	3 ( 3.7%)	14 ( 17.3%)	9 ( 11.1%)	18 ( 22.2%)	0 ( 0.0%)	12 ( 14.8%)	14 ( 17.3%)
薬物などにより意識がなかった・もうろうとしていた(レイプドラッグ)	2 ( 10.5%)	0 ( 0.0%)	1 ( 5.3%)	2 ( 10.5%)	5 ( 26.3%)	0 ( 0.0%)	2 ( 10.5%)	3 ( 15.8%)
相手との関係性(相手との関係が壊れる、仕事への影響など)から拒否できなかった(セクシュアルハラスメント)	11 ( 4.7%)	8 ( 3.4%)	64 ( 27.5%)	34 ( 14.6%)	58 ( 24.9%)	1 ( 0.4%)	52 ( 22.3%)	37 ( 15.9%)
驚きや混乱、恐怖などで体が動かなかった	12 ( 3.5%)	8 ( 2.3%)	102 ( 29.8%)	47 ( 13.7%)	71 ( 20.8%)	1 ( 0.3%)	80 ( 23.4%)	61 ( 17.8%)
相手をたたき、ひっかくなどによる身体的な抵抗をした	1 ( 1.3%)	1 ( 1.3%)	25 ( 31.3%)	14 ( 17.5%)	19 ( 23.8%)	0 ( 0.0%)	18 ( 22.5%)	17 ( 21.3%)
泣く、叫ぶ、相手に抗議する、説得するなどの言葉による抵抗をした	4 ( 3.0%)	3 ( 2.3%)	34 ( 25.6%)	17 ( 12.8%)	31 ( 23.3%)	1 ( 0.8%)	23 ( 17.3%)	31 ( 23.3%)
相手が、親切に相談に乗ってくれるなど優しくしてくれた	4 ( 3.7%)	9 ( 8.4%)	29 ( 27.1%)	11 ( 10.3%)	20 ( 18.7%)	0 ( 0.0%)	16 ( 15.0%)	24 ( 22.4%)
電車内で逃れられなかった(痴漢)	4 ( 1.4%)	7 ( 2.4%)	75 ( 26.0%)	38 ( 13.1%)	61 ( 21.1%)	1 ( 0.3%)	82 ( 28.4%)	49 ( 17.0%)
「モデル・アイドルになりませんか」と声をかけられ、その後、聞いていない・同意していない性的な行為や、行為中の写真・動画の撮影を要求され、拒否できなかった(AV出演強要)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)	4 ( 33.3%)	0 ( 0.0%)	2 ( 16.7%)	2 ( 16.7%)
アルバイトへの応募をしたところ、約束していない性的な行為を要求され、拒否できなかった(JKビジネス)	1 ( 6.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 6.3%)	2 ( 12.5%)	0 ( 0.0%)	3 ( 18.8%)	3 ( 18.8%)
お金・お小遣いを援助してあげると言われたり(ひき活・援助交際)	3 ( 4.2%)	2 ( 2.8%)	13 ( 18.3%)	7 ( 9.9%)	14 ( 19.7%)	0 ( 0.0%)	19 ( 26.8%)	15 ( 21.1%)
自分に行われていることがよくわからない状態だった	11 ( 2.0%)	14 ( 2.6%)	89 ( 16.5%)	56 ( 10.4%)	73 ( 13.5%)	2 ( 0.4%)	174 ( 32.3%)	137 ( 25.4%)
その他	3 ( 1.4%)	6 ( 2.7%)	28 ( 12.8%)	20 ( 9.1%)	25 ( 11.4%)	3 ( 1.4%)	103 ( 47.0%)	34 ( 15.5%)

## B.被害の継続期間

図表 90 被害の継続期間別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 ( 1.82)	741 ( 36.3%)	328 ( 16.1%)	148 ( 7.3%)	155 ( 7.6%)	175 ( 8.6%)	49 ( 2.4%)	42 ( 2.1%)	25 ( 1.2%)
1回限り	1241 ( 1.73)	446 ( 35.9%)	181 ( 14.6%)	68 ( 5.5%)	84 ( 6.8%)	103 ( 8.3%)	21 ( 1.7%)	20 ( 1.6%)	8 ( 0.6%)
1週間未満	151 ( 2.01)	64 ( 42.4%)	29 ( 19.2%)	18 ( 11.9%)	16 ( 10.6%)	19 ( 12.6%)	8 ( 5.3%)	7 ( 4.6%)	3 ( 2.0%)
1週間以上1か月未満	108 ( 1.91)	43 ( 39.8%)	21 ( 19.4%)	10 ( 9.3%)	11 ( 10.2%)	8 ( 7.4%)	4 ( 3.7%)	1 ( 0.9%)	3 ( 2.8%)
1か月以上半年未満	122 ( 2.12)	49 ( 40.2%)	28 ( 23.0%)	13 ( 10.7%)	16 ( 13.1%)	10 ( 8.2%)	3 ( 2.5%)	7 ( 5.7%)	3 ( 2.5%)
半年以上1年未満	120 ( 2.10)	50 ( 41.7%)	21 ( 17.5%)	19 ( 15.8%)	10 ( 8.3%)	10 ( 8.3%)	6 ( 5.0%)	2 ( 1.7%)	1 ( 0.8%)
1年以上3年未満	99 ( 1.87)	33 ( 33.3%)	18 ( 18.2%)	10 ( 10.1%)	8 ( 8.1%)	8 ( 8.1%)	2 ( 2.0%)	1 ( 1.0%)	3 ( 3.0%)
3年以上	61 ( 1.84)	18 ( 29.5%)	11 ( 18.0%)	2 ( 3.3%)	3 ( 4.9%)	5 ( 8.2%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.6%)	1 ( 1.6%)
現在も継続中	109 ( 1.88)	31 ( 28.4%)	14 ( 12.8%)	7 ( 6.4%)	5 ( 4.6%)	10 ( 9.2%)	4 ( 3.7%)	3 ( 2.8%)	3 ( 2.8%)
その他	29 ( 1.59)	7 ( 24.1%)	5 ( 17.2%)	1 ( 3.4%)	2 ( 6.9%)	2 ( 6.9%)	1 ( 3.4%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	42 ( 2.1%)	75 ( 3.7%)	527 ( 25.8%)	285 ( 14.0%)	347 ( 17.0%)	10 ( 0.5%)	379 ( 18.6%)	388 ( 19.0%)
1回限り	16 ( 1.3%)	42 ( 3.4%)	287 ( 23.1%)	162 ( 13.1%)	204 ( 16.4%)	6 ( 0.5%)	281 ( 22.6%)	219 ( 17.6%)
1週間未満	6 ( 4.0%)	3 ( 2.0%)	33 ( 21.9%)	24 ( 15.9%)	26 ( 17.2%)	0 ( 0.0%)	18 ( 11.9%)	29 ( 19.2%)
1週間以上1か月未満	3 ( 2.8%)	6 ( 5.6%)	38 ( 35.2%)	13 ( 12.0%)	19 ( 17.6%)	0 ( 0.0%)	12 ( 11.1%)	14 ( 13.0%)
1か月以上半年未満	2 ( 1.6%)	4 ( 3.3%)	41 ( 33.6%)	23 ( 18.9%)	23 ( 18.9%)	0 ( 0.0%)	18 ( 14.8%)	19 ( 15.6%)
半年以上1年未満	5 ( 4.2%)	7 ( 5.8%)	43 ( 35.8%)	21 ( 17.5%)	22 ( 18.3%)	2 ( 1.7%)	15 ( 12.5%)	18 ( 15.0%)
1年以上3年未満	1 ( 1.0%)	4 ( 4.0%)	36 ( 36.4%)	11 ( 11.1%)	15 ( 15.2%)	0 ( 0.0%)	13 ( 13.1%)	22 ( 22.2%)
3年以上	3 ( 4.9%)	3 ( 4.9%)	19 ( 31.1%)	11 ( 18.0%)	12 ( 19.7%)	1 ( 1.6%)	5 ( 8.2%)	17 ( 27.9%)
現在も継続中	6 ( 5.5%)	6 ( 5.5%)	26 ( 23.9%)	19 ( 17.4%)	21 ( 19.3%)	0 ( 0.0%)	10 ( 9.2%)	40 ( 36.7%)
その他	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 13.8%)	1 ( 3.4%)	5 ( 17.2%)	1 ( 3.4%)	7 ( 24.1%)	10 ( 34.5%)

図表 9 1 被害の継続期間別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続きの手助け、付き添い
全体	2040 ( 1.4%)	415 ( 20.3%)	183 ( 9.0%)	92 ( 4.5%)	98 ( 4.8%)	89 ( 4.4%)	36 ( 1.8%)	40 ( 2.0%)	27 ( 1.3%)
1回限り	1241 ( 1.4%)	223 ( 18.0%)	94 ( 7.6%)	43 ( 3.5%)	52 ( 4.2%)	48 ( 3.9%)	15 ( 1.2%)	22 ( 1.8%)	9 ( 0.7%)
1週間未満	151 ( 1.4%)	37 ( 24.5%)	21 ( 13.9%)	9 ( 6.0%)	10 ( 6.6%)	7 ( 4.6%)	6 ( 4.0%)	6 ( 4.0%)	3 ( 2.0%)
1週間以上1か月未満	108 ( 1.4%)	31 ( 28.7%)	15 ( 13.9%)	8 ( 7.4%)	8 ( 7.4%)	3 ( 2.8%)	3 ( 2.8%)	4 ( 3.7%)	0 ( 0.0%)
1か月以上半年未満	122 ( 1.6%)	23 ( 18.9%)	19 ( 15.6%)	9 ( 7.4%)	11 ( 9.0%)	8 ( 6.6%)	4 ( 3.3%)	3 ( 2.5%)	2 ( 1.6%)
半年以上1年未満	120 ( 1.5%)	32 ( 26.7%)	8 ( 6.7%)	9 ( 7.5%)	5 ( 4.2%)	6 ( 5.0%)	2 ( 1.7%)	2 ( 1.7%)	5 ( 4.2%)
1年以上3年未満	99 ( 1.4%)	21 ( 21.2%)	9 ( 9.1%)	6 ( 6.1%)	4 ( 4.0%)	5 ( 5.1%)	2 ( 2.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.0%)
3年以上	61 ( 1.4%)	16 ( 26.2%)	7 ( 11.5%)	1 ( 1.6%)	2 ( 3.3%)	3 ( 4.9%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 1.6%)
現在も継続中	109 ( 1.6%)	27 ( 24.8%)	9 ( 8.3%)	7 ( 6.4%)	4 ( 3.7%)	6 ( 5.5%)	4 ( 3.7%)	3 ( 2.8%)	6 ( 5.5%)
その他	29 ( 1.4%)	5 ( 17.2%)	1 ( 3.4%)	0 ( 0.0%)	2 ( 6.9%)	3 ( 10.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	35 ( 1.7%)	56 ( 2.7%)	371 ( 18.2%)	197 ( 9.7%)	283 ( 13.9%)	7 ( 0.3%)	617 ( 30.2%)	409 ( 20.0%)
1回限り	12 ( 1.0%)	32 ( 2.6%)	200 ( 16.1%)	113 ( 9.1%)	161 ( 13.0%)	3 ( 0.2%)	468 ( 37.7%)	240 ( 19.3%)
1週間未満	3 ( 2.0%)	3 ( 2.0%)	23 ( 15.2%)	15 ( 9.9%)	25 ( 16.6%)	0 ( 0.0%)	25 ( 16.6%)	32 ( 21.2%)
1週間以上1か月未満	2 ( 1.9%)	3 ( 2.8%)	18 ( 16.7%)	8 ( 7.4%)	13 ( 12.0%)	0 ( 0.0%)	21 ( 19.4%)	15 ( 13.9%)
1か月以上半年未満	1 ( 0.8%)	5 ( 4.1%)	34 ( 27.9%)	19 ( 15.6%)	20 ( 16.4%)	0 ( 0.0%)	24 ( 19.7%)	20 ( 16.4%)
半年以上1年未満	5 ( 4.2%)	2 ( 1.7%)	29 ( 24.2%)	13 ( 10.8%)	18 ( 15.0%)	2 ( 1.7%)	24 ( 20.0%)	21 ( 17.5%)
1年以上3年未満	3 ( 3.0%)	5 ( 5.1%)	27 ( 27.3%)	8 ( 8.1%)	13 ( 13.1%)	0 ( 0.0%)	24 ( 24.2%)	18 ( 18.2%)
3年以上	5 ( 8.2%)	1 ( 1.6%)	11 ( 18.0%)	5 ( 8.2%)	10 ( 16.4%)	1 ( 1.6%)	11 ( 18.0%)	15 ( 24.6%)
現在も継続中	4 ( 3.7%)	5 ( 4.6%)	25 ( 22.9%)	12 ( 11.0%)	17 ( 15.6%)	0 ( 0.0%)	11 ( 10.1%)	40 ( 36.7%)
その他	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 13.8%)	4 ( 13.8%)	6 ( 20.7%)	1 ( 3.4%)	9 ( 31.0%)	8 ( 27.6%)

## ②【必要な手助け・支援】性暴力被害の相談状況について

### A.性暴力被害の相談状況

図表 9 2 最初に相談した人・機関別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 ( 1.82)	741 ( 36.3%)	328 ( 16.1%)	148 ( 7.3%)	155 ( 7.6%)	175 ( 8.6%)	49 ( 2.4%)	42 ( 2.1%)	25 ( 1.2%)
家族や親戚	386 ( 1.9)	224 ( 58.0%)	78 ( 20.2%)	27 ( 7.0%)	47 ( 12.2%)	53 ( 13.7%)	12 ( 3.1%)	5 ( 1.3%)	3 ( 0.8%)
友人・知人	469 ( 2.10)	273 ( 58.2%)	107 ( 22.8%)	43 ( 9.2%)	41 ( 8.7%)	47 ( 10.0%)	11 ( 2.3%)	8 ( 1.7%)	8 ( 1.7%)
学校関係者(教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど)	75 ( 2.04)	40 ( 53.3%)	13 ( 17.3%)	12 ( 16.0%)	7 ( 9.3%)	10 ( 13.3%)	1 ( 1.3%)	4 ( 5.3%)	1 ( 1.3%)
職場・アルバイトの関係者(上司、同僚、部下、取引先など)	57 ( 2.28)	28 ( 49.1%)	16 ( 28.1%)	7 ( 12.3%)	8 ( 14.0%)	5 ( 8.8%)	3 ( 5.3%)	3 ( 5.3%)	2 ( 3.5%)
民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)	11 ( 2.27)	2 ( 18.2%)	2 ( 18.2%)	2 ( 18.2%)	1 ( 9.1%)	3 ( 27.3%)	1 ( 9.1%)	1 ( 9.1%)	1 ( 9.1%)
医療関係者(医師、看護師など)	6 ( 2.00)	3 ( 50.0%)	1 ( 16.7%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
性犯罪・性暴力被害者支援の専門相談窓口(いわゆるワンストップ支援センター)	4 ( 2.50)	2 ( 50.0%)	1 ( 25.0%)	1 ( 25.0%)	1 ( 25.0%)	2 ( 50.0%)	1 ( 25.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 25.0%)
性暴力に関するSNS相談(Cure time)	4 ( 1.75)	0 ( 0.0%)	1 ( 25.0%)	1 ( 25.0%)	2 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
被害者支援センター	3 ( 2.33)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 33.3%)	1 ( 33.3%)	2 ( 66.7%)	1 ( 33.3%)	1 ( 33.3%)	0 ( 0.0%)
配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所など)、男女共同参画センター	2 ( 3.00)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)
法務局・地方法務局、人権擁護委員	0	0	0	0	0	0	0	0	0
警察	29 ( 2.76)	20 ( 69.0%)	11 ( 37.9%)	5 ( 17.2%)	8 ( 27.6%)	10 ( 34.5%)	1 ( 3.4%)	2 ( 6.9%)	1 ( 3.4%)
上記以外の公的な機関(市役所など)	5 ( 2.20)	3 ( 60.0%)	1 ( 20.0%)	1 ( 20.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 40.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 20.0%)
その他	25 ( 2.56)	11 ( 44.0%)	6 ( 24.0%)	2 ( 8.0%)	1 ( 4.0%)	6 ( 24.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 4.0%)	0 ( 0.0%)
どこ(だれ)にも相談しなかった	964 ( 1.51)	135 ( 14.0%)	91 ( 9.4%)	45 ( 4.7%)	38 ( 3.9%)	35 ( 3.6%)	17 ( 1.8%)	16 ( 1.7%)	7 ( 0.7%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支援	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	42 ( 2.1%)	75 ( 3.7%)	527 ( 25.8%)	285 ( 14.0%)	347 ( 17.0%)	10 ( 0.5%)	379 ( 18.6%)	388 ( 19.0%)
家族や親戚	13 ( 3.4%)	9 ( 2.3%)	106 ( 27.5%)	57 ( 14.8%)	66 ( 17.1%)	1 ( 0.3%)	34 ( 8.8%)	35 ( 9.1%)
友人・知人	8 ( 1.7%)	21 ( 4.5%)	169 ( 36.0%)	80 ( 17.1%)	79 ( 16.8%)	2 ( 0.4%)	55 ( 11.7%)	32 ( 6.8%)
学校関係者(教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど)	1 ( 1.3%)	5 ( 6.7%)	22 ( 29.3%)	16 ( 21.3%)	9 ( 12.0%)	0 ( 0.0%)	6 ( 8.0%)	6 ( 8.0%)
職場・アルバイトの関係者(上司、同僚、部下、取引先など)	3 ( 5.3%)	2 ( 3.5%)	23 ( 40.4%)	13 ( 22.8%)	7 ( 12.3%)	2 ( 3.5%)	4 ( 7.0%)	4 ( 7.0%)
民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)	3 ( 27.3%)	1 ( 9.1%)	3 ( 27.3%)	3 ( 27.3%)	2 ( 18.2%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
医療関係者(医師、看護師など)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 66.7%)	1 ( 16.7%)	2 ( 33.3%)	0 ( 0.0%)	1 ( 16.7%)	0 ( 0.0%)
性犯罪・性暴力被害者支援の専門相談窓口(いわゆるワンストップ支援センター)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 25.0%)
性暴力に関するSNS相談(Cure time)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 25.0%)	1 ( 25.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 25.0%)
被害者支援センター	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 33.3%)
配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所など)、男女共同参画センター	0 ( 0.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	1 ( 50.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
法務局・地方法務局、人権擁護委員	0	0	0	0	0	0	0	0
警察	3 ( 10.3%)	1 ( 3.4%)	9 ( 31.0%)	2 ( 6.9%)	5 ( 17.2%)	0 ( 0.0%)	1 ( 3.4%)	1 ( 3.4%)
上記以外の公的な機関(市役所など)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 20.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 20.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 20.0%)
その他	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	13 ( 52.0%)	8 ( 32.0%)	7 ( 28.0%)	1 ( 4.0%)	6 ( 24.0%)	2 ( 8.0%)
どこ(だれ)にも相談しなかった	11 ( 1.1%)	35 ( 3.6%)	176 ( 18.3%)	103 ( 10.7%)	168 ( 17.4%)	4 ( 0.4%)	272 ( 28.2%)	304 ( 31.5%)

図表 9 3 最初に相談した人・機関別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 ( 1.45)	415 ( 20.3%)	183 ( 9.0%)	92 ( 4.5%)	98 ( 4.8%)	89 ( 4.4%)	36 ( 1.8%)	40 ( 2.0%)	27 ( 1.3%)
家族や親戚	559 ( 1.51)	180 ( 32.2%)	68 ( 12.2%)	32 ( 5.7%)	36 ( 6.4%)	29 ( 5.2%)	13 ( 2.3%)	11 ( 2.0%)	12 ( 2.1%)
友人・知人	637 ( 1.63)	188 ( 29.5%)	77 ( 12.1%)	34 ( 5.3%)	40 ( 6.3%)	37 ( 5.8%)	11 ( 1.7%)	17 ( 2.7%)	9 ( 1.4%)
学校関係者(教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど)	231 ( 1.62)	65 ( 28.1%)	32 ( 13.9%)	23 ( 10.0%)	19 ( 8.2%)	14 ( 6.1%)	9 ( 3.9%)	10 ( 4.3%)	6 ( 2.6%)
職場・アルバイトの関係者(上司、同僚、部下、取引先など)	115 ( 1.63)	22 ( 19.1%)	16 ( 13.9%)	13 ( 11.3%)	10 ( 8.7%)	10 ( 8.7%)	7 ( 6.1%)	5 ( 4.3%)	4 ( 3.5%)
民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)	46 ( 1.95)	10 ( 21.7%)	12 ( 26.1%)	10 ( 21.7%)	5 ( 10.9%)	8 ( 17.4%)	3 ( 6.5%)	5 ( 10.9%)	3 ( 6.5%)
医療関係者(医師、看護師など)	34 ( 1.95)	8 ( 23.5%)	6 ( 17.6%)	3 ( 8.8%)	1 ( 2.9%)	3 ( 8.8%)	2 ( 5.9%)	2 ( 5.9%)	3 ( 8.8%)
性犯罪・性暴力被害者支援の専門相談窓口(いわゆるワンストップ支援センター)	24 ( 1.67)	4 ( 16.7%)	3 ( 12.5%)	2 ( 8.3%)	1 ( 4.2%)	4 ( 16.7%)	2 ( 8.3%)	4 ( 16.7%)	3 ( 12.5%)
性暴力に関するSNS相談(Cure time)	19 ( 1.79)	3 ( 15.8%)	4 ( 21.1%)	3 ( 15.8%)	3 ( 15.8%)	1 ( 5.3%)	2 ( 10.5%)	1 ( 5.3%)	1 ( 5.3%)
被害者支援センター	14 ( 1.86)	2 ( 14.3%)	3 ( 21.4%)	1 ( 7.1%)	3 ( 21.4%)	1 ( 7.1%)	1 ( 7.1%)	2 ( 14.3%)	1 ( 7.1%)
配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所など)、男女共同参画センター	10 ( 2.10)	1 ( 10.0%)	2 ( 20.0%)	3 ( 30.0%)	3 ( 30.0%)	1 ( 10.0%)	1 ( 10.0%)	2 ( 20.0%)	1 ( 10.0%)
法務局・地方法務局、人権擁護委員	11 ( 1.91)	3 ( 27.3%)	3 ( 27.3%)	2 ( 18.2%)	2 ( 18.2%)	1 ( 9.1%)	1 ( 9.1%)	2 ( 18.2%)	1 ( 9.1%)
警察	115 ( 1.65)	25 ( 21.7%)	13 ( 11.3%)	8 ( 7.0%)	12 ( 10.4%)	12 ( 10.4%)	5 ( 4.3%)	5 ( 4.3%)	5 ( 4.3%)
上記以外の公的な機関(市役所など)	15 ( 1.93)	3 ( 20.0%)	5 ( 33.3%)	3 ( 20.0%)	2 ( 13.3%)	1 ( 6.7%)	1 ( 6.7%)	2 ( 13.3%)	2 ( 13.3%)
その他	34 ( 1.79)	11 ( 32.4%)	4 ( 11.8%)	2 ( 5.9%)	0 ( 0.0%)	3 ( 8.8%)	1 ( 2.9%)	1 ( 2.9%)	0 ( 0.0%)
どこ(だれ)にも相談しなかった	964 ( 1.34)	99 ( 10.3%)	59 ( 6.1%)	26 ( 2.7%)	34 ( 3.5%)	31 ( 3.2%)	15 ( 1.6%)	15 ( 1.6%)	8 ( 0.8%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	35 ( 1.7%)	56 ( 2.7%)	371 ( 18.2%)	197 ( 9.7%)	283 ( 13.9%)	7 ( 0.3%)	617 ( 30.2%)	409 ( 20.0%)
家族や親戚	13 ( 2.3%)	14 ( 2.5%)	118 ( 21.1%)	49 ( 8.8%)	66 ( 11.8%)	4 ( 0.7%)	144 ( 25.8%)	55 ( 9.8%)
友人・知人	15 ( 2.4%)	19 ( 3.0%)	165 ( 25.9%)	82 ( 12.9%)	101 ( 15.9%)	3 ( 0.5%)	179 ( 28.1%)	61 ( 9.6%)
学校関係者(教員、養護教諭、スクールカウンセラーなど)	7 ( 3.0%)	6 ( 2.6%)	53 ( 22.9%)	24 ( 10.4%)	26 ( 11.3%)	0 ( 0.0%)	57 ( 24.7%)	24 ( 10.4%)
職場・アルバイトの関係者(上司、同僚、部下、取引先など)	4 ( 3.5%)	4 ( 3.5%)	27 ( 23.5%)	12 ( 10.4%)	19 ( 16.5%)	2 ( 1.7%)	20 ( 17.4%)	12 ( 10.4%)
民間の専門家や専門機関(弁護士・弁護士会、カウンセラー・カウンセリング機関、民間シェルターなど)	6 ( 13.0%)	3 ( 6.5%)	7 ( 15.2%)	5 ( 10.9%)	2 ( 4.3%)	0 ( 0.0%)	1 ( 2.2%)	5 ( 10.9%)
医療関係者(医師、看護師など)	6 ( 17.6%)	1 ( 2.9%)	11 ( 32.4%)	3 ( 8.8%)	6 ( 17.6%)	0 ( 0.0%)	2 ( 5.9%)	6 ( 17.6%)
性犯罪・性暴力被害者支援の専門相談窓口(いわゆるワンストップ支援センター)	2 ( 8.3%)	2 ( 8.3%)	3 ( 12.5%)	2 ( 8.3%)	3 ( 12.5%)	0 ( 0.0%)	3 ( 12.5%)	2 ( 8.3%)
性暴力に関するSNS相談(Cure time)	2 ( 10.5%)	2 ( 10.5%)	4 ( 21.1%)	2 ( 10.5%)	4 ( 21.1%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 10.5%)
被害者支援センター	1 ( 7.1%)	2 ( 14.3%)	1 ( 7.1%)	1 ( 7.1%)	2 ( 14.3%)	0 ( 0.0%)	1 ( 7.1%)	4 ( 28.6%)
配偶者暴力相談支援センター(婦人相談所など)、男女共同参画センター	1 ( 10.0%)	1 ( 10.0%)	1 ( 10.0%)	1 ( 10.0%)	1 ( 10.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 20.0%)
法務局・地方法務局、人権擁護委員	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 9.1%)	0 ( 0.0%)	1 ( 9.1%)	0 ( 0.0%)	2 ( 18.2%)	2 ( 18.2%)
警察	4 ( 3.5%)	2 ( 1.7%)	23 ( 20.0%)	9 ( 7.8%)	12 ( 10.4%)	1 ( 0.9%)	40 ( 34.8%)	14 ( 12.2%)
上記以外の公的な機関(市役所など)	1 ( 6.7%)	0 ( 0.0%)	1 ( 6.7%)	1 ( 6.7%)	2 ( 13.3%)	0 ( 0.0%)	2 ( 13.3%)	3 ( 20.0%)
その他	1 ( 2.9%)	1 ( 2.9%)	10 ( 29.4%)	6 ( 17.6%)	5 ( 14.7%)	0 ( 0.0%)	12 ( 35.3%)	4 ( 11.8%)
どこ(だれ)にも相談しなかった	7 ( 0.7%)	28 ( 2.9%)	127 ( 13.2%)	74 ( 7.7%)	135 ( 14.0%)	3 ( 0.3%)	332 ( 34.4%)	302 ( 31.3%)

B.相談までに要した期間

図表 9 4 相談までに要した期間別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	1076 ( 2.10)	606 ( 56.3%)	237 ( 22.0%)	103 ( 9.6%)	117 ( 10.9%)	140 ( 13.0%)	32 ( 3.0%)	26 ( 2.4%)	18 ( 1.7%)
その日のうち	460 ( 2.07)	301 ( 65.4%)	101 ( 22.0%)	38 ( 8.3%)	51 ( 11.1%)	78 ( 17.0%)	11 ( 2.4%)	5 ( 1.1%)	3 ( 0.7%)
翌日～3日	250 ( 2.10)	145 ( 58.0%)	53 ( 21.2%)	20 ( 8.0%)	26 ( 10.4%)	27 ( 10.8%)	7 ( 2.8%)	8 ( 3.2%)	7 ( 2.8%)
4日～1カ月未満	149 ( 2.03)	78 ( 52.3%)	29 ( 19.5%)	15 ( 10.1%)	15 ( 10.1%)	19 ( 12.8%)	6 ( 4.0%)	6 ( 4.0%)	2 ( 1.3%)
1カ月～1年未満	127 ( 2.30)	53 ( 41.7%)	30 ( 23.6%)	23 ( 18.1%)	15 ( 11.8%)	10 ( 7.9%)	5 ( 3.9%)	4 ( 3.1%)	4 ( 3.1%)
1年～5年未満	62 ( 2.03)	20 ( 32.3%)	17 ( 27.4%)	7 ( 11.3%)	7 ( 11.3%)	4 ( 6.5%)	3 ( 4.8%)	2 ( 3.2%)	2 ( 3.2%)
5年～10年未満	15 ( 1.87)	4 ( 26.7%)	4 ( 26.7%)	0 ( 0.0%)	2 ( 13.3%)	1 ( 6.7%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
10年以上	13 ( 2.54)	5 ( 38.5%)	3 ( 23.1%)	0 ( 0.0%)	1 ( 7.7%)	1 ( 7.7%)	0 ( 0.0%)	1 ( 7.7%)	0 ( 0.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支援	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	31 ( 2.9%)	40 ( 3.7%)	351 ( 32.6%)	182 ( 16.9%)	179 ( 16.6%)	6 ( 0.6%)	107 ( 9.9%)	84 ( 7.8%)
その日のうち	9 ( 2.0%)	11 ( 2.4%)	132 ( 28.7%)	65 ( 14.1%)	65 ( 14.1%)	2 ( 0.4%)	54 ( 11.7%)	26 ( 5.7%)
翌日～3日	7 ( 2.8%)	11 ( 4.4%)	91 ( 36.4%)	43 ( 17.2%)	37 ( 14.8%)	1 ( 0.4%)	18 ( 7.2%)	24 ( 9.6%)
4日～1カ月未満	5 ( 3.4%)	5 ( 3.4%)	47 ( 31.5%)	29 ( 19.5%)	25 ( 16.8%)	0 ( 0.0%)	11 ( 7.4%)	11 ( 7.4%)
1カ月～1年未満	6 ( 4.7%)	8 ( 6.3%)	51 ( 40.2%)	29 ( 22.8%)	31 ( 24.4%)	1 ( 0.8%)	15 ( 11.8%)	7 ( 5.5%)
1年～5年未満	1 ( 1.6%)	3 ( 4.8%)	19 ( 30.6%)	12 ( 19.4%)	15 ( 24.2%)	1 ( 1.6%)	7 ( 11.3%)	6 ( 9.7%)
5年～10年未満	1 ( 6.7%)	1 ( 6.7%)	6 ( 40.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 13.3%)	0 ( 0.0%)	2 ( 13.3%)	5 ( 33.3%)
10年以上	2 ( 15.4%)	1 ( 7.7%)	5 ( 38.5%)	4 ( 30.8%)	4 ( 30.8%)	1 ( 7.7%)	0 ( 0.0%)	5 ( 38.5%)

図表 95 相談までに要した期間別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け（付き添い）	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	1076 ( 1.54)	316 ( 29.4%)	124 ( 11.5%)	66 ( 6.1%)	64 ( 5.9%)	58 ( 5.4%)	21 ( 2.0%)	25 ( 2.3%)	19 ( 1.8%)
その日のうち	460 ( 1.47)	131 ( 28.5%)	48 ( 10.4%)	22 ( 4.8%)	25 ( 5.4%)	21 ( 4.6%)	9 ( 2.0%)	6 ( 1.3%)	6 ( 1.3%)
翌日～3日	250 ( 1.51)	80 ( 32.0%)	30 ( 12.0%)	14 ( 5.6%)	16 ( 6.4%)	13 ( 5.2%)	2 ( 0.8%)	7 ( 2.8%)	4 ( 1.6%)
4日～1カ月未満	149 ( 1.48)	40 ( 26.8%)	15 ( 10.1%)	10 ( 6.7%)	6 ( 4.0%)	9 ( 6.0%)	4 ( 2.7%)	6 ( 4.0%)	3 ( 2.0%)
1カ月～1年未満	127 ( 1.73)	29 ( 22.8%)	16 ( 12.6%)	14 ( 11.0%)	8 ( 6.3%)	9 ( 7.1%)	5 ( 3.9%)	4 ( 3.1%)	4 ( 3.1%)
1年～5年未満	62 ( 1.63)	22 ( 35.5%)	9 ( 14.5%)	5 ( 8.1%)	5 ( 8.1%)	3 ( 4.8%)	1 ( 1.6%)	1 ( 1.6%)	1 ( 1.6%)
5年～10年未満	15 ( 2.07)	6 ( 40.0%)	4 ( 26.7%)	0 ( 0.0%)	2 ( 13.3%)	1 ( 6.7%)	0 ( 0.0%)	1 ( 6.7%)	1 ( 6.7%)
10年以上	13 ( 2.77)	8 ( 61.5%)	2 ( 15.4%)	1 ( 7.7%)	2 ( 15.4%)	2 ( 15.4%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)

	生活全般の手伝い（食事・買物など身の回りのことを含む）や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支援	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	28 ( 2.6%)	28 ( 2.6%)	244 ( 22.7%)	123 ( 11.4%)	148 ( 13.8%)	4 ( 0.4%)	285 ( 26.5%)	107 ( 9.9%)
その日のうち	7 ( 1.5%)	10 ( 2.2%)	87 ( 18.9%)	43 ( 9.3%)	50 ( 10.9%)	2 ( 0.4%)	166 ( 36.1%)	41 ( 8.9%)
翌日～3日	5 ( 2.0%)	5 ( 2.0%)	54 ( 21.6%)	25 ( 10.0%)	33 ( 13.2%)	0 ( 0.0%)	63 ( 25.2%)	27 ( 10.8%)
4日～1カ月未満	4 ( 2.7%)	1 ( 0.7%)	38 ( 25.5%)	23 ( 15.4%)	22 ( 14.8%)	0 ( 0.0%)	21 ( 14.1%)	18 ( 12.1%)
1カ月～1年未満	9 ( 7.1%)	7 ( 5.5%)	37 ( 29.1%)	18 ( 14.2%)	28 ( 22.0%)	2 ( 1.6%)	23 ( 18.1%)	7 ( 5.5%)
1年～5年未満	0 ( 0.0%)	2 ( 3.2%)	16 ( 25.8%)	10 ( 16.1%)	10 ( 16.1%)	0 ( 0.0%)	9 ( 14.5%)	7 ( 11.3%)
5年～10年未満	1 ( 6.7%)	2 ( 13.3%)	5 ( 33.3%)	1 ( 6.7%)	1 ( 6.7%)	0 ( 0.0%)	3 ( 20.0%)	3 ( 20.0%)
10年以上	2 ( 15.4%)	1 ( 7.7%)	7 ( 53.8%)	3 ( 23.1%)	4 ( 30.8%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 30.8%)

### C.最初に相談した相手がとった言動

図表 96 最初に相談した相手がとった言動別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	1076 ( 2.10)	606 ( 56.3%)	237 ( 22.0%)	103 ( 9.6%)	117 ( 10.9%)	140 ( 13.0%)	32 ( 3.0%)	26 ( 2.4%)	18 ( 1.7%)
相手に働きかけてくれた	187 ( 2.18)	119 ( 63.6%)	46 ( 24.6%)	24 ( 12.8%)	22 ( 11.8%)	24 ( 12.8%)	8 ( 4.3%)	5 ( 2.7%)	5 ( 2.7%)
避難先や居場所を提供してくれた	72 ( 2.57)	41 ( 56.9%)	33 ( 45.8%)	18 ( 25.0%)	10 ( 13.9%)	17 ( 23.6%)	5 ( 6.9%)	1 ( 1.4%)	2 ( 2.8%)
一緒にいて、守ってくれた	277 ( 2.27)	168 ( 60.6%)	77 ( 27.8%)	43 ( 15.5%)	39 ( 14.1%)	35 ( 12.6%)	13 ( 4.7%)	5 ( 1.8%)	8 ( 2.9%)
取るべき行動を助言してくれた	273 ( 2.40)	160 ( 58.6%)	79 ( 28.9%)	29 ( 10.6%)	42 ( 15.4%)	41 ( 15.0%)	8 ( 2.9%)	8 ( 2.9%)	3 ( 1.1%)
あなたを慰めたり、励ましてくれた	420 ( 2.40)	278 ( 66.2%)	98 ( 23.3%)	46 ( 11.0%)	49 ( 11.7%)	54 ( 12.9%)	12 ( 2.9%)	11 ( 2.6%)	8 ( 1.9%)
話を聞いてくれた	645 ( 2.20)	395 ( 61.2%)	139 ( 21.6%)	46 ( 7.1%)	65 ( 10.1%)	73 ( 11.3%)	16 ( 2.5%)	15 ( 2.3%)	9 ( 1.4%)
わかってくれなかった	41 ( 2.80)	19 ( 46.3%)	15 ( 36.6%)	13 ( 31.7%)	5 ( 12.2%)	9 ( 22.0%)	6 ( 14.6%)	5 ( 12.2%)	2 ( 4.9%)
的外れな助言をされた	41 ( 2.73)	20 ( 48.8%)	12 ( 29.3%)	10 ( 24.4%)	4 ( 9.8%)	11 ( 26.8%)	3 ( 7.3%)	1 ( 2.4%)	0 ( 0.0%)
あなたを非難した	32 ( 2.88)	17 ( 53.1%)	10 ( 31.3%)	4 ( 12.5%)	7 ( 21.9%)	6 ( 18.8%)	1 ( 3.1%)	2 ( 6.3%)	0 ( 0.0%)
何もしてくれなかった	61 ( 2.11)	24 ( 39.3%)	10 ( 16.4%)	9 ( 14.8%)	7 ( 11.5%)	14 ( 23.0%)	4 ( 6.6%)	5 ( 8.2%)	1 ( 1.6%)
その他	33 ( 2.27)	15 ( 45.5%)	7 ( 21.2%)	3 ( 9.1%)	2 ( 6.1%)	8 ( 24.2%)	2 ( 6.1%)	0 ( 0.0%)	2 ( 6.1%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支援	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	31 ( 2.9%)	40 ( 3.7%)	351 ( 32.6%)	182 ( 16.9%)	179 ( 16.6%)	6 ( 0.6%)	107 ( 9.9%)	84 ( 7.8%)
相手に働きかけてくれた	9 ( 4.8%)	11 ( 5.9%)	53 ( 28.3%)	30 ( 16.0%)	24 ( 12.8%)	2 ( 1.1%)	12 ( 6.4%)	14 ( 7.5%)
避難先や居場所を提供してくれた	4 ( 5.6%)	2 ( 2.8%)	23 ( 31.9%)	14 ( 19.4%)	10 ( 13.9%)	0 ( 0.0%)	3 ( 4.2%)	2 ( 2.8%)
一緒にいて、守ってくれた	7 ( 2.5%)	11 ( 4.0%)	95 ( 34.3%)	50 ( 18.1%)	45 ( 16.2%)	3 ( 1.1%)	20 ( 7.2%)	11 ( 4.0%)
取るべき行動を助言してくれた	10 ( 3.7%)	15 ( 5.5%)	103 ( 37.7%)	62 ( 22.7%)	50 ( 18.3%)	1 ( 0.4%)	24 ( 8.8%)	20 ( 7.3%)
あなたを慰めたり、励ましてくれた	13 ( 3.1%)	18 ( 4.3%)	192 ( 45.7%)	91 ( 21.7%)	82 ( 19.5%)	2 ( 0.5%)	25 ( 6.0%)	29 ( 6.9%)
話を聞いてくれた	17 ( 2.6%)	23 ( 3.6%)	256 ( 39.7%)	118 ( 18.3%)	124 ( 19.2%)	6 ( 0.9%)	70 ( 10.9%)	45 ( 7.0%)
わかってくれなかった	4 ( 9.8%)	1 ( 2.4%)	17 ( 41.5%)	8 ( 19.5%)	7 ( 17.1%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 9.8%)
的外れな助言をされた	4 ( 9.8%)	3 ( 7.3%)	19 ( 46.3%)	12 ( 29.3%)	8 ( 19.5%)	1 ( 2.4%)	0 ( 0.0%)	4 ( 9.8%)
あなたを非難した	4 ( 12.5%)	2 ( 6.3%)	15 ( 46.9%)	7 ( 21.9%)	10 ( 31.3%)	1 ( 3.1%)	1 ( 3.1%)	5 ( 15.6%)
何もしてくれなかった	4 ( 6.6%)	3 ( 4.9%)	12 ( 19.7%)	8 ( 13.1%)	9 ( 14.8%)	0 ( 0.0%)	6 ( 9.8%)	13 ( 21.3%)
その他	1 ( 3.0%)	0 ( 0.0%)	13 ( 39.4%)	6 ( 18.2%)	3 ( 9.1%)	0 ( 0.0%)	8 ( 24.2%)	5 ( 15.2%)

図表 97 最初に相談した相手がとった言動別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避難案の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続きの手助け、付き添い
全体	1076 ( 1.54)	316 ( 29.4%)	124 ( 11.5%)	66 ( 6.1%)	64 ( 5.9%)	58 ( 5.4%)	21 ( 2.0%)	25 ( 2.3%)	19 ( 1.8%)
相手に働きかけてくれた	187 ( 1.70)	66 ( 35.3%)	27 ( 14.4%)	17 ( 9.1%)	17 ( 9.1%)	11 ( 5.9%)	7 ( 3.7%)	8 ( 4.3%)	7 ( 3.7%)
避難先や居場所を提供してくれた	72 ( 1.83)	19 ( 26.4%)	16 ( 22.2%)	9 ( 12.5%)	7 ( 9.7%)	8 ( 11.1%)	3 ( 4.2%)	3 ( 4.2%)	4 ( 5.6%)
一緒にいて、守ってくれた	277 ( 1.68)	86 ( 31.0%)	43 ( 15.5%)	30 ( 10.8%)	22 ( 7.9%)	21 ( 7.6%)	9 ( 3.2%)	7 ( 2.5%)	5 ( 1.8%)
取るべき行動を助言してくれた	273 ( 1.70)	79 ( 28.9%)	37 ( 13.6%)	20 ( 7.3%)	24 ( 8.8%)	13 ( 4.8%)	5 ( 1.8%)	10 ( 3.7%)	3 ( 1.1%)
あなたを慰めたり、励ましてくれた	420 ( 1.70)	134 ( 31.9%)	47 ( 11.2%)	23 ( 5.5%)	28 ( 6.7%)	24 ( 5.7%)	10 ( 2.4%)	13 ( 3.1%)	8 ( 1.9%)
話を聞いてくれた	645 ( 1.60)	198 ( 30.7%)	71 ( 11.0%)	23 ( 3.6%)	34 ( 5.3%)	29 ( 4.5%)	11 ( 1.7%)	14 ( 2.2%)	10 ( 1.6%)
わかってくれなかった	41 ( 1.90)	9 ( 22.0%)	6 ( 14.6%)	7 ( 17.1%)	3 ( 7.3%)	2 ( 4.9%)	2 ( 4.9%)	3 ( 7.3%)	2 ( 4.9%)
的外れな助言をされた	41 ( 2.05)	14 ( 34.1%)	9 ( 22.0%)	7 ( 17.1%)	3 ( 7.3%)	6 ( 14.6%)	1 ( 2.4%)	1 ( 2.4%)	0 ( 0.0%)
あなたを非難した	32 ( 2.03)	9 ( 28.1%)	5 ( 15.6%)	1 ( 3.1%)	7 ( 21.9%)	2 ( 6.3%)	2 ( 6.3%)	2 ( 6.3%)	0 ( 0.0%)
何もしてくれなかった	61 ( 1.51)	8 ( 13.1%)	9 ( 14.8%)	5 ( 8.2%)	4 ( 6.6%)	3 ( 4.9%)	2 ( 3.3%)	2 ( 3.3%)	2 ( 3.3%)
その他	33 ( 1.39)	4 ( 12.1%)	1 ( 3.0%)	1 ( 3.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 3.0%)	1 ( 3.0%)	1 ( 3.0%)	0 ( 0.0%)

	生活全般の手伝い、食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	28 ( 2.6%)	28 ( 2.6%)	244 ( 22.7%)	123 ( 11.4%)	148 ( 13.8%)	4 ( 0.4%)	285 ( 26.5%)	107 ( 9.9%)
相手に働きかけてくれた	9 ( 4.8%)	7 ( 3.7%)	48 ( 25.7%)	21 ( 11.2%)	24 ( 12.8%)	2 ( 1.1%)	29 ( 15.5%)	18 ( 9.6%)
避難先や居場所を提供してくれた	4 ( 5.6%)	3 ( 4.2%)	19 ( 26.4%)	12 ( 16.7%)	10 ( 13.9%)	0 ( 0.0%)	12 ( 16.7%)	3 ( 4.2%)
一緒にいて、守ってくれた	8 ( 2.9%)	7 ( 2.5%)	73 ( 26.4%)	35 ( 12.6%)	45 ( 16.2%)	1 ( 0.4%)	58 ( 20.9%)	16 ( 5.8%)
取るべき行動を助言してくれた	8 ( 2.9%)	14 ( 5.1%)	76 ( 27.8%)	39 ( 14.3%)	36 ( 13.2%)	1 ( 0.4%)	77 ( 28.2%)	21 ( 7.7%)
あなたを慰めたり、励ましてくれた	10 ( 2.4%)	17 ( 4.0%)	130 ( 31.0%)	56 ( 13.3%)	64 ( 15.2%)	1 ( 0.2%)	111 ( 26.4%)	36 ( 8.6%)
話を聞いてくれた	14 ( 2.2%)	19 ( 2.9%)	176 ( 27.3%)	82 ( 12.7%)	99 ( 15.3%)	4 ( 0.6%)	194 ( 30.1%)	55 ( 8.5%)
わかってくれなかった	4 ( 9.8%)	1 ( 2.4%)	13 ( 31.7%)	9 ( 22.0%)	10 ( 24.4%)	0 ( 0.0%)	2 ( 4.9%)	5 ( 12.2%)
的外れな助言をされた	3 ( 7.3%)	2 ( 4.9%)	15 ( 36.6%)	8 ( 19.5%)	7 ( 17.1%)	1 ( 2.4%)	3 ( 7.3%)	4 ( 9.8%)
あなたを非難した	2 ( 6.3%)	0 ( 0.0%)	10 ( 31.3%)	8 ( 25.0%)	7 ( 21.9%)	1 ( 3.1%)	4 ( 12.5%)	5 ( 15.6%)
何もしてくれなかった	3 ( 4.9%)	1 ( 1.6%)	9 ( 14.9%)	5 ( 8.2%)	12 ( 19.7%)	0 ( 0.0%)	11 ( 18.0%)	16 ( 26.2%)
その他	1 ( 3.0%)	1 ( 3.0%)	6 ( 18.2%)	4 ( 12.1%)	4 ( 12.1%)	0 ( 0.0%)	14 ( 42.4%)	7 ( 21.2%)

## D.相談しなかった理由

図表 98 相談しなかった理由別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	964 ( 1.51)	135 ( 14.0%)	91 ( 9.4%)	45 ( 4.7%)	38 ( 3.9%)	35 ( 3.6%)	17 ( 1.8%)	16 ( 1.7%)	7 ( 0.7%)
どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから	248 ( 1.69)	45 ( 18.1%)	30 ( 12.1%)	15 ( 6.0%)	15 ( 6.0%)	15 ( 6.0%)	8 ( 3.2%)	2 ( 0.8%)	2 ( 0.8%)
恥ずかしくてだれにも言えなかったから	347 ( 1.74)	56 ( 16.1%)	48 ( 13.8%)	25 ( 7.2%)	24 ( 6.9%)	23 ( 6.6%)	8 ( 2.3%)	10 ( 2.9%)	3 ( 0.9%)
相談してもむだだと思ったから	275 ( 1.64)	41 ( 14.9%)	34 ( 12.4%)	10 ( 3.6%)	14 ( 5.1%)	10 ( 3.6%)	5 ( 1.8%)	7 ( 2.5%)	2 ( 0.7%)
相談するまでのことではないと思ったから	310 ( 1.64)	43 ( 13.9%)	37 ( 11.9%)	15 ( 4.8%)	13 ( 4.2%)	13 ( 4.2%)	5 ( 1.6%)	5 ( 1.6%)	4 ( 1.3%)
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	28 ( 1.75)	4 ( 14.3%)	5 ( 17.9%)	2 ( 7.1%)	0 ( 0.0%)	1 ( 3.6%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	122 ( 1.99)	20 ( 16.4%)	24 ( 19.7%)	14 ( 11.5%)	7 ( 5.7%)	6 ( 4.9%)	2 ( 1.6%)	5 ( 4.1%)	1 ( 0.8%)
自分にも悪いところがあると思ったから	97 ( 1.74)	9 ( 9.3%)	11 ( 11.3%)	8 ( 8.2%)	6 ( 6.2%)	6 ( 6.2%)	3 ( 3.1%)	1 ( 1.0%)	2 ( 2.1%)
そのことについて思い出しにくかったから	133 ( 2.08)	18 ( 13.5%)	21 ( 15.8%)	10 ( 7.5%)	13 ( 9.8%)	17 ( 12.8%)	5 ( 3.8%)	6 ( 4.5%)	2 ( 1.5%)
仕返しが怖かったから(もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまき など)	42 ( 2.26)	10 ( 23.8%)	14 ( 33.3%)	9 ( 21.4%)	2 ( 4.8%)	5 ( 11.9%)	1 ( 2.4%)	1 ( 2.4%)	0 ( 0.0%)
加害者に「謝りも言わない」とおどされたから	12 ( 2.08)	4 ( 33.3%)	2 ( 16.7%)	1 ( 8.3%)	2 ( 16.7%)	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
世間体悪いと思ったから	53 ( 2.08)	9 ( 17.0%)	10 ( 18.9%)	2 ( 3.8%)	3 ( 5.7%)	6 ( 11.3%)	4 ( 7.5%)	2 ( 3.8%)	1 ( 1.9%)
他人を巻き込みたくなかったから	65 ( 1.75)	10 ( 15.4%)	7 ( 10.8%)	3 ( 4.6%)	0 ( 0.0%)	7 ( 10.8%)	1 ( 1.5%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
他人に知られると、これまで通りのつき合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから	59 ( 2.03)	10 ( 16.9%)	10 ( 16.9%)	4 ( 6.8%)	4 ( 6.8%)	8 ( 13.6%)	3 ( 5.1%)	1 ( 1.7%)	1 ( 1.7%)
相手の行為は愛情表現だと思ったから	19 ( 1.74)	1 ( 5.3%)	2 ( 10.5%)	1 ( 5.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかったから	24 ( 1.63)	2 ( 8.3%)	4 ( 16.7%)	0 ( 0.0%)	1 ( 4.2%)	1 ( 4.2%)	1 ( 4.2%)	2 ( 8.3%)	0 ( 0.0%)
誰にも知られたくなかったから、心配させたくなかったから	145 ( 1.80)	20 ( 13.8%)	16 ( 11.0%)	10 ( 6.9%)	10 ( 6.9%)	11 ( 7.6%)	5 ( 3.4%)	4 ( 2.8%)	0 ( 0.0%)
被害かどうかわからなかったから	169 ( 1.70)	23 ( 13.6%)	17 ( 10.1%)	7 ( 4.1%)	8 ( 4.7%)	10 ( 5.9%)	5 ( 3.0%)	4 ( 2.4%)	0 ( 0.0%)
低年齢であったため、相談するということが思い浮かばなかったから	122 ( 1.56)	21 ( 17.2%)	10 ( 8.2%)	1 ( 0.8%)	6 ( 4.9%)	4 ( 3.3%)	1 ( 0.8%)	4 ( 3.3%)	2 ( 1.6%)
その他	21 ( 1.57)	4 ( 19.0%)	2 ( 9.5%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 4.8%)	0 ( 0.0%)	2 ( 9.5%)	0 ( 0.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	11 ( 1.1%)	35 ( 3.6%)	176 ( 18.3%)	103 ( 10.7%)	168 ( 17.4%)	4 ( 0.4%)	272 ( 28.2%)	304 ( 31.5%)
どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから	4 ( 1.6%)	13 ( 5.2%)	58 ( 23.4%)	36 ( 14.5%)	40 ( 16.1%)	0 ( 0.0%)	39 ( 15.7%)	96 ( 38.7%)
恥ずかしくてだれにも言えなかったから	3 ( 0.9%)	20 ( 5.8%)	78 ( 22.5%)	51 ( 14.7%)	80 ( 23.1%)	2 ( 0.6%)	69 ( 19.9%)	105 ( 30.3%)
相談してもむだだと思ったから	5 ( 1.8%)	6 ( 2.2%)	64 ( 23.3%)	36 ( 13.1%)	61 ( 22.2%)	0 ( 0.0%)	62 ( 22.5%)	94 ( 34.2%)
相談するほどのことではないと思ったから	5 ( 1.6%)	12 ( 3.9%)	64 ( 20.6%)	38 ( 12.3%)	66 ( 21.3%)	2 ( 0.6%)	116 ( 37.4%)	70 ( 22.6%)
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	1 ( 3.6%)	0 ( 0.0%)	10 ( 35.7%)	5 ( 17.9%)	7 ( 25.0%)	0 ( 0.0%)	3 ( 10.7%)	11 ( 39.3%)
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	5 ( 4.1%)	7 ( 5.7%)	41 ( 33.6%)	24 ( 19.7%)	33 ( 27.0%)	0 ( 0.0%)	20 ( 16.4%)	34 ( 27.9%)
自分にも悪いところがあると思ったから	1 ( 1.0%)	9 ( 9.3%)	25 ( 25.8%)	15 ( 15.5%)	24 ( 24.7%)	0 ( 0.0%)	26 ( 26.8%)	23 ( 23.7%)
そのことについて思い出しにくかったから	3 ( 2.3%)	9 ( 6.8%)	39 ( 29.3%)	30 ( 22.6%)	39 ( 29.3%)	1 ( 0.8%)	17 ( 12.8%)	47 ( 35.3%)
仕返しが怖かったから(もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど)	2 ( 4.8%)	4 ( 9.5%)	17 ( 40.5%)	5 ( 11.9%)	9 ( 21.4%)	0 ( 0.0%)	3 ( 7.1%)	13 ( 31.0%)
加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	0 ( 0.0%)	1 ( 8.3%)	6 ( 50.0%)	1 ( 8.3%)	2 ( 16.7%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	4 ( 33.3%)
世間体悪いと思ったから	1 ( 1.9%)	4 ( 7.5%)	14 ( 26.4%)	13 ( 24.5%)	17 ( 32.1%)	0 ( 0.0%)	11 ( 20.8%)	13 ( 24.5%)
他人を巻き込みたくなかったから	1 ( 1.5%)	4 ( 6.2%)	19 ( 29.2%)	10 ( 15.4%)	18 ( 27.7%)	0 ( 0.0%)	16 ( 24.6%)	18 ( 27.7%)
他人に知られると、これまで通りの付き合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから	0 ( 0.0%)	4 ( 6.8%)	19 ( 32.2%)	11 ( 18.6%)	17 ( 28.8%)	1 ( 1.7%)	15 ( 25.4%)	12 ( 20.3%)
相手の行為は愛情表現だと思ったから	0 ( 0.0%)	2 ( 10.5%)	7 ( 36.8%)	3 ( 15.8%)	7 ( 36.8%)	0 ( 0.0%)	4 ( 21.1%)	6 ( 31.6%)
相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかったから	1 ( 4.2%)	0 ( 0.0%)	4 ( 16.7%)	2 ( 8.3%)	6 ( 25.0%)	1 ( 4.2%)	4 ( 16.7%)	10 ( 41.7%)
誰にも知られたくなかったから、心配させたくなかったから	1 ( 0.7%)	9 ( 6.2%)	35 ( 24.1%)	25 ( 17.2%)	50 ( 34.5%)	0 ( 0.0%)	23 ( 15.9%)	42 ( 29.0%)
被害かどうかわからなかったから	4 ( 2.4%)	5 ( 3.0%)	34 ( 20.1%)	25 ( 14.8%)	42 ( 24.9%)	1 ( 0.6%)	51 ( 30.2%)	52 ( 30.8%)
低年齢であったため、相談するというのが思い浮かばなかったから	0 ( 0.0%)	3 ( 2.5%)	21 ( 17.2%)	14 ( 11.5%)	21 ( 17.2%)	2 ( 1.6%)	33 ( 27.0%)	47 ( 38.5%)
その他	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	2 ( 9.5%)	3 ( 14.3%)	4 ( 19.0%)	1 ( 4.8%)	9 ( 42.9%)	5 ( 23.8%)

図表 99 相談しなかった理由別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	964 ( 1.34)	99 ( 10.3%)	59 ( 6.1%)	26 ( 2.7%)	34 ( 3.5%)	31 ( 3.2%)	15 ( 1.6%)	15 ( 1.6%)	8 ( 0.8%)
どこ(だれ)にも相談してよいかわからなかったから	248 ( 1.44)	37 ( 14.9%)	22 ( 8.9%)	7 ( 2.8%)	12 ( 4.8%)	12 ( 4.8%)	4 ( 1.6%)	6 ( 2.4%)	1 ( 0.4%)
恥ずかしくてだれにも言えなかったから	347 ( 1.50)	49 ( 14.1%)	30 ( 8.6%)	14 ( 4.0%)	19 ( 5.5%)	13 ( 3.7%)	10 ( 2.9%)	7 ( 2.0%)	4 ( 1.2%)
相談してもむだだと思ったから	275 ( 1.43)	23 ( 8.4%)	21 ( 7.6%)	9 ( 3.3%)	13 ( 4.7%)	10 ( 3.6%)	6 ( 2.2%)	2 ( 0.7%)	2 ( 0.7%)
相談するまでのことではないと思ったから	310 ( 1.40)	23 ( 7.4%)	16 ( 5.2%)	10 ( 3.2%)	17 ( 5.5%)	12 ( 3.9%)	6 ( 1.9%)	4 ( 1.3%)	4 ( 1.3%)
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	28 ( 1.75)	4 ( 14.3%)	4 ( 14.3%)	2 ( 7.1%)	3 ( 10.7%)	2 ( 7.1%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	122 ( 1.61)	16 ( 13.1%)	11 ( 9.0%)	5 ( 4.1%)	10 ( 8.2%)	6 ( 4.9%)	4 ( 3.3%)	4 ( 3.3%)	1 ( 0.8%)
自分にも悪いところがあると思ったから	97 ( 1.53)	10 ( 10.3%)	7 ( 7.2%)	2 ( 2.1%)	3 ( 3.1%)	4 ( 4.1%)	2 ( 2.1%)	4 ( 4.1%)	3 ( 3.1%)
そのことについて思い出したくなかったから	133 ( 1.77)	18 ( 13.5%)	13 ( 9.8%)	4 ( 3.0%)	11 ( 8.3%)	9 ( 6.8%)	5 ( 3.8%)	6 ( 4.5%)	3 ( 2.3%)
仕返しや怖かったから(もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまき など)	42 ( 2.00)	9 ( 21.4%)	9 ( 21.4%)	4 ( 9.5%)	3 ( 7.1%)	5 ( 11.9%)	3 ( 7.1%)	2 ( 4.8%)	0 ( 0.0%)
加害者に「謝りな」とおどされたから	12 ( 1.83)	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)	0 ( 0.0%)	2 ( 16.7%)	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)	1 ( 8.3%)
世間体が悪いと思ったから	53 ( 1.64)	8 ( 15.1%)	5 ( 9.4%)	2 ( 3.8%)	4 ( 7.5%)	3 ( 5.7%)	1 ( 1.9%)	1 ( 1.9%)	1 ( 1.9%)
他人を巻き込みたくなかったから	65 ( 1.46)	8 ( 12.3%)	3 ( 4.6%)	2 ( 3.1%)	3 ( 4.6%)	2 ( 3.1%)	1 ( 1.5%)	1 ( 1.5%)	0 ( 0.0%)
他人に知られると、これまで通りの付き合い(仕事や学校などの人間関係)ができなくなると思ったから	59 ( 1.68)	9 ( 15.3%)	6 ( 10.2%)	2 ( 3.4%)	4 ( 6.8%)	2 ( 3.4%)	2 ( 3.4%)	4 ( 6.8%)	1 ( 1.7%)
相手の行為は愛情表現だと思ったから	19 ( 1.74)	3 ( 15.8%)	1 ( 5.3%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)
相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかったから	24 ( 1.67)	6 ( 25.0%)	3 ( 12.5%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	1 ( 4.2%)	0 ( 0.0%)	1 ( 4.2%)	1 ( 4.2%)
誰にも知られたいくなかったから、心配させたいくなかったから	145 ( 1.48)	16 ( 11.0%)	9 ( 6.2%)	5 ( 3.4%)	6 ( 4.1%)	5 ( 3.4%)	3 ( 2.1%)	3 ( 2.1%)	0 ( 0.0%)
被害かどうかわからなかったから	169 ( 1.43)	19 ( 11.2%)	8 ( 4.7%)	3 ( 1.8%)	7 ( 4.1%)	4 ( 2.4%)	3 ( 1.8%)	3 ( 1.8%)	2 ( 1.2%)
低年齢であったため、相談するということが思い浮かばなかったから	122 ( 1.43)	18 ( 14.8%)	6 ( 4.9%)	2 ( 1.6%)	8 ( 6.6%)	2 ( 1.6%)	2 ( 1.6%)	3 ( 2.5%)	3 ( 2.5%)
その他	21 ( 1.62)	5 ( 23.8%)	4 ( 19.0%)	1 ( 4.8%)	0 ( 0.0%)	1 ( 4.8%)	0 ( 0.0%)	2 ( 9.5%)	0 ( 0.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	7 (0.7%)	28 (2.9%)	127 (13.2%)	74 (7.7%)	135 (14.0%)	3 (0.3%)	332 (34.4%)	302 (31.3%)
どこ(だれ)に相談してよいかわからなかったから	1 (0.4%)	11 (4.4%)	41 (16.5%)	23 (9.3%)	32 (12.9%)	0 (0.0%)	47 (19.0%)	100 (40.3%)
恥ずかしくてだれにも言えなかったから	2 (0.6%)	15 (4.3%)	62 (17.9%)	39 (11.2%)	61 (17.6%)	2 (0.6%)	90 (25.9%)	104 (30.0%)
相談してもむだだと思ったから	2 (0.7%)	6 (2.2%)	49 (17.8%)	29 (10.5%)	44 (16.0%)	0 (0.0%)	82 (29.8%)	95 (34.5%)
相談するほどのことではないと思ったから	4 (1.3%)	12 (3.9%)	44 (14.2%)	21 (6.8%)	45 (14.5%)	1 (0.3%)	144 (46.5%)	71 (22.9%)
相談相手の言動によって不快な思いをさせられると思ったから	1 (3.6%)	0 (0.0%)	6 (21.4%)	5 (17.9%)	5 (17.9%)	0 (0.0%)	4 (14.3%)	13 (46.4%)
自分さえがまんすれば、なんとかこのままやっていけると思ったから	2 (1.6%)	7 (5.7%)	31 (25.4%)	13 (10.7%)	24 (19.7%)	0 (0.0%)	30 (24.6%)	33 (27.0%)
自分にも悪いところがあると思ったから	0 (0.0%)	7 (7.2%)	20 (20.6%)	9 (9.3%)	16 (16.5%)	0 (0.0%)	42 (43.3%)	19 (19.6%)
そのことについて思い出さなかったから	2 (1.5%)	6 (4.5%)	34 (25.6%)	24 (18.0%)	34 (25.6%)	1 (0.8%)	26 (19.5%)	40 (30.1%)
仕返しが怖かったから(もっとひどい暴力や、性的な画像のばらまきなど)	2 (4.8%)	4 (9.5%)	15 (35.7%)	5 (11.9%)	5 (11.9%)	0 (0.0%)	7 (16.7%)	11 (26.2%)
加害者に「誰にも言うな」とおどされたから	1 (8.3%)	1 (8.3%)	5 (41.7%)	0 (0.0%)	2 (16.7%)	0 (0.0%)	1 (8.3%)	4 (33.3%)
世間体が悪いと思ったから	0 (0.0%)	2 (3.8%)	12 (22.6%)	7 (13.2%)	14 (26.4%)	0 (0.0%)	19 (35.8%)	8 (15.1%)
他人を巻き込みたくなかったから	0 (0.0%)	2 (3.1%)	12 (18.5%)	6 (9.2%)	12 (18.5%)	0 (0.0%)	22 (33.8%)	21 (32.3%)
他人に知られると、これまで通りのつき合い(仕事や学校など人間関係)ができなくなると思ったから	0 (0.0%)	3 (5.1%)	14 (23.7%)	7 (11.9%)	14 (23.7%)	1 (1.7%)	19 (32.2%)	11 (18.6%)
相手の行為は愛情表現だと思ったから	0 (0.0%)	1 (5.3%)	7 (36.8%)	3 (15.8%)	9 (47.4%)	0 (0.0%)	5 (26.3%)	4 (21.1%)
相手の行為が理解できず被害を受けたと思わなかったから	1 (4.2%)	0 (0.0%)	5 (20.8%)	3 (12.5%)	6 (25.0%)	1 (4.2%)	5 (20.8%)	7 (29.2%)
誰にも知られたくなかったから、心配させたくなかったから	0 (0.0%)	6 (4.1%)	26 (17.9%)	17 (11.7%)	34 (23.4%)	0 (0.0%)	42 (29.0%)	42 (29.0%)
被害かどうかわからなかったから	3 (1.8%)	1 (0.6%)	22 (13.0%)	18 (10.7%)	31 (18.3%)	1 (0.6%)	72 (42.6%)	45 (26.6%)
低年齢であったため、相談するということが思い浮かばなかったから	1 (0.8%)	4 (3.3%)	12 (9.8%)	11 (9.0%)	16 (13.1%)	1 (0.8%)	37 (30.3%)	49 (40.2%)
その他	0 (0.0%)	0 (0.0%)	2 (9.5%)	3 (14.3%)	3 (14.3%)	1 (4.8%)	9 (42.9%)	6 (28.6%)

③【必要な手助け・支援】性暴力被害を受けた直後から現在までの生活の変化について

A.性暴力被害による生活の変化

図表 100 性暴力被害による生活の変化別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 ( 1.82)	741 ( 36.3%)	328 ( 16.1%)	148 ( 7.3%)	155 ( 7.6%)	175 ( 8.6%)	49 ( 2.4%)	42 ( 2.1%)	25 ( 1.2%)
夜、眠れなくなった	385 ( 2.08)	175 ( 45.5%)	86 ( 22.3%)	60 ( 15.6%)	38 ( 9.9%)	48 ( 12.5%)	15 ( 3.9%)	7 ( 1.8%)	9 ( 2.3%)
心身に不調をきたした	117 ( 2.55)	62 ( 53.0%)	36 ( 30.8%)	13 ( 11.1%)	13 ( 11.1%)	18 ( 15.4%)	3 ( 2.6%)	4 ( 3.4%)	2 ( 1.7%)
医療機関を受診し、精神疾患と診断された	74 ( 2.47)	32 ( 43.2%)	22 ( 29.7%)	9 ( 12.2%)	9 ( 12.2%)	10 ( 13.5%)	3 ( 4.1%)	5 ( 6.8%)	1 ( 1.4%)
自分に自信がなくなった	436 ( 2.08)	163 ( 37.4%)	86 ( 19.7%)	36 ( 8.3%)	35 ( 8.0%)	35 ( 8.0%)	13 ( 3.0%)	14 ( 3.2%)	7 ( 1.6%)
誰のことも信じられなくなった	343 ( 2.21)	129 ( 37.6%)	77 ( 22.4%)	43 ( 12.5%)	34 ( 9.9%)	42 ( 12.2%)	13 ( 3.8%)	11 ( 3.2%)	7 ( 2.0%)
外出するのが怖くなった	291 ( 2.55)	144 ( 49.5%)	88 ( 30.2%)	30 ( 10.3%)	45 ( 15.5%)	52 ( 17.9%)	7 ( 2.4%)	8 ( 2.7%)	7 ( 2.4%)
異性と会うのが怖くなった	364 ( 2.31)	157 ( 43.1%)	87 ( 23.9%)	41 ( 11.3%)	35 ( 9.6%)	46 ( 12.6%)	15 ( 4.1%)	11 ( 3.0%)	5 ( 1.4%)
人づきあひがうまくいかなかった	227 ( 2.22)	88 ( 38.8%)	50 ( 22.0%)	19 ( 8.4%)	24 ( 10.6%)	18 ( 7.9%)	5 ( 2.2%)	6 ( 2.6%)	5 ( 2.2%)
転居(引越し)、別居した	38 ( 2.71)	21 ( 55.3%)	12 ( 31.6%)	8 ( 21.1%)	7 ( 18.4%)	10 ( 26.3%)	5 ( 13.2%)	0 ( 0.0%)	3 ( 7.9%)
携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた	131 ( 2.27)	48 ( 36.6%)	30 ( 22.9%)	12 ( 9.2%)	16 ( 12.2%)	13 ( 9.9%)	4 ( 3.1%)	3 ( 2.3%)	2 ( 1.5%)
仕事(アルバイト)をししばらく休んだ・やめた・変えた	95 ( 2.47)	47 ( 49.5%)	30 ( 31.6%)	13 ( 13.7%)	11 ( 11.6%)	17 ( 17.9%)	7 ( 7.4%)	3 ( 3.2%)	1 ( 1.1%)
学校・大学をししばらく休んだ・やめた・変えた	106 ( 2.44)	45 ( 42.5%)	28 ( 26.4%)	14 ( 13.2%)	11 ( 10.4%)	11 ( 10.4%)	7 ( 6.6%)	4 ( 3.8%)	2 ( 1.9%)
生きているのが嫌になった・死にたくなった	230 ( 2.40)	92 ( 40.0%)	50 ( 21.7%)	26 ( 11.3%)	22 ( 9.6%)	30 ( 13.0%)	8 ( 3.5%)	6 ( 2.6%)	3 ( 1.3%)
加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる	209 ( 2.61)	106 ( 50.7%)	56 ( 26.8%)	23 ( 11.0%)	24 ( 11.5%)	34 ( 16.3%)	6 ( 2.9%)	9 ( 4.3%)	3 ( 1.4%)
生活全般にわたって活動的でなくなった、趣味、学業や仕事への関心が低くなった	85 ( 2.60)	40 ( 47.1%)	28 ( 32.9%)	12 ( 14.1%)	7 ( 8.2%)	13 ( 15.3%)	2 ( 2.4%)	2 ( 2.4%)	3 ( 3.5%)
神経過敏になり、少しの刺激に過敏に反応してしまったり、イライラ・そわそわしやすくなった	193 ( 2.36)	81 ( 42.0%)	47 ( 24.4%)	15 ( 7.8%)	20 ( 10.4%)	25 ( 13.0%)	6 ( 3.1%)	6 ( 3.1%)	4 ( 2.1%)
飲酒量・薬物量が増えた	36 ( 2.08)	10 ( 27.8%)	5 ( 13.9%)	6 ( 16.7%)	1 ( 2.8%)	5 ( 13.9%)	4 ( 11.1%)	0 ( 0.0%)	2 ( 5.6%)
性行動が活発になった	78 ( 2.03)	23 ( 29.5%)	12 ( 15.4%)	5 ( 6.4%)	6 ( 7.7%)	10 ( 12.8%)	3 ( 3.8%)	2 ( 2.6%)	2 ( 2.6%)
その他	81 ( 1.99)	32 ( 39.5%)	15 ( 18.5%)	5 ( 6.2%)	5 ( 6.2%)	10 ( 12.3%)	2 ( 2.5%)	1 ( 1.2%)	1 ( 1.2%)
特になし	680 ( 1.45)	187 ( 27.5%)	66 ( 9.7%)	21 ( 3.1%)	28 ( 4.1%)	36 ( 5.3%)	6 ( 0.9%)	7 ( 1.0%)	5 ( 0.7%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	42 ( 2.1%)	75 ( 3.7%)	527 ( 25.8%)	285 ( 14.0%)	347 ( 17.0%)	10 ( 0.5%)	379 ( 18.6%)	388 ( 19.0%)
夜、眠れなくなった	17 ( 4.4%)	19 ( 4.9%)	122 ( 31.7%)	61 ( 15.8%)	53 ( 13.8%)	1 ( 0.3%)	22 ( 5.7%)	67 ( 17.4%)
心身に不調をきたした	7 ( 6.0%)	5 ( 4.3%)	54 ( 46.2%)	26 ( 22.2%)	21 ( 17.9%)	1 ( 0.9%)	9 ( 7.7%)	24 ( 20.5%)
医療機関を受診し、精神疾患と診断された	11 ( 14.9%)	4 ( 5.4%)	33 ( 44.6%)	20 ( 27.0%)	12 ( 16.2%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	12 ( 16.2%)
自分に自信がなくなった	16 ( 3.7%)	25 ( 5.7%)	166 ( 38.1%)	85 ( 19.5%)	88 ( 20.2%)	0 ( 0.0%)	52 ( 11.9%)	87 ( 20.0%)
誰のことも信じられなくなった	12 ( 3.5%)	16 ( 4.7%)	126 ( 36.7%)	67 ( 19.5%)	73 ( 21.3%)	1 ( 0.3%)	29 ( 8.5%)	78 ( 22.7%)
外出するのが怖くなった	22 ( 7.6%)	12 ( 4.1%)	132 ( 45.4%)	59 ( 20.3%)	70 ( 24.1%)	0 ( 0.0%)	14 ( 4.8%)	52 ( 17.9%)
異性と会うのが怖くなった	15 ( 4.1%)	21 ( 5.8%)	151 ( 41.5%)	74 ( 20.3%)	88 ( 24.2%)	2 ( 0.5%)	32 ( 8.8%)	61 ( 16.8%)
人づきあいがうまくいかなくなった	15 ( 6.6%)	16 ( 7.0%)	81 ( 35.7%)	55 ( 24.2%)	47 ( 20.7%)	2 ( 0.9%)	20 ( 8.8%)	54 ( 23.8%)
転居(引越)し、別居した	3 ( 7.9%)	3 ( 7.9%)	14 ( 36.8%)	6 ( 15.8%)	8 ( 21.1%)	0 ( 0.0%)	0 ( 0.0%)	3 ( 7.9%)
携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた	9 ( 6.9%)	13 ( 9.9%)	43 ( 32.8%)	31 ( 23.7%)	35 ( 26.7%)	1 ( 0.8%)	18 ( 13.7%)	20 ( 15.3%)
仕事(アルバイト)をししばらく休んだ・やめた・変えた	5 ( 5.3%)	3 ( 3.2%)	45 ( 47.4%)	21 ( 22.1%)	17 ( 17.9%)	1 ( 1.1%)	3 ( 3.2%)	11 ( 11.6%)
学校・大学をししばらく休んだ・やめた・変えた	11 ( 10.4%)	6 ( 5.7%)	50 ( 47.2%)	23 ( 21.7%)	22 ( 20.8%)	1 ( 0.9%)	5 ( 4.7%)	19 ( 17.9%)
生きているのが嫌になった・死にたくなった	16 ( 7.0%)	17 ( 7.4%)	103 ( 44.8%)	52 ( 22.6%)	56 ( 24.3%)	2 ( 0.9%)	21 ( 9.1%)	49 ( 21.3%)
加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる	10 ( 4.8%)	9 ( 4.3%)	105 ( 50.2%)	52 ( 24.9%)	62 ( 29.7%)	2 ( 1.0%)	12 ( 5.7%)	32 ( 15.3%)
生活全般にわたって活動的でなくなった、趣味、学業や仕事への関心が低くなった	10 ( 11.8%)	6 ( 7.1%)	35 ( 41.2%)	21 ( 24.7%)	19 ( 22.4%)	1 ( 1.2%)	3 ( 3.5%)	19 ( 22.4%)
神経過敏になり、少しの刺激に過敏に反応してしまったり、イライラ・そわそわしやすくなった	14 ( 7.3%)	7 ( 3.6%)	83 ( 43.0%)	42 ( 21.8%)	52 ( 26.9%)	1 ( 0.5%)	11 ( 5.7%)	41 ( 21.2%)
飲酒量・薬物量が増えた	2 ( 5.6%)	2 ( 5.6%)	11 ( 30.6%)	5 ( 13.9%)	11 ( 30.6%)	0 ( 0.0%)	2 ( 5.6%)	9 ( 25.0%)
性行動が活発になった	1 ( 1.3%)	3 ( 3.8%)	22 ( 28.2%)	15 ( 19.2%)	26 ( 33.3%)	0 ( 0.0%)	11 ( 14.1%)	17 ( 21.8%)
その他	2 ( 2.5%)	2 ( 2.5%)	24 ( 29.6%)	12 ( 14.8%)	20 ( 24.7%)	3 ( 3.7%)	15 ( 18.5%)	12 ( 14.8%)
特になし	3 ( 0.4%)	19 ( 2.8%)	80 ( 11.8%)	59 ( 8.7%)	81 ( 11.9%)	4 ( 0.6%)	230 ( 33.8%)	156 ( 22.9%)

図表 101 性暴力被害による生活の変化別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 ( 1.4%)	415 ( 20.3%)	183 ( 9.0%)	92 ( 4.5%)	98 ( 4.8%)	89 ( 4.4%)	36 ( 1.8%)	40 ( 2.0%)	27 ( 1.3%)
夜、眠れなくなった	385 ( 1.9%)	112 ( 29.1%)	53 ( 13.8%)	38 ( 9.9%)	25 ( 6.5%)	25 ( 6.5%)	9 ( 2.3%)	14 ( 3.6%)	6 ( 1.6%)
心身に不調をきたした	117 ( 1.2%)	29 ( 24.8%)	11 ( 9.4%)	5 ( 4.3%)	9 ( 7.7%)	10 ( 8.5%)	4 ( 3.4%)	4 ( 3.4%)	2 ( 1.7%)
医療機関を受診し、精神疾患と診断された	74 ( 1.7%)	18 ( 24.3%)	9 ( 12.2%)	7 ( 9.5%)	4 ( 5.4%)	6 ( 8.1%)	2 ( 2.7%)	5 ( 6.8%)	2 ( 2.7%)
自分に自信がなくなった	436 ( 1.6%)	109 ( 25.0%)	41 ( 9.4%)	22 ( 5.0%)	20 ( 4.6%)	24 ( 5.5%)	11 ( 2.5%)	15 ( 3.4%)	8 ( 1.8%)
誰のことも信じられなくなった	343 ( 1.6%)	81 ( 23.6%)	34 ( 9.9%)	18 ( 5.2%)	25 ( 7.3%)	31 ( 9.0%)	12 ( 3.5%)	14 ( 4.1%)	7 ( 2.0%)
外出するのが怖くなった	291 ( 1.7%)	79 ( 27.1%)	40 ( 13.7%)	18 ( 6.2%)	25 ( 8.6%)	25 ( 8.6%)	9 ( 3.1%)	10 ( 3.4%)	8 ( 2.7%)
異性と会うのが怖くなった	364 ( 1.7%)	98 ( 26.9%)	40 ( 11.0%)	22 ( 6.0%)	28 ( 7.7%)	23 ( 6.3%)	10 ( 2.7%)	13 ( 3.6%)	5 ( 1.4%)
人づきあいがうまくいかなかった	227 ( 1.6%)	53 ( 23.3%)	26 ( 11.5%)	13 ( 5.7%)	17 ( 7.5%)	12 ( 5.3%)	5 ( 2.2%)	4 ( 1.8%)	3 ( 1.3%)
転居(引越し)、別居した	38 ( 1.9%)	8 ( 21.1%)	4 ( 10.5%)	7 ( 18.4%)	4 ( 10.5%)	7 ( 18.4%)	2 ( 5.3%)	1 ( 2.6%)	2 ( 5.3%)
携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた	131 ( 1.7%)	27 ( 20.6%)	14 ( 10.7%)	10 ( 7.6%)	14 ( 10.7%)	10 ( 7.6%)	4 ( 3.1%)	4 ( 3.1%)	1 ( 0.8%)
仕事(アルバイト)をしばらく休んだ・やめた・変えた	95 ( 1.7%)	25 ( 26.3%)	9 ( 9.5%)	8 ( 8.4%)	7 ( 7.4%)	10 ( 10.5%)	5 ( 5.3%)	1 ( 1.1%)	2 ( 2.1%)
学校・大学をしばらく休んだ・やめた・変えた	106 ( 1.7%)	27 ( 25.5%)	14 ( 13.2%)	9 ( 8.5%)	5 ( 4.7%)	8 ( 7.5%)	5 ( 4.7%)	5 ( 4.7%)	2 ( 1.9%)
生きているのが嫌になった・死にたくなった	230 ( 1.8%)	60 ( 26.1%)	29 ( 12.6%)	19 ( 8.3%)	17 ( 7.4%)	20 ( 8.7%)	8 ( 3.5%)	7 ( 3.0%)	7 ( 3.0%)
加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる	209 ( 1.9%)	54 ( 25.8%)	29 ( 13.9%)	13 ( 6.2%)	16 ( 7.7%)	17 ( 8.1%)	6 ( 2.9%)	8 ( 3.8%)	4 ( 1.9%)
生活全般にわたって活動的でなくなった、趣味、学業や仕事への関心が低くなった	85 ( 1.2%)	24 ( 28.2%)	11 ( 12.9%)	7 ( 8.2%)	6 ( 7.1%)	7 ( 8.2%)	3 ( 3.5%)	2 ( 2.4%)	3 ( 3.5%)
神経過敏になり、少しの刺激に過敏に反応してしまったり、イライラ・そわそわしやすくなった	193 ( 1.9%)	57 ( 29.5%)	23 ( 11.9%)	14 ( 7.3%)	14 ( 7.3%)	9 ( 4.7%)	2 ( 1.0%)	7 ( 3.6%)	7 ( 3.6%)
飲酒量・薬物量が増えた	36 ( 1.7%)	7 ( 19.4%)	2 ( 5.6%)	6 ( 16.7%)	1 ( 2.8%)	2 ( 5.6%)	1 ( 2.8%)	1 ( 2.8%)	2 ( 5.6%)
性行動が活発になった	78 ( 1.5%)	15 ( 19.2%)	3 ( 3.8%)	7 ( 9.0%)	2 ( 2.6%)	1 ( 1.3%)	1 ( 1.3%)	2 ( 2.6%)	1 ( 1.3%)
その他	81 ( 1.4%)	13 ( 16.0%)	9 ( 11.1%)	1 ( 1.2%)	3 ( 3.7%)	3 ( 3.7%)	1 ( 1.2%)	1 ( 1.2%)	0 ( 0.0%)
特になし	680 ( 1.2%)	83 ( 12.2%)	33 ( 4.9%)	10 ( 1.5%)	19 ( 2.8%)	18 ( 2.6%)	6 ( 0.9%)	5 ( 0.7%)	2 ( 0.3%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	35 ( 1.7%)	56 ( 2.7%)	371 ( 18.2%)	197 ( 9.7%)	283 ( 13.9%)	7 ( 0.3%)	617 ( 30.2%)	409 ( 20.0%)
夜、眠れなくなった	13 ( 3.4%)	11 ( 2.9%)	85 ( 22.1%)	36 ( 9.4%)	45 ( 11.7%)	1 ( 0.3%)	43 ( 11.2%)	73 ( 19.0%)
心身に不調をきたした	9 ( 7.7%)	5 ( 4.3%)	39 ( 33.3%)	14 ( 12.0%)	28 ( 23.9%)	1 ( 0.9%)	18 ( 15.4%)	25 ( 21.4%)
医療機関を受診し、精神疾患と診断された	9 ( 12.2%)	3 ( 4.1%)	25 ( 33.8%)	9 ( 12.2%)	14 ( 18.9%)	0 ( 0.0%)	2 ( 2.7%)	14 ( 18.9%)
自分に自信がなくなった	16 ( 3.7%)	18 ( 4.1%)	112 ( 25.7%)	54 ( 12.4%)	77 ( 17.7%)	0 ( 0.0%)	87 ( 20.0%)	93 ( 21.3%)
誰のことも信じられなくなった	13 ( 3.8%)	13 ( 3.8%)	88 ( 25.7%)	44 ( 12.8%)	57 ( 16.6%)	1 ( 0.3%)	54 ( 15.7%)	83 ( 24.2%)
外出するのが怖くなった	16 ( 5.5%)	8 ( 2.7%)	90 ( 30.9%)	39 ( 13.4%)	47 ( 16.2%)	0 ( 0.0%)	48 ( 16.5%)	58 ( 19.9%)
異性と会うのが怖くなった	12 ( 3.3%)	16 ( 4.4%)	113 ( 31.0%)	58 ( 15.9%)	72 ( 19.8%)	2 ( 0.5%)	64 ( 17.6%)	64 ( 17.6%)
人づきあいがうまくいかなかった	12 ( 5.3%)	7 ( 3.1%)	68 ( 30.0%)	33 ( 14.5%)	42 ( 18.5%)	2 ( 0.9%)	32 ( 14.1%)	55 ( 24.2%)
転居(引越)し、別居した	6 ( 15.8%)	1 ( 2.6%)	8 ( 21.1%)	7 ( 18.4%)	10 ( 26.3%)	0 ( 0.0%)	5 ( 13.2%)	2 ( 5.3%)
携帯電話の電話番号やメールアドレス、SNSのアカウントを削除した・変えた	8 ( 6.1%)	10 ( 7.6%)	32 ( 24.4%)	23 ( 17.6%)	22 ( 16.8%)	1 ( 0.8%)	31 ( 23.7%)	23 ( 17.6%)
仕事(アルバイト)をしばらく休んだ・やめた・変えた	7 ( 7.4%)	3 ( 3.2%)	31 ( 32.6%)	15 ( 15.8%)	15 ( 15.8%)	1 ( 1.1%)	12 ( 12.6%)	14 ( 14.7%)
学校・大学をしばらく休んだ・やめた・変えた	7 ( 6.6%)	1 ( 0.9%)	38 ( 35.8%)	15 ( 14.2%)	16 ( 15.1%)	1 ( 0.9%)	13 ( 12.3%)	22 ( 20.8%)
生きているのが嫌になった・死にたくなった	15 ( 6.5%)	10 ( 4.3%)	81 ( 35.2%)	35 ( 15.2%)	42 ( 18.3%)	2 ( 0.9%)	29 ( 12.6%)	52 ( 22.6%)
加害者や被害時の状況を思い出させるようなことがきっかけで、被害を受けたときの感覚がよみがえる	12 ( 5.7%)	8 ( 3.8%)	74 ( 35.4%)	41 ( 19.6%)	57 ( 27.3%)	1 ( 0.5%)	35 ( 16.7%)	33 ( 15.8%)
生活全般がわかって活動的でなくなった、趣味、学業や仕事への関心が低くなった	9 ( 10.6%)	2 ( 2.4%)	25 ( 29.4%)	11 ( 12.9%)	15 ( 17.6%)	1 ( 1.2%)	7 ( 8.2%)	22 ( 25.9%)
神経過敏となり、少しの刺激に過敏に反応してしまったり、イライラ・そわそわしやすくなった	11 ( 5.7%)	11 ( 5.7%)	65 ( 33.7%)	31 ( 16.1%)	41 ( 21.2%)	1 ( 0.5%)	27 ( 14.0%)	46 ( 23.8%)
飲酒量・薬物量が増えた	3 ( 8.3%)	2 ( 5.6%)	7 ( 19.4%)	5 ( 13.9%)	8 ( 22.2%)	0 ( 0.0%)	5 ( 13.9%)	11 ( 30.6%)
性行動が活発になった	2 ( 2.6%)	3 ( 3.8%)	15 ( 19.2%)	9 ( 11.5%)	16 ( 20.5%)	0 ( 0.0%)	18 ( 23.1%)	22 ( 28.2%)
その他	1 ( 1.2%)	0 ( 0.0%)	20 ( 24.7%)	8 ( 9.9%)	13 ( 16.0%)	4 ( 4.9%)	29 ( 35.8%)	13 ( 16.0%)
特になし	6 ( 0.9%)	12 ( 1.8%)	56 ( 8.2%)	40 ( 5.9%)	66 ( 9.7%)	1 ( 0.1%)	332 ( 48.8%)	154 ( 22.6%)

## B.性暴力被害からの回復状況

図表 102 性暴力被害からの回復状況別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 (1.82)	741 (36.3%)	328 (16.1%)	148 (7.3%)	155 (7.6%)	175 (8.6%)	49 (2.4%)	42 (2.1%)	25 (1.2%)
全く回復していない(1~3)	282 (1.73)	96 (34.0%)	51 (18.1%)	40 (14.2%)	25 (8.9%)	29 (10.3%)	17 (6.0%)	9 (3.2%)	7 (2.5%)
半分くらい回復した(4~6)	408 (1.90)	141 (34.6%)	74 (18.1%)	39 (9.6%)	30 (7.4%)	35 (8.6%)	10 (2.5%)	8 (2.0%)	9 (2.2%)
半分以上回復した(7~9)	403 (2.10)	175 (43.4%)	73 (18.1%)	21 (5.2%)	37 (9.2%)	42 (10.4%)	9 (2.2%)	12 (3.0%)	1 (0.2%)
もどおり回復した(10)	774 (1.69)	279 (36.0%)	103 (13.3%)	39 (5.0%)	50 (6.5%)	59 (7.6%)	11 (1.4%)	11 (1.4%)	7 (0.9%)
回復しているかしてはいないかわからない	173 (1.71)	50 (28.9%)	27 (15.6%)	9 (5.2%)	13 (7.5%)	10 (5.8%)	2 (1.2%)	2 (1.2%)	1 (0.6%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支援	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	42 (2.1%)	75 (3.7%)	527 (25.8%)	285 (14.0%)	347 (17.0%)	10 (0.5%)	379 (18.6%)	388 (19.0%)
全く回復していない(1~3)	9 (3.2%)	5 (1.8%)	46 (16.3%)	25 (8.9%)	31 (11.0%)	1 (0.4%)	28 (9.9%)	68 (24.1%)
半分くらい回復した(4~6)	13 (3.2%)	15 (3.7%)	119 (29.2%)	61 (15.0%)	75 (18.4%)	2 (0.5%)	41 (10.0%)	103 (25.2%)
半分以上回復した(7~9)	11 (2.7%)	19 (4.7%)	167 (41.4%)	87 (21.6%)	89 (22.1%)	0 (0.0%)	51 (12.7%)	54 (13.4%)
もどおり回復した(10)	7 (0.9%)	39 (4.3%)	156 (20.2%)	93 (12.0%)	128 (16.5%)	5 (0.6%)	217 (28.0%)	113 (14.6%)
回復しているかしてはいないかわからない	2 (1.2%)	3 (1.7%)	39 (22.5%)	19 (11.0%)	24 (13.9%)	2 (1.2%)	42 (24.3%)	50 (28.9%)

図表 103 性暴力被害からの回復状況別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 ( 1.4%)	415 ( 20.3%)	183 ( 9.0%)	92 ( 4.5%)	98 ( 4.8%)	89 ( 4.4%)	36 ( 1.8%)	40 ( 2.0%)	27 ( 1.3%)
全く回復していない(1~3)	282 ( 1.4%)	81 ( 28.7%)	37 ( 13.1%)	26 ( 9.2%)	20 ( 7.1%)	20 ( 7.1%)	12 ( 4.3%)	9 ( 3.2%)	8 ( 2.8%)
半分くらい回復した(4~6)	408 ( 1.5%)	96 ( 23.5%)	40 ( 9.8%)	20 ( 4.9%)	19 ( 4.7%)	21 ( 5.1%)	11 ( 2.7%)	12 ( 2.9%)	10 ( 2.5%)
半分以上回復した(7~9)	403 ( 1.5%)	89 ( 21.8%)	33 ( 8.2%)	19 ( 4.7%)	18 ( 4.5%)	15 ( 3.7%)	4 ( 1.0%)	7 ( 1.7%)	4 ( 1.0%)
もどおり回復した(10)	774 ( 3.5%)	122 ( 15.8%)	60 ( 7.8%)	21 ( 2.7%)	35 ( 4.5%)	25 ( 3.2%)	7 ( 0.9%)	11 ( 1.4%)	4 ( 0.5%)
回復しているかしてはいないかわからない	173 ( 1.4%)	28 ( 16.2%)	13 ( 7.5%)	6 ( 3.5%)	6 ( 3.5%)	8 ( 4.6%)	2 ( 1.2%)	1 ( 0.6%)	1 ( 0.6%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教えてもらう	精神的な支え	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	35 ( 1.7%)	56 ( 2.7%)	371 ( 18.2%)	197 ( 9.7%)	283 ( 13.9%)	7 ( 0.3%)	617 ( 30.2%)	409 ( 20.0%)
全く回復していない(1~3)	8 ( 2.8%)	3 ( 1.1%)	39 ( 13.8%)	18 ( 6.4%)	29 ( 10.3%)	1 ( 0.4%)	30 ( 10.6%)	71 ( 25.2%)
半分くらい回復した(4~6)	16 ( 3.9%)	10 ( 2.5%)	96 ( 23.5%)	49 ( 12.0%)	72 ( 17.6%)	2 ( 0.5%)	56 ( 13.7%)	106 ( 26.0%)
半分以上回復した(7~9)	4 ( 1.0%)	19 ( 4.7%)	116 ( 28.8%)	54 ( 13.4%)	63 ( 15.6%)	0 ( 0.0%)	117 ( 29.0%)	52 ( 12.9%)
もどおり回復した(10)	5 ( 0.6%)	20 ( 2.6%)	94 ( 12.1%)	60 ( 7.8%)	89 ( 11.5%)	3 ( 0.4%)	363 ( 46.9%)	124 ( 16.0%)
回復しているかしてはいないかわからない	2 ( 1.2%)	4 ( 2.3%)	26 ( 15.0%)	16 ( 9.2%)	30 ( 17.3%)	1 ( 0.6%)	51 ( 29.5%)	56 ( 32.4%)

④【性暴力被害からの回復に影響する要因】性暴力被害分類における重複被害状況について

A. 重複被害状況

図表 104 性暴力被害からの重複被害別、必要な手助け・支援（性暴力被害を受けた直後）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教えてもらう	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続の手助け、付き添い
全体	2040 ( 1.8%)	741 ( 36.3%)	328 ( 16.1%)	148 ( 7.3%)	155 ( 7.6%)	175 ( 8.6%)	49 ( 2.4%)	42 ( 2.1%)	25 ( 1.2%)
1種類の被害	961 ( 1.7%)	347 ( 36.1%)	128 ( 13.3%)	52 ( 5.4%)	55 ( 5.7%)	73 ( 7.6%)	13 ( 1.4%)	14 ( 1.5%)	7 ( 0.7%)
2種類の被害	540 ( 1.8%)	200 ( 37.0%)	96 ( 17.8%)	38 ( 7.0%)	39 ( 7.2%)	44 ( 8.1%)	9 ( 1.7%)	10 ( 1.9%)	4 ( 0.7%)
3種類の被害	293 ( 1.9%)	110 ( 37.5%)	57 ( 19.5%)	27 ( 9.2%)	41 ( 14.0%)	31 ( 10.6%)	11 ( 3.8%)	6 ( 2.0%)	8 ( 2.7%)
4種類の被害	142 ( 2.1%)	54 ( 38.0%)	29 ( 20.4%)	18 ( 12.7%)	12 ( 8.5%)	18 ( 12.7%)	9 ( 6.3%)	7 ( 4.9%)	4 ( 2.8%)
5種類の被害	104 ( 1.9%)	30 ( 28.8%)	18 ( 17.3%)	13 ( 12.5%)	8 ( 7.7%)	9 ( 8.7%)	7 ( 6.7%)	5 ( 4.8%)	2 ( 1.9%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教える	精神的な支援	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	42 ( 2.1%)	75 ( 3.7%)	527 ( 25.8%)	285 ( 14.0%)	347 ( 17.0%)	10 ( 0.5%)	379 ( 18.6%)	988 ( 19.0%)
1種類の被害	10 ( 1.0%)	30 ( 3.1%)	230 ( 23.9%)	114 ( 11.9%)	157 ( 16.3%)	6 ( 0.6%)	216 ( 22.5%)	177 ( 18.4%)
2種類の被害	13 ( 2.4%)	23 ( 4.3%)	149 ( 27.6%)	84 ( 15.6%)	92 ( 17.0%)	2 ( 0.4%)	98 ( 18.1%)	101 ( 18.7%)
3種類の被害	7 ( 2.4%)	10 ( 3.4%)	82 ( 28.0%)	47 ( 16.0%)	50 ( 17.1%)	1 ( 0.3%)	33 ( 11.3%)	53 ( 18.1%)
4種類の被害	7 ( 4.9%)	5 ( 3.5%)	41 ( 28.9%)	26 ( 18.3%)	29 ( 20.4%)	1 ( 0.7%)	20 ( 14.1%)	28 ( 19.7%)
5種類の被害	5 ( 4.8%)	7 ( 6.7%)	25 ( 24.0%)	14 ( 13.5%)	19 ( 18.3%)	0 ( 0.0%)	12 ( 11.5%)	29 ( 27.9%)

図表 105 性暴力被害からの重複被害別、必要な手助け・支援（現在）

	全体	事件・被害に関する話を聞いてもらう	安全な避難場所の提供	証拠採取、緊急避妊薬の処方や性感染症検査など医療的支援や医療機関への同行	被害届の提出方法などを教える	警察・検察とのやり取りの手助け、付き添い	弁護士の紹介や裁判所へ行く際の付き添い	支援団体、自助グループなどの紹介	役所などでの手続きの手助け、付き添い
全体	2040 ( 1.45)	415 ( 20.3%)	183 ( 9.0%)	92 ( 4.5%)	98 ( 4.8%)	89 ( 4.4%)	36 ( 1.8%)	40 ( 2.0%)	27 ( 1.3%)
1種類の被害	961 ( 1.37)	183 ( 19.0%)	74 ( 7.7%)	31 ( 3.2%)	38 ( 4.0%)	35 ( 3.6%)	14 ( 1.5%)	17 ( 1.8%)	15 ( 1.6%)
2種類の被害	540 ( 1.46)	109 ( 20.2%)	45 ( 8.3%)	28 ( 5.2%)	25 ( 4.6%)	22 ( 4.1%)	7 ( 1.3%)	9 ( 1.7%)	4 ( 0.7%)
3種類の被害	293 ( 1.53)	64 ( 21.8%)	35 ( 11.9%)	15 ( 5.1%)	16 ( 5.5%)	16 ( 5.5%)	5 ( 1.7%)	6 ( 2.0%)	6 ( 2.0%)
4種類の被害	142 ( 1.75)	36 ( 25.4%)	17 ( 12.0%)	7 ( 4.9%)	9 ( 6.3%)	12 ( 8.5%)	7 ( 4.9%)	5 ( 3.5%)	1 ( 0.7%)
5種類の被害	104 ( 1.53)	23 ( 22.1%)	12 ( 11.5%)	11 ( 10.6%)	10 ( 9.6%)	4 ( 3.8%)	3 ( 2.9%)	3 ( 2.9%)	1 ( 1.0%)

	生活全般の手伝い(食事・買物など身の回りのことを含む)や経済的な支援	画像や動画の削除方法などを教える	精神的な支援	プライバシーなどへの配慮	そっとしておいてもらうこと	その他	特になし	どのような支援・配慮が必要かわからない
全体	35 ( 1.7%)	56 ( 2.7%)	371 ( 18.2%)	197 ( 9.7%)	283 ( 13.9%)	7 ( 0.3%)	617 ( 30.2%)	409 ( 20.0%)
1種類の被害	11 ( 1.1%)	22 ( 2.3%)	147 ( 15.3%)	65 ( 6.8%)	117 ( 12.2%)	3 ( 0.3%)	349 ( 36.3%)	192 ( 20.0%)
2種類の被害	10 ( 1.9%)	15 ( 2.8%)	102 ( 18.9%)	66 ( 12.2%)	80 ( 14.8%)	2 ( 0.4%)	162 ( 30.0%)	102 ( 18.9%)
3種類の被害	7 ( 2.4%)	12 ( 4.1%)	66 ( 22.5%)	35 ( 11.9%)	42 ( 14.3%)	1 ( 0.3%)	65 ( 22.2%)	56 ( 19.1%)
4種類の被害	5 ( 3.5%)	3 ( 2.1%)	35 ( 24.6%)	25 ( 17.6%)	28 ( 19.7%)	1 ( 0.7%)	27 ( 19.0%)	30 ( 21.1%)
5種類の被害	2 ( 1.9%)	4 ( 3.8%)	21 ( 20.2%)	6 ( 5.8%)	16 ( 15.4%)	0 ( 0.0%)	14 ( 13.5%)	29 ( 27.9%)

### 3) 本調査-アンケート対象者(性暴力被害者)からの自由意見

アンケート(本調査)の最後に、「アンケートで答えきれなかった被害のこと、今後の取組で期待することなどあれば自由にお書き下さい」との自由記述設問を設けたところ、多くの意見をいただいた。①アンケートで答えきれなかった被害のこと、②今後の取組で期待することに分類の上、意見を紹介する。

※下表には、具体的な性暴力被害の内容に触れる記述が多く含まれます。読むことでストレスを感じたり、気分が悪くなったりすることもあるかもしれませんので、その場合には、読むのをやめたり、中断して休むなどしてください。

#### (1) アンケートで答えきれなかった被害のこと

図表 106 自由意見(アンケートで答えきれなかった被害のこと)

自由意見	
性暴力であることを認識できなかった	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 幼い頃に受けた被害なので、ほとんど記憶に残っていませんでした。当時も、あまり深刻に考えておらず、家族に1日のことを報告するような気持ちで伝えたような気がします。謝罪を受けましたが、当時の自分はよくわかっていませんでした。</li> <li>・ 被害にあっている時は、自分があっているという実感がなく、何もできず悔しかった。</li> <li>・ 被害にあった時、どこまでが遊びでどこからが性暴力になるのか分からなかった。どのくらいの程度なら相談できるのかを知れるようになると思う。</li> <li>・ 被害、加害認識してないものも含め子どもから大人まで未発覚が多いと思います。また言葉と行動どちらが辛かったかと言われても両方です。</li> <li>・ 性行為までは未遂ではあったものの、①全く知らない人に性行為を交渉される、②全く知らない人に連絡先を知られ酒場に連れ込まれそうになる被害がありました。たまたま被害はなかったものの、被害を受けている時に自分が性被害を受けそうになっているとわからなかったので、性被害がなくとも相談できる場や、このような被害もあることの周知をしてもらえるとよいのではと思います。</li> <li>・ 性教育は受精の理屈を教えるだけでは意味がないのではないかと。私は被害にあった小学4年のとき、受精が体のどの部分で、何をしたら達成されるのかも知らなかった。男女の愛撫行為も知らなかった。故に、被害にあった当時は、自分に降りかかっているリスク(妊娠等)や、自分の口の中に何を挿れられ、自分が何を舐めまわし、飲み込んだものが精液だったとか本当に何も知らなかった。私は、性教育の具体化、低学年からの性教育を期待する。</li> <li>・ 小学生の頃の出来事で、自分は一体何をされたのかさえ理解できていなかった。修学旅行先でそばに親もおらず、だからなのか、被害届など出しておらず、事件にもなっていない。犯人は野放し。あの時自分に知識があったら必ず警察に行ったのに。犯人を罰してほしいとずっと後悔している。他人が怖く信じられない。でも被害に遭ったのが隣で寝ていた友人たちでなくてよかったとは思ってる。難しいかも</li> </ul>

しれないが今後は私のような子はでないようにしてほしい。

- ・自分の場合は当時の交際相手で、お互いによくないことであることを理解せずにやりとりしていました。自分が嫌で断っていたので送ったことはありませんが、知識がない状態で無自覚に被害に遭うケースがあると思うので早いうちに性被害のことを知りたかったです。
- ・幼い頃に痴漢にあったため、よくわかっていませんでした。後から思い出し嫌な気持ちにならないためにも、早い頃からこうされたらこうするみたいな教育を保育園、幼稚園などでもしてほしいかなと思います。
- ・後から性暴力だと知ったので、性被害に遭ってしまう自分が悪いと思ってしまった。性教育を学校できちんと受けられるようにしてほしい。
- ・どんな状況で被害に陥るのか学校とかで教えてほしい。私は実際に被害を受けるまで、巻き込まれてることに気づけなかったから、もしかしたら危ないかもしれないと思えるような指導をするべきだと思った。
- ・「あの日の出来事」が性被害だったと気付くには2年ほど掛かり（気付いたきっかけは大学の担当カウンセラーに相談した際、「それは性被害だよ」と言ってもらえたこと）、被害に遭ってから少なくとも2年間は「自分が悪かった」「自分にも責任がある」「自分も共犯者だ」「人生の汚点」と、本来加害者に向けるべき感情を全て自分自身に向けて苦しんでいた。被害直後よりも、2年後に「あれは性被害だった」と気付いてからのほうがずっと苦しかった。被害体験のフラッシュバックなど、精神的不調はそこから始まった。自分の中の拭い切れない記憶と否が応でも向き合わされる、きつくて長い闘いを強いられた。そんな中で、何度も話を聴いてくれて、辛い状況から抜け出す方法を一緒に考えてくれたスクールカウンセラーの方々には頭が上らない。行政には、「性被害に遭ったあなたは悪くない」「悪いのは加害者であって、被害を受けたあなたではない」というメッセージを発信し続けてほしい。性的同意年齢の引き上げは絶対に必要だと思う。あの日断り切れなかったことで、20歳前後の自分でも苦しいのに、13歳の子にこんな苦しい辛い思いはとでもさせられない。私が13歳の頃は、妊娠のメカニズムも性行為の具体的な内容（生殖器を触りあったり、生殖器を挿入されることなど）もヴェールに隠された状態で、ほとんどと言っていいほど知らなかった。相手からの提案に本当の意味で同意できるのは、その中身を理解できてからだとするのは当然のことではないか。

#### 被害を訴えることができなかった、相談できなかった

- ・電車で突然被害に遭ったので、どうすればいいか分からなかった。加害者の写真でも撮ればよかったとずっと後悔している。証拠がないので、親や先生に相談できなかった。
- ・痴漢被害にあった当時、どのように対処すべきかといった知識がなかったために、未だに心残りがあります。
- ・社会人になるまでは自分には遠い存在だと感じていた性的犯罪でしたが実際に起

こった時に恐怖で何もすることができませんでした。職場の上司ということもあり、相手と気まずくなるのが悩みでなかなか信頼のできる同僚に言い出せなかったのですが言ってみると周りの人は真剣に話を聞いてくれて守ってくれました。1人で抱え込むのはとても辛く孤独感がありました。なので今後は相談しやすい環境がすぐそばにあればとても安心できますし、否定もせずに聞いてくれるような環境だとなお話しやすいです。

- ・ 実際にいじめにあうと、耐えるか逃げるかしかできない。一人で抱えこんでしまうしか、方法がない。
- ・ 私は小学生のときに経験して恥ずかしく思い誰にも言えず 1人抱え込んでしまいました。抵抗できない小中高生が狙われ、今も悩んでいる人がいると思います難しい問題ですがどうか被害者が1人でも減るよう願っています。
- ・ 警察に言えなかったので(朝の通学中で時間が無かったし、言うとは事情聴取の為に何回も警察に行かなくてはならないような気がして)、加害者がまた同じ犯罪を繰り返しているのではないかと思うと不安だし、同じような被害者が増えてほしくない。気軽に、且つ時間がなくてもパッと寄れてパッと話ができ、学校終わりに寄ります、とりあえず今は行きます！が通用するような交番、あるいは相談センターが街中にあればいいと思う。
- ・ 兄からされた性被害のことを親に話したことはないが、兄がする悪い事(運転中に尋常ではないキレ方をする、運転中にスピードを出し過ぎる等)を母が軽い注意しかせず、甘やかすのがとてつもなく怖い。母は、私が兄に感じるストレス(兄に対してうるさいと思う、嫌いだと思う等)を、否定してくる。母に性被害のことを話しても意味ないんだろうなど、当たり前のように思う。性被害に限らず、他の人に悩みを相談してもよいという考えは全く思い浮かばなかった。
- ・ 何年経っても、理由は分からないがそのことに意識を向けると涙が出る。その時は我慢してしまったし、被害に遭ったということを人に言うことが恥ずかしく、また自分の行動にも悪いところがあると思って責められるかもしれないことは怖かった。自分を守ってやれなかったことを悲しく思う。相手にとってはそんなに大きいことだとも思っていないのかもしれない。また当時の中学校の性教育が、当時の異性交際は手を繋ぐところまででそれ以上はしてはいけない、というものだった。そのような教育をしていた先生の担任する男に性暴力を振るわれた。その先生に対して、そのようなことがあったことを知らしめたい。
- ・ 痴漢被害にあった当時、どのように対処すべきかといった知識がなかったために、未だに心残りがあります。私は、相談などにより恐怖をはじめとした精神面に寄り添ってほしかったというような希望ではなく、加害者が現在何事もなかったようにのうのうと生活が送れていることが、ただただ腹立たしく感じてしまうため、性犯罪を罰するために被害者がとることの可能な対処法について周知してほしいです。また、警察署等にお勤めの方々がお忙しいことは重々承知ですが、性犯罪を取り締まる体制も強化してほしいです。そして、未成年だからといって、犯罪者が守られ

る世の中は変わってほしいと思います。本人のみ(ご家族までも責められる社会は苦に感じるため)、犯罪を犯してしまった事実や、その重みを背負って生きねばならないと自覚してほしいです。

#### 警察・学校・職場・相談機関等の対応に不満がある

- ・ その時はどうしたらいいのかわからない精神状態なので気軽に話をできる場所がほしかったと思いました。警察に電話したら軽く流されたのもトラウマです。
- ・ 犯人は未だ呑気に暮らしているし、元カレだったからか警察も殴られても、性暴力も付き合ったら当たり前、それは犯罪には当たらないと言われた。果たしてそうなのでしょうか？別れてから写真を使ってフェラをしないと写真流出するぞといわれ、土下座で泣きながら謝っても、それは犯罪ではない。実際に写真を流されても付き合ったら犯罪ではない、そんなことがありえるのか？
- ・ 直接的な被害ではなくても、恐怖を感じたということに対して理解してほしい。特に男性警察官はわかっていないと感じた。当時心療内科に通っている精神状態だったのでそれが原因のように言われて不快だったが面倒だったので話を切り上げた。
- ・ 交番（警察）での聴取に配慮がなかった
- ・ 警察に通報したが、パトロールしますと言われたのみ。特にその後の連絡はなかった。
- ・ 私の場合、同性の同級生からの性的嫌がらせだったので、その後問題になって学校側が話を大きくして話し合いも行われて、「表面上では」解決したように見えたけれど、その後のケアが全くなかったので「ちくったんだな」といじめられた。アフターケアのことも考えてほしい。
- ・ 校内に知的障害者用の学級があり、加害者がそこに所属していたため、教員に訴えても有耶無耶にされる可能性が高かったので友人以外に相談できなかった。加害者にハンデがあろうとなかろうと健全者と同じように責任を追わせてほしい。
- ・ 学校に相談しましたが何故か他の生徒が知ってた時は誰が言ったんだろう？どこで聞いてたんだろうって思いました。外に情報が漏れないようにしてほしい。
- ・ 一つ下の後輩に保健室で寝ている時に体を触られるなどの被害を受けました。教員に事情を話しましたが、相手がやっていないと言っているのもこれ以上どうもできないと言われました。友達にも相談しましたが、相談した友達を聞かれて教員に教えると、その友達の家にも口止めの電話をしたそうです。4月に被害に遭い、それから学校に思うように通えず、保健室登校になりました。それから月日が過ぎ、夏休み明けにやっと精神科を受診することができ、PTSDと診断されました。それを学校に伝えると「そんなに傷ついていたんだね」と養護教諭に言われました。それから半年以上入院し、大学受験もできず、そのまま追い出されるかのように私は高校を卒業しました。もっと被害にあった子に寄り添った対応を学校側にはしていただきたいかったです。私の人生狂ってしまった気がします。
- ・ 言葉でのセクハラは罰則が与えにくい。実際2年近く被害にあって私は退職に至ったけど加害者は罰則もない上に、今も働いている。言葉でのセクハラにも厳しい罰

則を与えてほしい。ハラスメント系はもう少し被害者に寄り添った価格でサービスするべきと思う。

- ・ 医療関係者は患者さんからいろいろとセクハラを受けているがそれが普通のような風習がみられる。相談してもその人にとってはそこまで？というような感覚の差があり相談しても解決しないことが多い。
- ・ 各種相談機関でたらい回しにされ、訴えたり法的措置をとることを諦め、泣き寝入りしてしまいました。家に行った、家に入れてしまった、車に乗った=合意ではないということの理解を徹底してほしいです。また性被害は近しい人(親族、親代わりの人、仕事先の上司など)から受けやすいです。受けてもその人を敵に回すことで自分の生活が安定しなくなるというリスクも多々あることで訴えづらいという人もいます。そういう被害者を精神的にも物理的(仕事、生活面 etc)にも支える世の中の仕組みが必要不可欠だと思いました。

#### 今でも思い出してしまう

- ・ 民生委員という立場の人間が小学校 1 年生になったばかりの子に...未だに思い出す事に腹が立つ。民生委員の CM が流れると思い出して気分悪くなるから、やめてほしい。
- ・ 僕自身は最終的に「まあ仕方ないのかもしれない」と思える人間だったからだが、当時のショックがものすごく大きかったのも覚えているので、もし仮に本当に被害を受けてしまった人がいたとして、その人が後遺症を患わないように徹底してほしい。
- ・ 忘れてたくても思い出してしまう。
- ・ 性犯罪は本当に恐ろしいです。犯人がまた同じことをするのではと思うと恐怖心が強いです。後遺症は酷くありませんが、犯人の顔と名前、当時の年齢も覚えています。たまに思い出すことがあります。性犯罪をなくす勢いで社会をつくってほしいです。今でも犯人を許しません。
- ・ 小学生の頃、知らないおじさんに駐車場に連れ込まれかけたことがある。たまたま友達の親が通って未遂で済んだが、まだ思い出す。被害を共有できる互助会のようなものがあれば多少経験を消化する助けになるかもしれない。
- ・ 高校生の時に、ケータイを無理やりとられて、そのまま公衆トイレにもってかれて、無理やりされました。今でも嫌悪感を抱いています。
- ・ 高校の同級生の男に加害された。周りの男は笑っていた。気持ち悪い。被害内容は言いたくないけど他の人からしたら「え？それだけ？」と感じだと思う。でも私は一生忘れないし、一生気持ち悪いと頭の片隅で思い続けるだろう。これを書いている今も無意識に緊張して寒気を感じ震えていた。今思い出して当時自分で感じていた怖さよりもっと怖かったんだなと思って泣きそうになった。最初はアンケートでこんなこと聞いてくんのかよと思ったけど、性被害にあった女性への支援に少しでも繋がるならと思ってこれを書いた。

## (2)今後の取組で期待すること

図表 107 自由意見（今後の取組で期待すること）

### 性犯罪・性暴力に関する刑法を改正して、加害者を罪に問えるようする、罪を重くする

- ・ 犯罪者への刑を重くしてほしい。
- ・ 痴漢の加害者に対する罰や見守り強化など、きちんとした制度を確立させてほしい。痴漢はほとんどの女性が経験している一方で、警察に相談するなど実際に声を上げている人はほんの一部です。些細なことすぎて声をあげにくい環境も変えてほしいと思いました。
- ・ 男女共に性被害に怯えることのない社会で生活したいです。性犯罪者に対して罪が軽すぎると思います。
- ・ 相手が確実に捕まるようにしてほしい。
- ・ 性犯罪者は再犯するので収容所で隔離生活をさせてほしい。
- ・ 性犯罪者に対する重罰化。捕まえても再犯したら捕まえた意味がない。
- ・ 性犯罪を犯した際に問われる罪がもう少しでも重ければ再犯予防になるのですが、他国に比べると軽いように思えるのでそこに関して日本は性犯罪を甘く見ていると思います。もっといい世の中になるよう期待しています。
- ・ 性犯罪の罪が軽すぎる。もっと厳罰化し、再犯を起こさないよう加害者には生涯にわたって社会的制約を課してほしい。
- ・ 性犯罪の厳罰化。GPSをつけることの徹底。女性専用車両を常時作る。男性専用車両を作る。
- ・ 性犯罪に対して下される判決が軽すぎる。性犯罪は相手の人生を狂わせる犯罪であることがもっと世間全体の認識として広まってほしい。
- ・ 性的被害のニュースや過去の事件を聞いた時、本当に心が痛くなります。なんで女性だけがこんなにも苦しい思いをしないといけないのか、なんで男性はそういう事をしようと思うのか、本当に理解できません。なので、もっと性的被害の取組を強化したり見直したりして、こういう事が二度と起きないようにしてほしいです。
- ・ 再犯防止プログラムは刑務所から出るために加害者が頑張るものであって、解決策どころか再犯を増やす手助けとなっている。諸外国では GPS 義務化で再犯率が激減した例もある。無駄なことに税金をかけるより、厳罰化する方が早い。
- ・ 加害者側に重い責任を負わせるべき。
- ・ 加害者の成育歴を明らかにする。
- ・ 加害者に対しての対応が甘すぎるから犯罪が減らない。
- ・ セカンドレイプ被害への対策を期待する。例えば、罰則化など。
- ・ ストーカー行為に発展するような加害者だと、裁判所で被害者に加害を起こそうとすることがあり、これを防ぐために刑事裁判を行わず不起訴になった為、直接加害者と被害者を会わせない裁判を開ける制度がほしい。被害者の身ながら家族からは非難を受けたり、信用を得られなくなったり、どれだけ警察側が被害者への理解を進める説明やパンフレットを見聞きさせても考え方を変えてもらえなかった。家庭内でも孤立した場合の

居場所、避難先もほしい。

- ・ これからも性犯罪などをする人はいなくならないかと思いますが、そういうことをする人に対しての罰をきちんと明確にしていきたいです。被害者側はとても心に傷を負い、心身共に疲れ、生きる希望をなくす人も少なくありません。もっと、人に優しい世界になってほしいと日々思います。

#### 早期における性教育の実施

- ・ 幼稚園や保育園の頃から性教育をしてほしいと思う。
- ・ 保健の授業で体の成長や赤ちゃんがどうやってできるかを教えるなら、ちゃんと避妊の大切さや興味本位で手を出さないように教育してほしいです。
- ・ 日本は先進国の中で圧倒的に性教育がきちんと行われていないと思う。自分で性や性教育に関する本を読んだりしたが、こういうことをきちんと教えてほしかったと思った。性については全ての人に関係あることなのだから、まずそこを改善してほしい。
- ・ 日本は性教育についてあまり触れないことが多いので、小学生の頃からきちんと教えるべき。
- ・ 日本は性をタブーなものとしてしっかり教育しないからAVなどを見て真似するのだと思う。義務教育のうちをしっかり教育すれば加害者も減るし、被害者も相談しやすくなると思う。
- ・ 相手は悪意を持たずに好奇心や楽しさだけで性被害の加害者となっている場合がある。性被害に対する正しく深い知識を義務教育課程の早い段階で教えるべき。
- ・ 全体の認識として、合意の上ではない行為等、相手が嫌がればそれは犯罪行為になりうることをもっと小学生などから、話の意味が分からなくても話をするべきだと考えます。
- ・ 性教育や道徳について考える時間を義務教育を過ぎても増やす必要があると感じる。
- ・ 性教育は早期に行った方がよいと思う。また、悩みなども相談できる人(相談員)がいると人によっては楽だと思えます。
- ・ 性教育は、早くからしたほうがいい。今は、小学校の低学年から性に対して興味があり、さらに、嘘の情報が流れている。これが当たり前なのかと思う事も多い。
- ・ 性の知識をもっと正しく知ってもらいたい。
- ・ 人間に根付いてる良心と想像力に期待して、幼い頃からの性教育と性暴力被害防止の教育を行うことで、性暴力はタブー（イスラムにおける豚肉摂取、世界におけるヒトラーと同じ価値観）にしていきましょう。
- ・ 小学生の段階から性教育を深くまで行うべきだと感じる。男女を分けて行くと余計な思考が発生するように感じたので、平等に行うべきではないかと思った。日本の場合自分から調べ知識をつけることしかできないように感じる。
- ・ 小学校に入ったときから、性教育をすべきだと思う。ネットやともだちから聞いた情報のみで、性について正しい知識を持っている人が少ないように感じる。
- ・ 小学校など比較的年齢が低い時から当たり前のように性教育をすべきだと思う。私が女性としての立場で思うことは、今の社会は、女性の生理や妊娠について理解がある人が

少なすぎて結果的に性被害、性暴力に繋がってしまうと思う。性教育を徹底してもっと受け入れやすい社会にしてほしい。今はどうかかわからないけど最初に生理の授業をしたとき、男女別に分かれていたけどそうする必要は絶対ない。まるで聞いてはいけないことみたいにしているから、からかいなどが起こってしまうと思いました。子ども（特に小学生以下の年齢）は性的な暴力を悪事や犯罪だと考えず、面白半分でそのような行為に及ぶことがほとんどだと思うので、学校である程度知識をつけさせるべきだと思う。また、自分がされたように、登下校時（特に郊外の人通りの少ない道を歩く生徒）は大人の目が行き届かないので被害にあいやすい。精神的に負った傷は一生治らないので、被害者が減少することを望みます。

- ・学校における性教育を充実させることが何より必要だと思います。教える側も大変かと思いますが、被害を減らす、意識を変えるためには教育から変えていくほかないと思います。
- ・学生などの若いうちは、加害者だと思わず加害者になってしまっていることがあると思うので、中学生ぐらいでしっかりと話をするべきだと思う。
- ・2022年4月1日から18歳に成人年齢が引き下げられますが、今までは20歳未満が未成年だったので、成人が未成年(高校生、それ以下など)に手を出すのはやばい(出会った時、付き合った時に学生同士だったなどは除く)という風潮がありましたが、引き下げになると未成年じゃないから18、19にも手を出していいというロリコン好き勘違い野郎が出てくると思います。必ず。成人しているのですから、自己責任ですが、まだ若い女の子が自分の同意ありきで性行為をしたわけじゃないのに望んでない妊娠(レイプなど)をしたなど、性犯罪の事例は必ず増えると思います。今の対策をすることも大切ですが、これから増やさないためには今の子どもたちへの性教育もしっかりするべきだと思います。性行為の時には必ず避妊のためにも、性感染症のためにもコンドームをつける。お酒を飲む場面では、自分が一瞬でも目を離したドリンクは飲まない。誰がいつどんな格好をしていても、性犯罪はしてはいけないなど、しっかり性教育することが大切だと思います。18歳高校生女子より。

#### 相談しやすい環境の整備

- ・明らかに性被害だと認識できない類のこともある。小さなことも相談できるように、拾えるような体制にしてほしい。大切なのは被害者のカウンセリングもあるが、加害者側のカウンセリングは見落とされがちだが、加害者側をケアしないと被害者は生まれ続ける。
- ・本当に辛くて悩んでいる人は相談窓口やカウンセラーの方に話すのは抵抗があるかもしれない。また、家族に相談すると心配されると思い、話せないと思います。一番話せるのは信頼できる親友や友達だと思います。
- ・聞きやすい環境にしてほしい。
- ・相談できる環境を提供して頂きたい。
- ・相談したい時にすぐに対応してくれる場所。以前電話相談に電話したら人が足りないのか、繋がらなかった。

- ・ 真剣な相談を、まだ中学生だから、などと甘く受け取らないで、真摯に対応してほしい。
- ・ 公共の相談窓口は雑で事務的と聞いたことがあるので、もっと親切に対応するようにしてほしい。
- ・ 現在、マッチングアプリや SNS など簡単に相手と知り合うことができます。精神的に不安定な時に、自分のことをよく知らない相手と一時的な性行為に及ぶことで愛されている、自分のことをみてくれていると勘違いし、より自分を傷つけている人が多くいると思います(少なくとも学生時代、自分の周りには多くいました)。自分でも気づいていない不安定な精神状態に陥る前に、もっとフランクに自分のことを話せるカウンセリングのような場がもっとあるといいと思います。職場や学校で過去にカウンセリングを受けたことがあります。気軽に利用するにはやはり少しハードルが高いと感じました。海外では幼少期から専属のカウンセラーがつく地域もあると聞きます。幼少期から、第三者的な目線で自身の話を聞いてくれる、メンター的な存在が必要だと日々感じます。
- ・ 何も言わずに我慢してる人がいるかもしれないので、SNS やいろいろなところに相談したりできるようなものを設ける。
- ・ もっと相談しやすいような取組をしてほしいです。
- ・ どんなに些細なことでも気軽に相談できる場がほしい。
- ・ たとえ電話でも相談するには少しハードルがある。
- ・ 24 時間相談できる環境。

#### 性犯罪・性暴力について社会全体に広く知ってもらいたい

- ・ 被害に遭わないために、信用できない人や相手のことを深く知らない人と密室で二人きりにならないことの大切さを、多くの女性に知ってほしい。自分の身に起こるわけがないという固定観念を取り払い、自分事として一度考える機会を持つ(あるいは学校などで機会を提供する)ことが大事だと思う。
- ・ 男女平等の社会へ向けた意識的な取組が被害を減らすと思うし、女性から男性へも性暴力は成り立つことを普及してほしい。
- ・ 性被害は知らない人からだけではなく、身近な人から受けることもあるということを広く周知してほしい。
- ・ 性犯罪の被害者に対して同情するのは悪いことではないと思うが、その被害にあったという事実を周囲が吹聴したり、過度に可哀そうだという目を向け続けるというのはしんどいと思う。周囲の環境が被害者を追い詰めないか気にかけることも必要だと思うので、そういった点について期待したい。
- ・ 世間全体の考えが変わればと思います。私のものは軽かったからよかったです、一生傷が残る人もいますので早く性犯罪はなくなってほしいです。
- ・ 社会的に性暴力は悪だという啓発が多くなればいい。
- ・ 社会状況を変える必要がある。
- ・ 私は同性愛者でないのに、ゲイであると言われ続けていた。これは学校教育が行きついていない証拠である。

- ・国民に広く認知してもらうこと。
- ・考え方が変わらない限り犯罪はなくなる。
- ・言葉の暴力を世間にもっと広く知らせてほしい。
- ・加害者側の軽い気持ちで行った行動が、被害者にとって深刻な影響をもたらすことがあるというのを覚えていてほしい。
- ・セクハラは女性のみでなく男性にもあるだという認識を周知すること。
- ・この程度で？という周囲の態度をなくす活動

#### 被害者にも非があるといった風潮をなくす

- ・例えレイプなど性被害にあったとしても、証拠がないかぎり警察は動いてくれないのはよく聞く話。被害を受けた側が悪いだの逆に非難される風潮もあるため、結局被害者のダメージが大きい。そうならないためにも、少しのことでもすぐに動いてくれるような体制にしていきたい。
- ・通っていた高校の一部の生徒がスカートが短くしていたこともあり、痴漢にあっても仕方がない、むしろ誘ってる、その高校なら痴漢やり放題など言われた事例もあり、被害を訴えても意味がないと言われていました。守る側の大人たちが勝手な先入観で守ろうとしないのはやめてほしいです(被害にあった生徒のほとんどは制服を正しく着ていた子たちです)。
- ・痴漢を受けた、セクハラをされた、などと周りに言うとき「あなたが誘ったんでしょ」と一蹴されることが多いので、その風潮だけでもどうにかならぬかなとずっと思っています。悪いのは相手なので、加害者を責めることができるようになればいいと思います。
- ・痴漢に対する世間的な罪の重さの認識が低すぎると思うので、痴漢の減少と被害者がどんな服装や見た目をしていても非が全くないという認識が増えればいいと思う。
- ・加害者も悪いだろうけど被害者にも非はあった、だからお前も悪いという風潮があるから相談したくてもしきれない人がたくさんいる。その風潮を消せば、相談する人も、防ぐことができることも沢山出てくる
- ・スカートが短い、肌を出している、愛嬌を振りまいているなど、被害者側にも問題があったと思われることがある。しかし、性被害は加害者の都合でしか発生しない犯罪である。被害者は何も悪くない。その意識が浸透しないと、被害者側も相談することができない。相談しても「あなたにも責任があるよね？」と言われてしまったら、二次被害を起こしかねない。被害者は何も悪くない。その意識が社会に浸透するような取組を期待します。そして、性犯罪が起きてしまった後、二次被害を生まないような対応を警察など、支援者側に徹底することを期待します。

#### 支援内容・対応策の充実

- ・未成年が出会い系サイトなどに入り込むと悪用される可能性があるため徹底的に対策すべき。
- ・被害後は本人が異性と話すことを希望しない場合、できるだけ同性スタッフのみで対応させる。

- ・被害を受けたあと、それに関するいじめをうけた。見守る人をつけてほしい。
- ・被害まではいかないけれど、声がけなどもあるので、被害までいってからは遅いので未然に防げるものがあればいいと思います。
- ・日中でも狭い道や暗い道は危険が予測されるため明るくしたり、なんらかの対策が必要だと考えられます。
- ・助けようとしてくれる方が負担にならないような体制ができたらいいなと思います。相談とかしたいですけど、ニュースで相談員さん等がものすごく忙しくて大変だと拝見したので、自分なんかが相談しちゃ申し訳ないななんて思うのはあります。
- ・緊急避妊薬の無償提供化か保険適用化、ピルなど月経に関するものの無償化。
- ・またこのようなアンケートがほしい。それまでにしっかりと思い出して、伝えられるようにしておきたい。警察の方がもっと見回りを強化してほしい。
- ・パトロールや周りの方の援助などしてほしい。
- ・サポートの間口を広げてほしい。
- ・灯りが無い道がなくなってほしい。センサーなどで、どこでも灯りがあるようにしてほしい。
- ・電車の車両ひとつひとつに防犯カメラを設置してほしい。
- ・いろいろな場所に監視カメラを置くようにしてほしい。被害にあった人に補助金など出ると嬉しい。
- ・女性専用車両が増えればいいと思う。
- ・女性の車掌や駅員をもっと増やしてほしい。
- ・女性が安心して外に出れる環境を作ってほしい、電車や公共機関でも。

#### 性暴力防止に関する研修の実施

- ・被害者が証拠や状況説明をしないと動いてもらえない現状が最も辛いことです。その事を性犯罪を取り締まる方や被害者支援に当たられる方には十分に熟知していただいた上で、対応していただきたいです。
- ・年配の人は特にセクハラの自覚がない人が多い気がするので一番訴えにくいのが問題だと思います。私は耐えられずにバイトを変えましたが、今後そういう人が出ないようにするためにも企業の研修などでセクハラに対することをもう少し取り扱ってほしいです。
- ・学校内でのハラスメント防止研修の充実が必要だと思います。
- ・どこか密室とかではなく、通りすがりの道や混んでいるお店などで痴漢され、加害者が分からない状態のことが多い。その場合、誰に言えばいいのか分からないこと。また、遊園地では係員が安全ベルトを閉める時に痴漢してくることがあった。企業の性に対する教育も徹底してほしい。
- ・セミナーの実施。